

鶴岡市パークレット社会実験支援業務

業務報告書

令和8年1月



[目次]

1. 業務の概要	1
1-1 業務の目的等	1
1-2 業務の概要	1
1-3 業務の実施方針等	2
1-4 業務フロー	3
2. 社会実験実施のための関係者等調整にかかる支援	4
2-1 商店街関係者等との協議への補助	4
2-2 道路関係者等との協議への補助	5
3. 公共空間を活用するパークレットの整備	6
3-1 駐車帯の設置検討	6
3-2 監視カメラの設置検討	8
3-3 注意喚起に向けた看板の作成・設置	9
3-4 誘導員の設置検討	23
3-5 ガードレールの設置検討	24
3-6 矢印看板の設置検討	29
4. 社会実験の効果検証	30
4-1 商店街に対する調査	30
4-2 利用者に対する調査	37
4-3 自動車等に対する調査	43
4-4 まちなかの居心地の良さを測る指標	67
4-5 各種調査結果のまとめ	86
5. 社会実験期間中の運営・維持管理の支援	96
5-1 運営体制の構築	96
6. 社会実験報告書の作成	105
6-1 フィードバックペーパーの作成	105
6-2 社会実験報告書の作成	105
7. 打合せ協議	106
7-1 打合せ概要	106

1. 業務の概要

1-1 業務の目的等

1-1-1 業務の目的

本事業は、第3期鶴岡市中心市街地活性化基本計画に位置付ける「銀座通り街路整備事業」の整備方針をまとめるため、銀座通りを一車線化し、既存アーケードを含めた歩行者滞留空間を生み出すパークレットの社会実験である。

パークレット整備による歩行者空間の多様な活用方法とその効果を検証し、賑わいのある中心市街地を形成することを目的とする。

1-2 業務の概要

本業務の概要は以下のとおりである。

業 務 名：鶴岡市パークレット社会実験支援業務

業務対象地域：鶴岡市内

工 期：令和7年8月1日～令和8年1月30日

発 注 者：鶴岡市

受 注 者：株式会社ケー・シー・エス東北支社

1-3 業務の実施方針等

1-3-1 業務実施方針

業務の目的などを踏まえて、本業務は以下の方針に従って実施した。

方針1：限られた期間・予算の中で関係者間での役割分担を明確化

- 契約から社会実験の実施時期まで2か月程度であり、準備期間が非常にタイトであるため、昨年度までの開催経緯等を踏まえて、各関係者（商店街、発注者など）が想定する企画案をベースに検討を進めるなど、効率的な企画立案を実施。
- また、予算に関しても限られたものとなっているため、社会実験の実施や各種調査の実施等に当たっては、商店街、発注者などの関係者間でのマンパワー、コストなどの役割分担を明確にしたうえで、各種業務を実施。

方針2：想定される効果・課題等を仮説的に整理して各種調査の設計を実施

- 平日も含めた中期スパンでの開催により、効果・影響の対象となる主体が多岐にわたるが、それぞれの主体に対する効果・課題をあらかじめ仮説的に整理し、それらを踏まえて各種調査の設計を実施。

※仮説整理の視点は以下のとおり。（このほかにも周辺企業や道路・交通管理者なども含めて整理予定）。

道路利用者

・規制による生活移動への影響
・周辺道路・駐車場の混雑 など

運送事業者

・荷捌き場所を一般車が利用
・荷捌き場所の不足 など

商店街関係者

・来訪者の増加に伴うゴミ対応
・利用者のマナー順守不足 など

市民

・平日・休日別の行動変容
・パークレット以外の改善 など

方針3：定量的・定性的の両側面から事業の効果・課題を分析・検証、事業の持続性向上に向けた方策を検討・とりまとめ

- 本事業の効果を適切に把握するため、事業実施による人流や交通量の変化などの定量的な数値を把握することはもちろん、歩行者空間等で滞留する人に与える印象・考えの変化や過ごし方の質、さらには市民に対する意識の変化など、定性的な側面も含めて事業の効果・課題を分析・検証。
- また、それらの結果をもとに事業の持続性を確保するため、マンパワー確保やコスト管理・負担、周知・広報などの視点において「実施主体」「実施時期」「スケジュール」など、次年度に向けた方策を整理し、報告書としてとりまとめ。

1-4 業務フロー

本業務は、以下のフローに沿って執り行った。

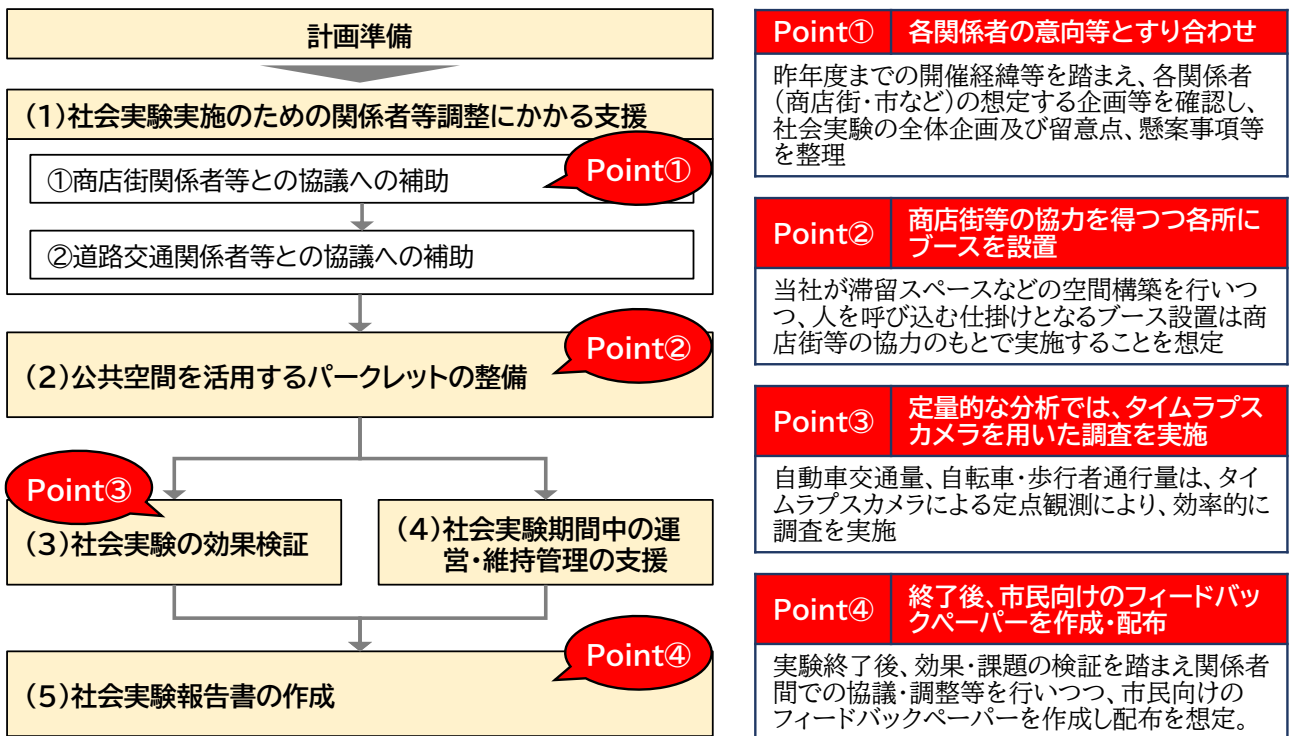


図 業務フロー

2. 社会実験実施のための関係者等調整にかかる支援

2-1 商店街関係者等との協議への補助

社会実験を進めるにあたり、商店街の方々へ事業の主旨説明を行った。また、効果測定に向けた調査主旨を説明した。

表 商店街関係者等との協議内容

調整先	日時	調整事項	調整方法
鶴岡銀座商店街振興組合	・令和7年8月19日 (火)	・社会実験実施に向けた進め方について ・社会実験期間中の取組・イベントについて	対面

2-2 道路関係者等との協議への補助

2-2-1 調整概要

社会実験を実施するにあたり道路管理者や交通管理者と調整した。調整方法は対面およびメール等で実施した。

なお、公共交通機関や商店街においては限られた時間内で調整が多岐に渡るため発注者に調整いただいた。

表 関係者との協議内容

項目	概要	担当	
		受託者	発注者
道路管理者・交通管理者	<ul style="list-style-type: none"> 道路の規制に関すること（必要な手続き、周知方法など） 安全対策に関すること（誘導員の配置、誘導看板の設置など） 	○	○
公共交通機関	<ul style="list-style-type: none"> 実験期間中の路線バスの迂回経路について 利用者への周知方法について 	-	○
運送事業者等	<ul style="list-style-type: none"> 駐停車帯（荷捌き場所兼ねる）の適用について 	-	○

表 関係者との調整事項

調整先	日時	調整事項	調整方法
鶴岡警察署	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年9月24日（水） 	<ul style="list-style-type: none"> 道路使用許可申請の概要と手続き方法 添付書類における記載が必要な事項 	対面
	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年9月30日（火） 	<ul style="list-style-type: none"> 添付書類における記載が必要な項目 	電話
庄内総合支庁建設総務課	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年9月29日（月） 	<ul style="list-style-type: none"> 誘導カメラを設置するにあたり、山形県屋外広告物条例の適用範囲および適用可否 	電話
鶴岡市土木課	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年9月26日（金） 	<ul style="list-style-type: none"> 道路占有許可に関する確認と修正事項 	メール



図 駐車帯の設置箇所 (2/2)

表 設置・撤去のスケジュール

日程	概要
10/7(火)	・ 鶴岡警察へ訪問し、指示標識及び補助標識を借用する
10/9(木)~19(日)	・ 社会実験の実施※設置
10/20(月)	・ 鶴岡警察へ訪問し、指示標識及び補助標識を返却する

3-2 監視カメラの設置検討

社会実験実施中の事故・トラブル等の監視や防犯対策のため、実験実施区間の適所に監視カメラを設置する。設置する箇所は4か所とした。

※設置期間は社会実験期間中の令和7年10月9日～10月19日とした。

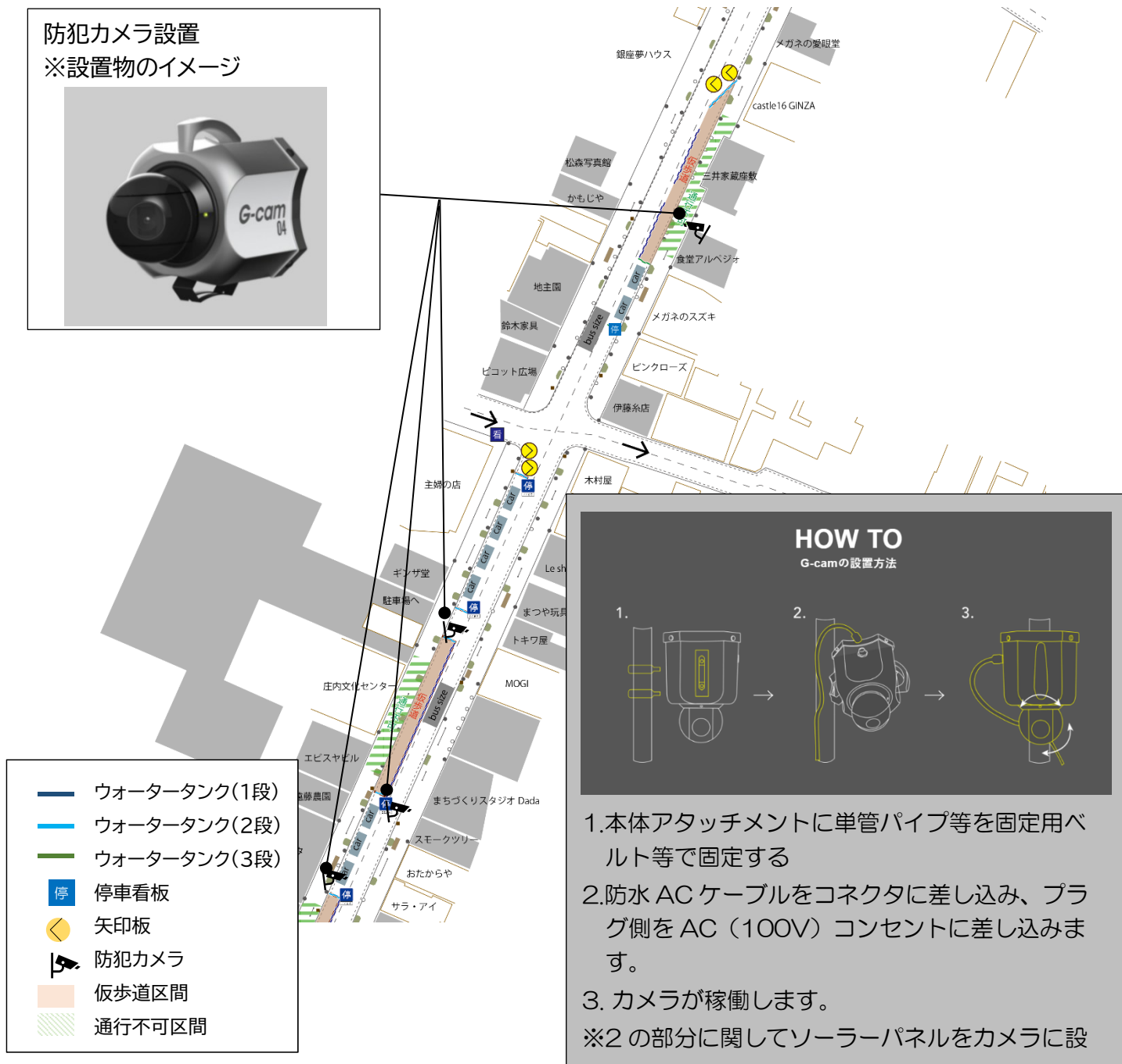


図 防犯カメラの設置箇所

3-3 注意喚起に向けた看板の作成・設置

大型車両等の侵入の規制や、一般車両に対する実験の周知等は必要であるため、適所に迂回看板を設置することを検討した。看板は大型サイズを4か所、中型サイズを2か所、小型サイズ6箇所設置する。また、今回の社会実験は車道の一部区間を規制し、歩行空間や停車帯を創出することから歩行者の安全確保を図るための看板も設置した。

なお、看板が転倒・移動しないように看板の角を保安するほか重石で固定した。



図 注意喚起に向けた看板の設置箇所 (1/2)

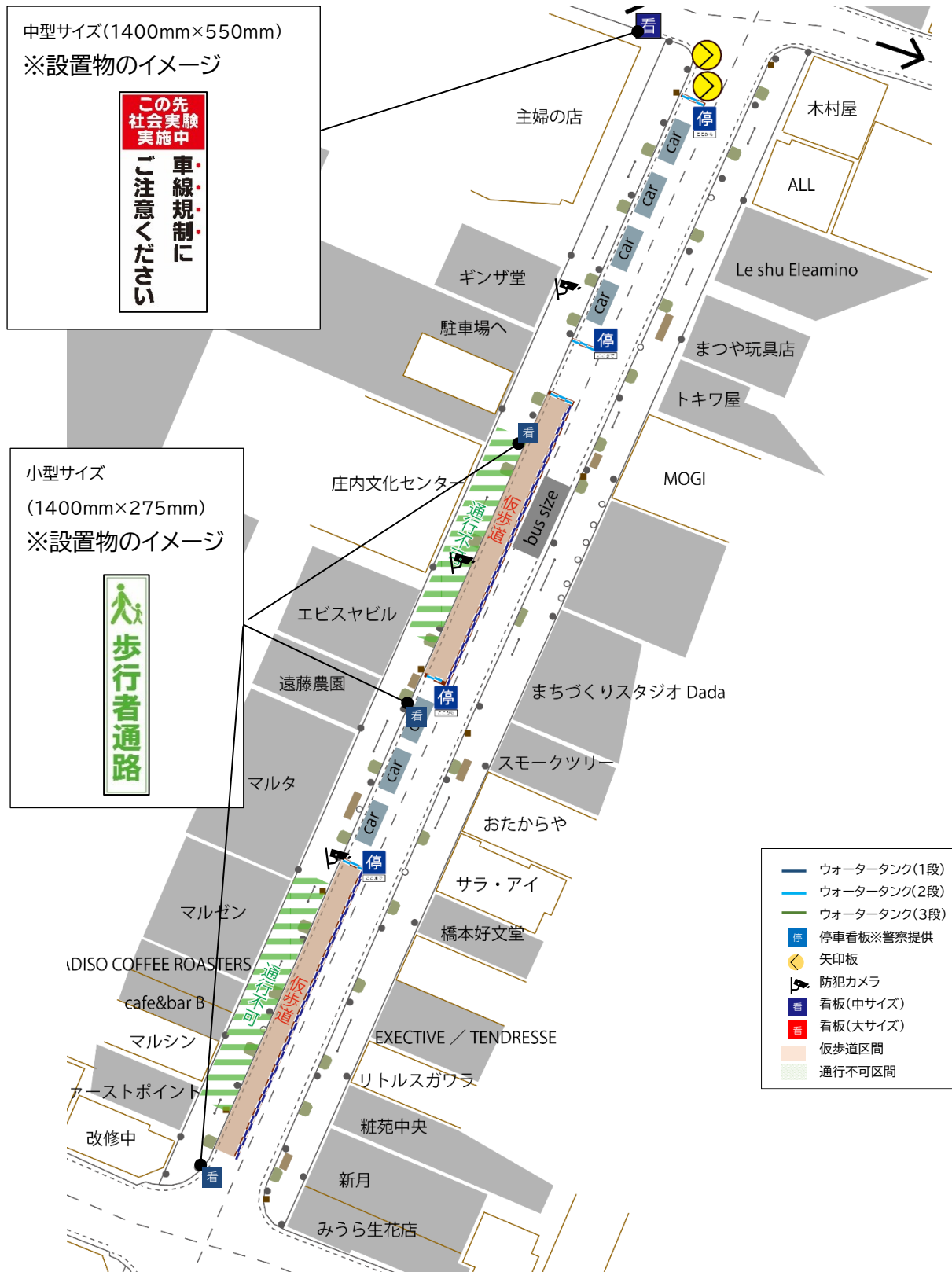
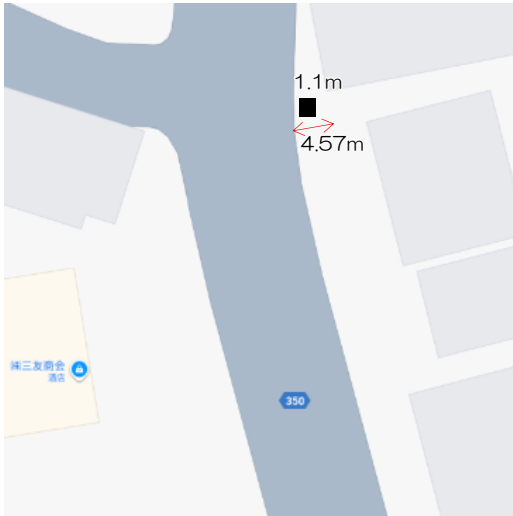


図 注意喚起に向けた看板の設置個所 (2/2)

(1) 看板デザイン：大型サイズ

① 設置箇所 No.1：日枝神社付近



**銀座通り
車線規制【終日】**

人が滞在できる空間を生み出す
パークレット社会実験を行います

10月9日(木)~10月19日(日)

至 鶴岡駅方面 至 赤川方面

● にこふる

鶴岡公園

● 市役所

● 狂銀タクト鶴岡

川崎通り

社会実験区間

鶴岡 Dada

みゆき通り

羽島街道

迂回路

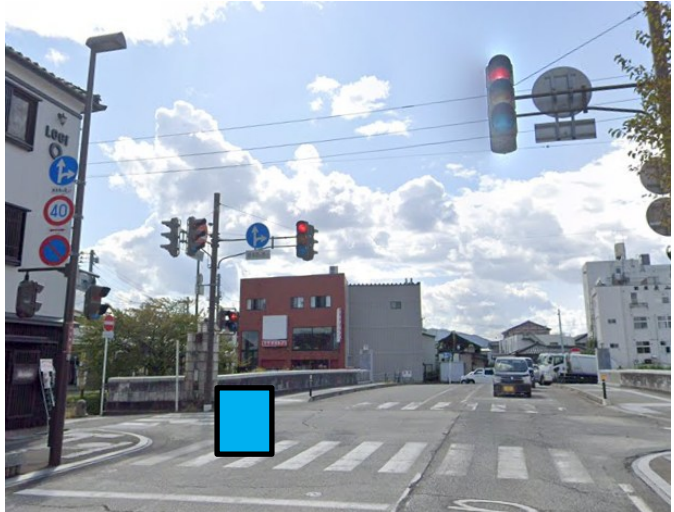
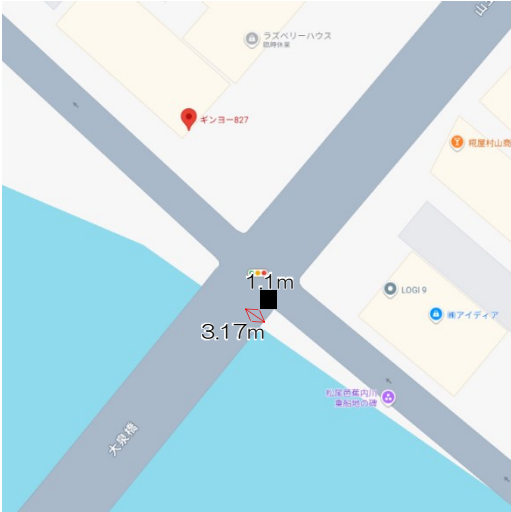
至 南銀座方面

期間中は迂回するとスムーズです

問い合わせ先 鶴岡市都市計画課 0235 - 35 - 1535

図 注意喚起に向けた看板の設置状況 (①日枝神社付近)

② 設置箇所 No.2 : 大泉橋付近



銀座通り 車線規制【終日】

人が滞在できる空間を生み出す
パークレット社会実験を行います

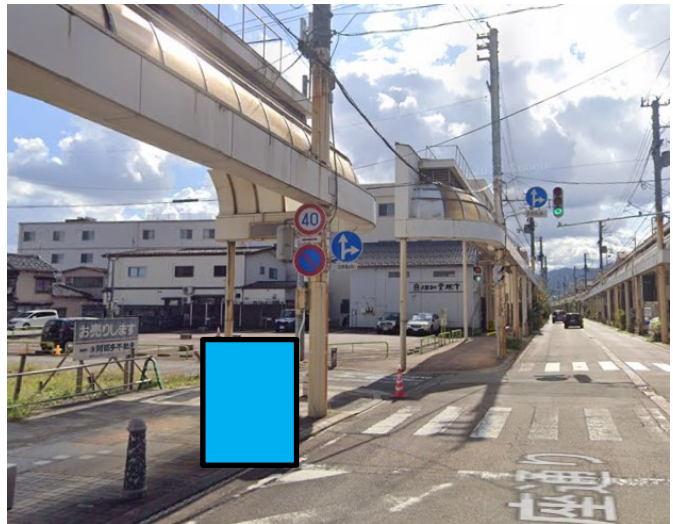
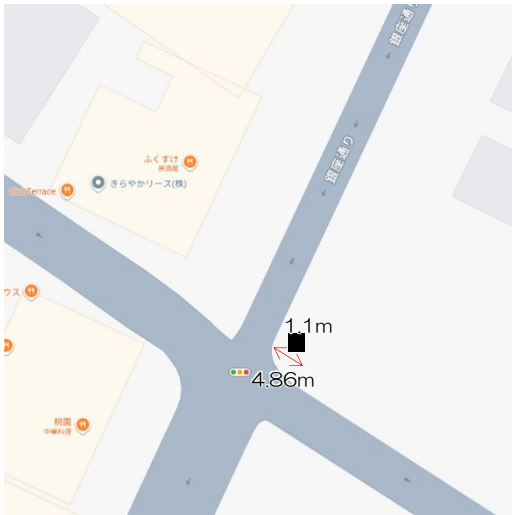
10月9日(木)~10月19日(日)

期間中は迂回するとスムーズです

問い合わせ先 鶴岡市都市計画課 0235 - 35 - 1535

図 注意喚起に向けた看板の設置状況 (②大泉橋付近)

③ 設置箇所 No.3：銀座通り



**銀座通り
車線規制【終日】**

人が滞在できる空間を生み出す
パークレット社会実験を行います

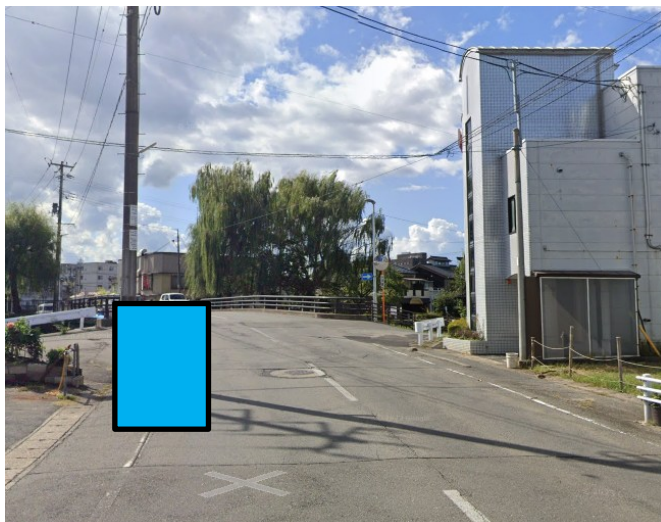
10月9日(木)~10月19日(日)

期間中は迂回するとスムーズです

問い合わせ先 鶴岡市都市計画課 0235 - 35 - 1535

図 注意喚起に向けた看板の設置状況（③銀座通り）

④ 設置箇所 No.4：昭和通り



**銀座通り
車線規制【終日】**

人が滞在できる空間を生み出す
パークレット社会実験を行います

10月9日(木)~10月19日(日)

期間中は迂回するとスムーズです

問い合わせ先 鶴岡市都市計画課 0235 - 35 - 1535

図 注意喚起に向けた看板の設置状況 (④昭和通り)

(2) 看板デザイン：中型サイズ

① 設置箇所 No.5：桃園付近

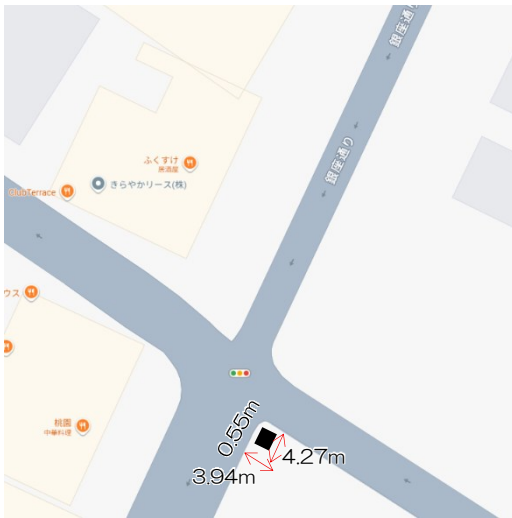


図 注意喚起に向けた看板の設置状況 (⑤桃園付近)

② 設置箇所 No.6：ピコット広場前

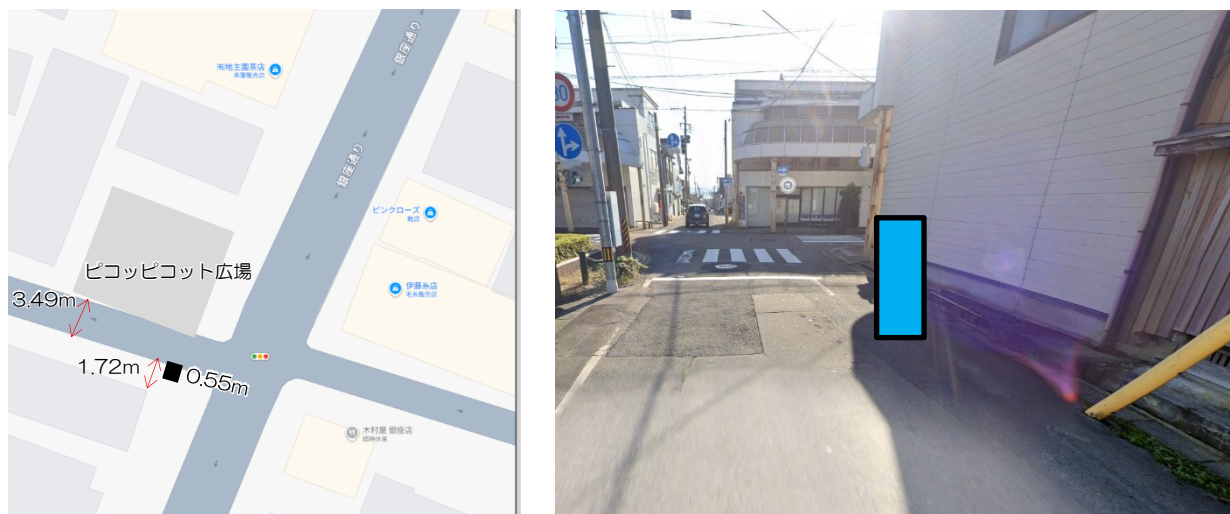


図 注意喚起に向けた看板の設置状況（⑥ピコット広場前）

③ 設置箇所 No.7 : castle16GiNZA 付近



図 注意喚起に向けた看板の設置状況 (⑦castle16GiNZA 付近)

④ 設置箇所 No.8：三井家蔵座敷付近

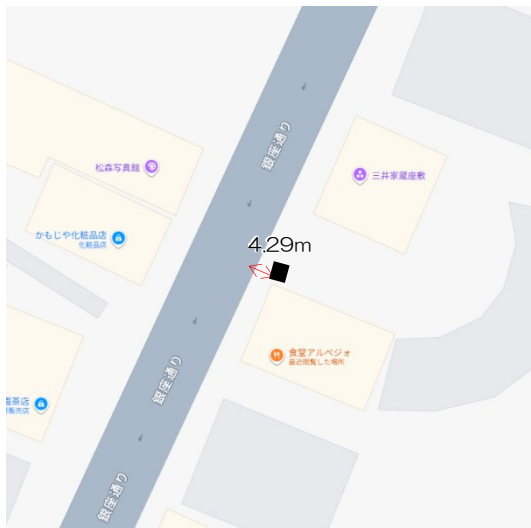


図 注意喚起に向けた看板の設置状況（⑧三井家蔵座敷付近）

⑤ 設置箇所 No.9：食堂アルペジオ付近



図 注意喚起に向けた看板の設置状況 (⑨食堂アルペジオ付近)

⑥ 設置箇所 No.10：旧庄内文化センター付近

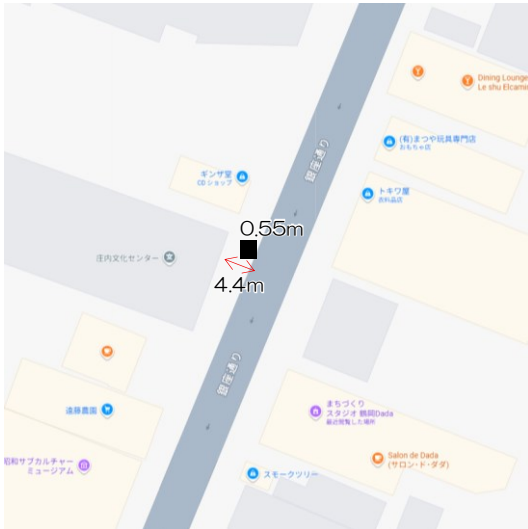


図 注意喚起に向けた看板の設置状況 (⑩旧庄内文化センター付近)

⑦ 設置箇所 No.11：エビスヤビル付近

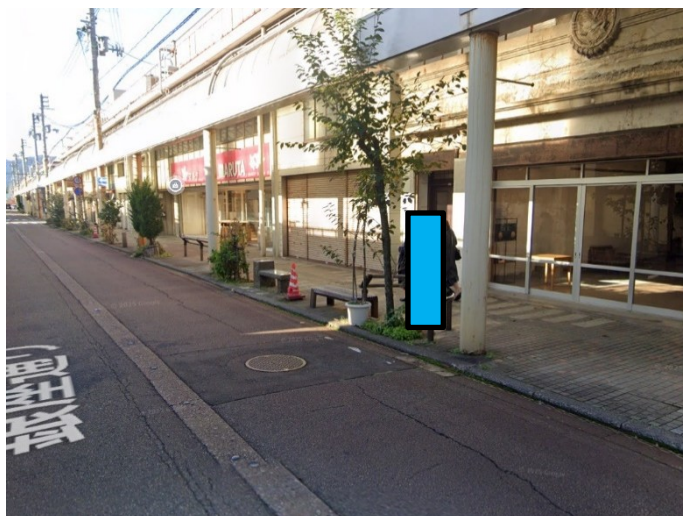


図 注意喚起に向けた看板の設置状況 (⑪エビスヤビル付近)

⑧ 設置箇所 No.12：ファーストポイント付近

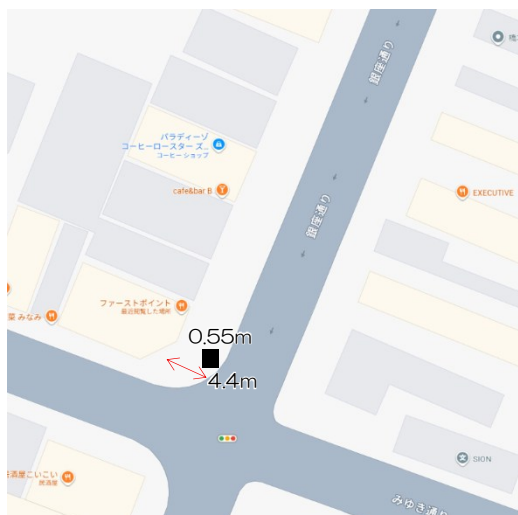


図 注意喚起に向けた看板の設置状況 (⑫ファーストポイント付近)

3-4 誘導員の設置検討

社会実験中の安全対策として、適所に誘導員を配置した。

誘導員は大型車に対する迂回の注意喚起や誘導を行うとともに、車線規制による混雑やトラブル等が発生した際の、車両誘導等の対応を行うこととした。

表 誘導員の入り概要

日程	概要
日 程	10月9日(木)、10月11日(土)
時 間	7~19時の12時間
配置場所	2か所 ※下図参照

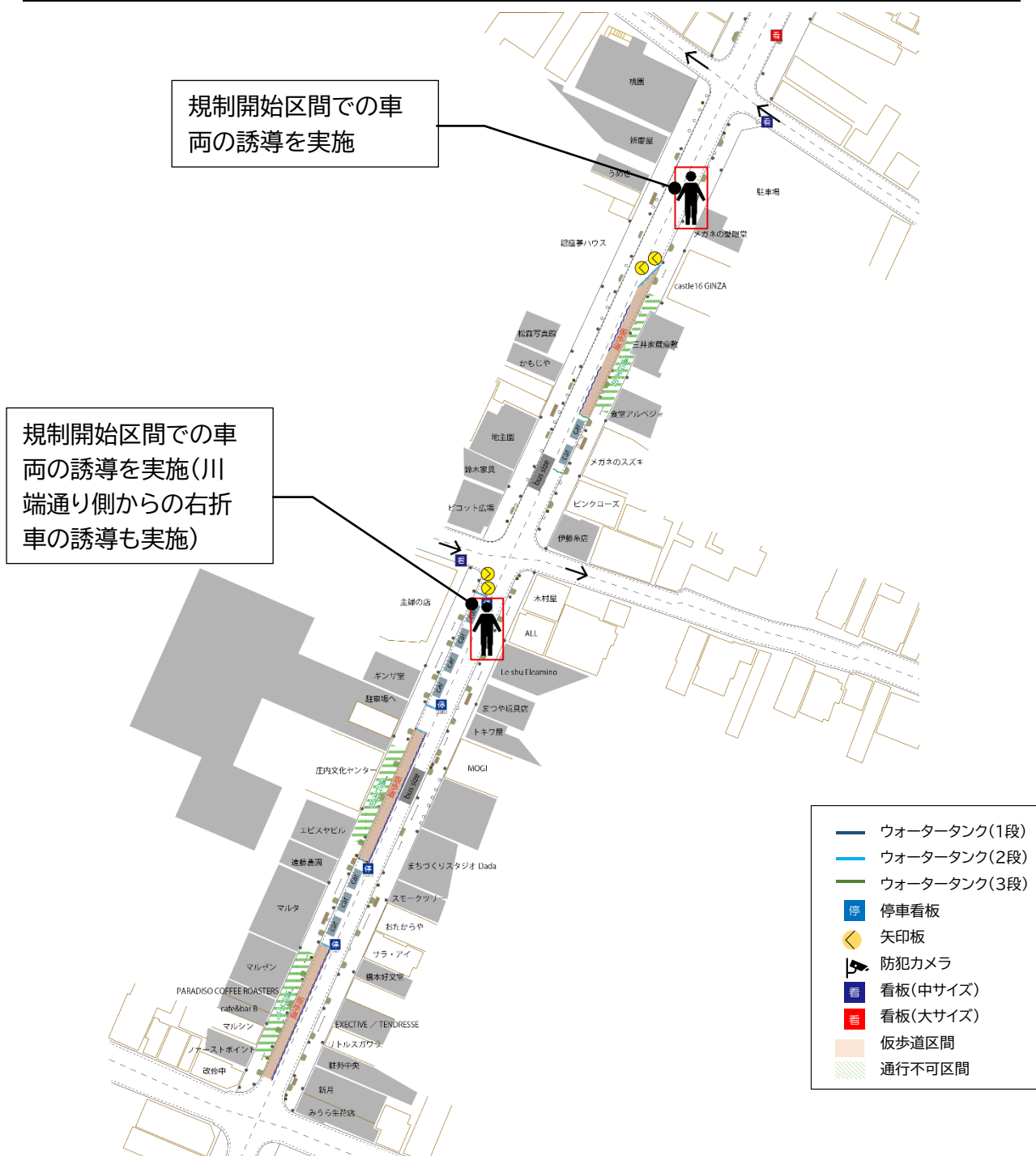


図 誘導員の設置箇所

3-5 ガードレールの設置検討

社会実験では、実施エリアにおいて車線を制限して歩行者空間を確保することとし、これにあたり歩行者の安全性の確保のため、車道と歩行者空間を分離するウォータータンクを設置した。

ウォータータンクは積み重ね可能であるため、車道と歩行者空間の分離をスタートする箇所においては、2段に積み重ねることとし、なお、2ブロックの駐停車帯区間は3段に積み重ねることとした。

ウォータータンク設置により整備された空間は「仮歩道」とし、歩行者の歩行エリアとした。



写真 製品概要



写真 設置イメージ

表 設置・撤去のスケジュール

日程	概要
10/7(火)~8(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォータータンクの搬入・設置（2日） ・ウォータータンクへの注水（2日）
10/9(木)~19(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験の実施
10/20(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォータータンクの排水・撤去

(参考) 具体的な設置箇所 (2ブロック)



図 具体的な設置箇所 (1/2)

(参考) 具体的な設置箇所 (3ブロック)

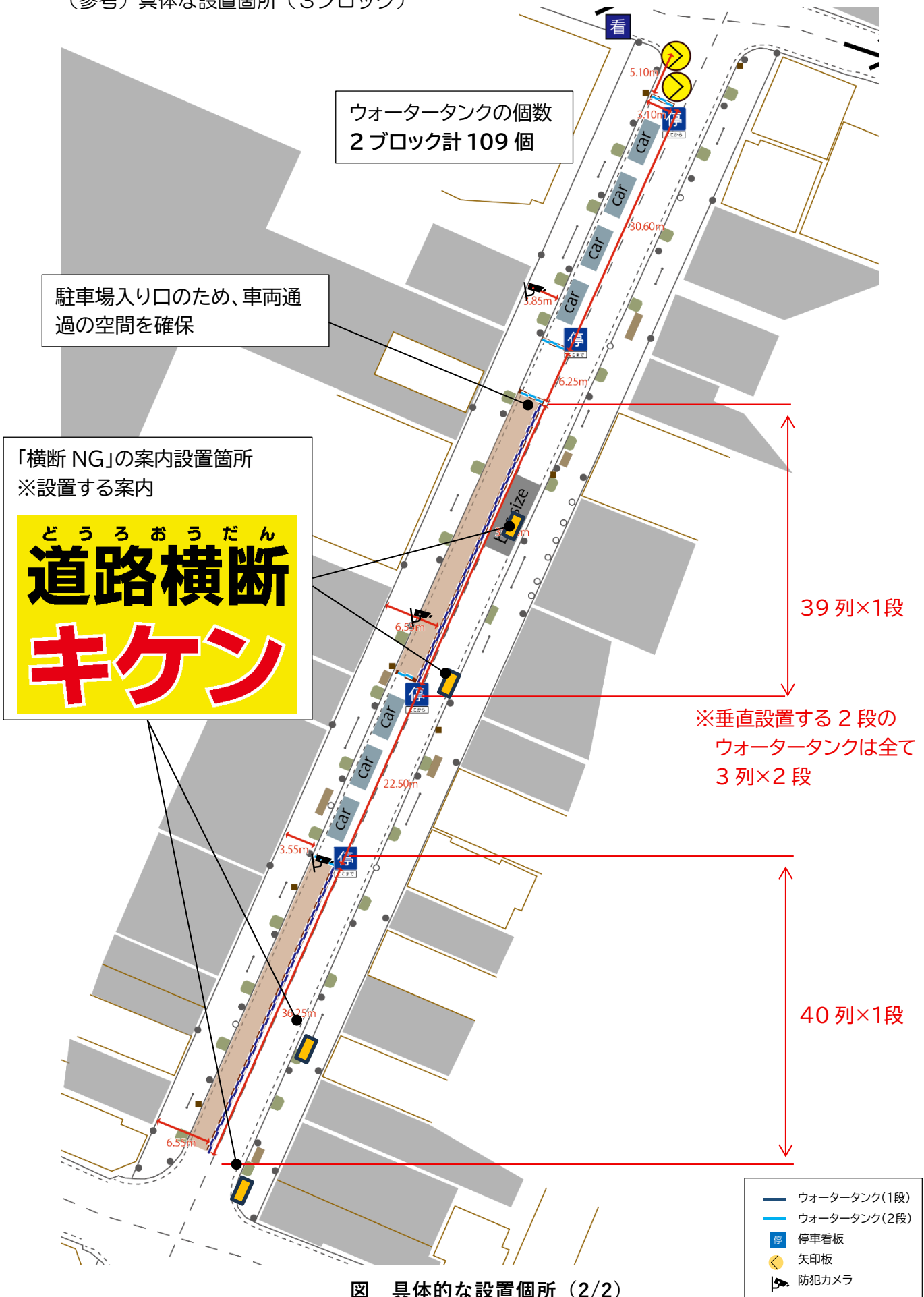


図 具体的な設置箇所 (2/2)

(参考) 歩行空間と車道空間の区分け (2ブロック)

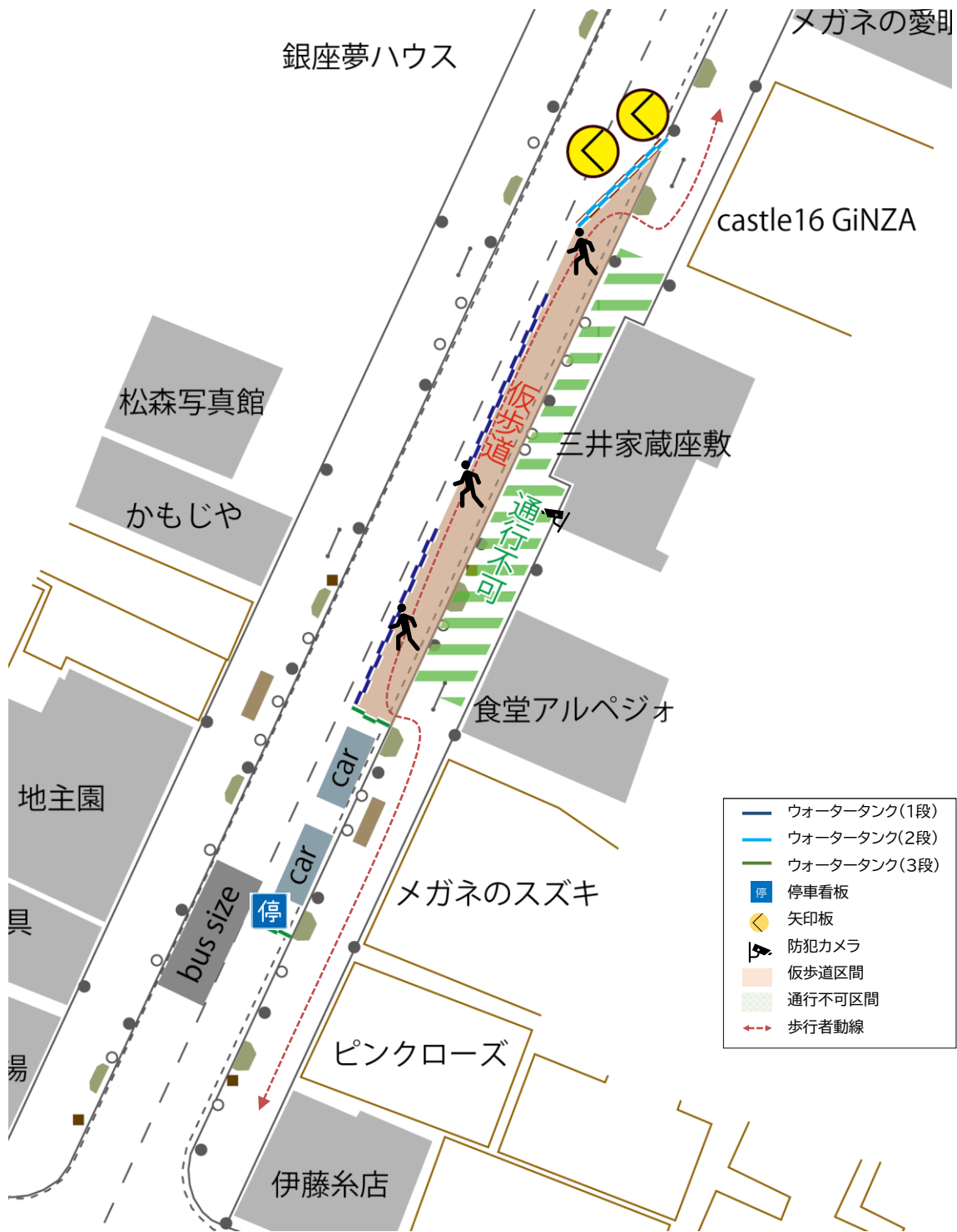


図 歩行空間と車道空間の区分け (1/2)

(参考) 歩行空間と車道空間の区分け (3ブロック)

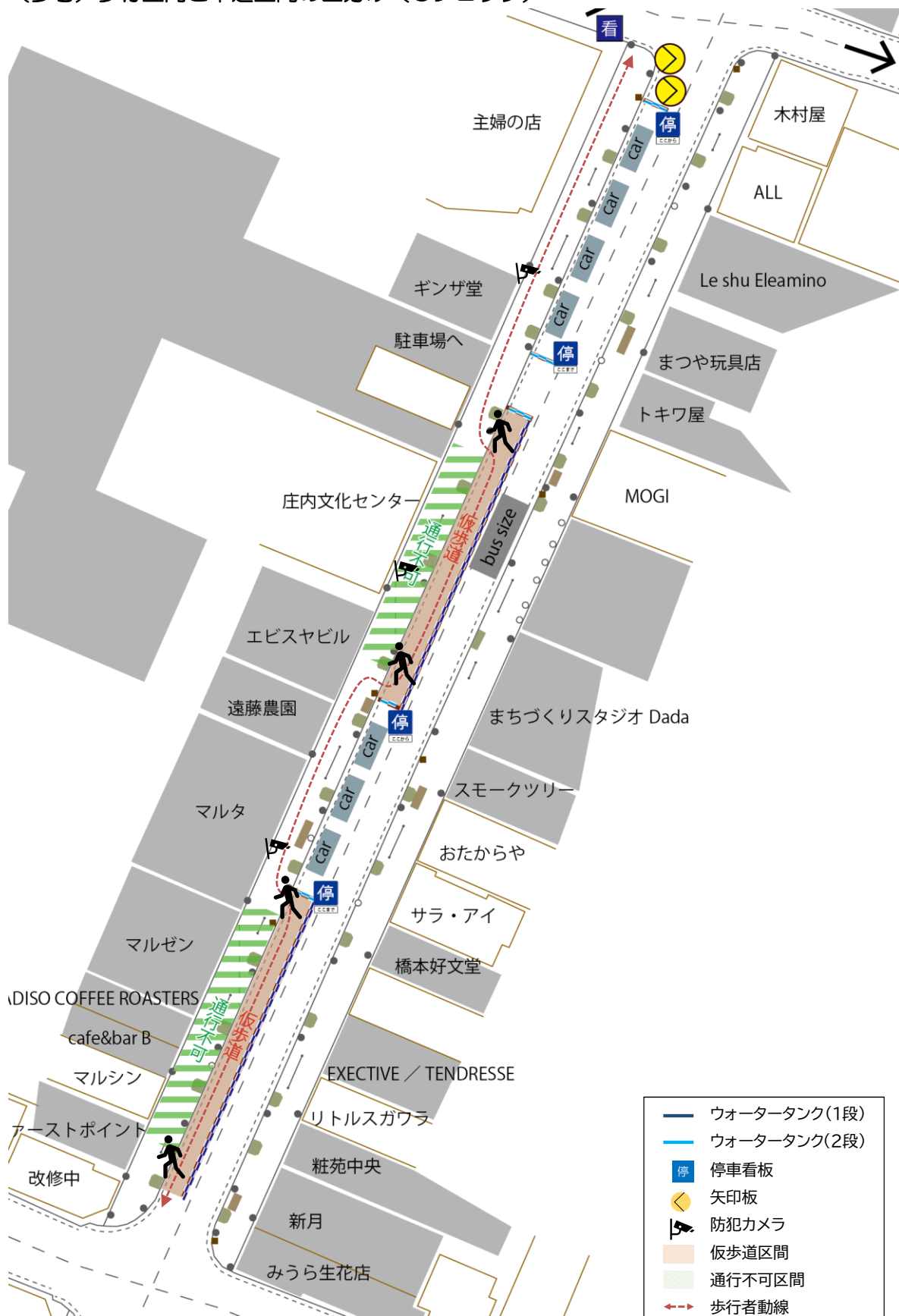


図 歩行空間と車道空間の区分け (2/2)

3-6 矢印看板の設置検討

道路規制の開始箇所において、自動車に対する注意喚起・誘導等を目的として矢印板を設置する。設置する箇所は4か所とした。

※設置期間はウォータータンクと同期間（令和7年10月7日～10月24日）とした。

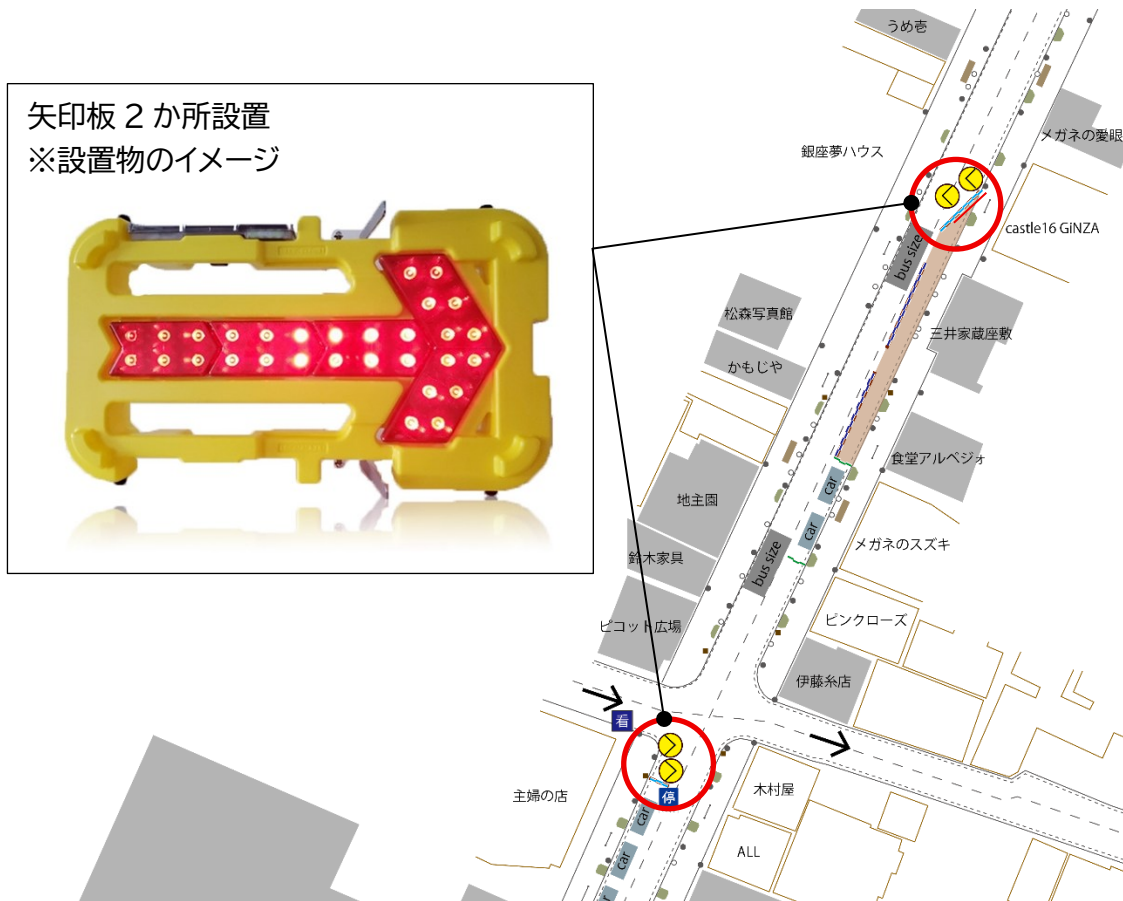


図 矢印版の設置箇所

表 矢印版の仕様

型番	KAB-003	
LED	赤30個	
ソーラーパネル	1.5W	
電源	ニッケル水素電池・単一電池2本（別売）	
点灯時間	無日照	標準モード：約5日（満充電時） エコモード：約10日（満充電時）
	乾電池	標準モード：約90時間 エコモード：約180時間
点灯パターン	点滅／流動	
本体材質	フレーム：PE 矢印部：ポリカーボネート	
サイズ	W779×H464×D105mm	
質量	約5.8kg	
その他	ON-OFFスイッチ・電源自動切替機能・エコモード 夜間自動点滅機能付	

4. 社会実験の効果検証

4-1 商店街に対する調査

4-1-1 調査目的

主に2項目を把握するため調査を実施した。

- ・社会実験の前後で、各店舗が抱く期待や不安などの心情の変化
- ・社会実験の実施前後における売上高や来訪者数などの指標について、変化の傾向

4-1-2 調査の実施方法

表 調査実施方法

項目	事前調査	事後調査
調査対象	鶴岡銀座商店街各店舗	
調査方法	配布:各店舗に訪問して調査主旨を説明し調査票を配布 回収:Dada 事務室に提出	
調査時期	9月26日(金)~10月3日(金)	10月27日(月)~11月7日(金)

4-1-3 実施結果

(1) 回収結果

- ・鶴岡銀座商店街各店舗に配布し、事前調査及び事後調査ともに回収票数は25票であった。

表 調査の実施結果

項目	事前調査	事後調査
配布枚数	40枚	40枚
回収数	25票(回収率:62.5%)	25票(回収率:62.5%)

(2) 結果概要

1) 社会実験に伴う心情の変化

- ・社会実験前後における心理的变化を伺ったところ、当初期待していた「来訪者の増加」「滞在時間の増加」等の売上に直結する項目は、社会実験前の期待値を下回り、期待される効果が実感できなかった傾向が明らかとなった。
- ・その一方で、社会実験前に不安と感じていた「事故の発生」「荷物・配送物等の運搬・集荷のトラブル」「渋滞の発生」等の空間整備に伴う不安事項が確認されていたが、これらの不安事項はいずれも実施前を下回る結果となった。これは、安全対策を講じた空間整備が一定の効果を発揮し、商店街の皆さんが抱いていた懸念の一部を軽減したことを示唆している。

2) 社会実験に伴う売上等の変化について

- ・社会実験における直接的な効果を図る指標として「直近1週間の営業日の1日平均来店者数」を伺ったところ、5人未満の割合が低下し15人以上30人未満の比率が高まった結果、来店者数は約2人増加した。
- ・また「消費金額（1人あたりの平均）」をみると、1,000円未満の割合が低下し、その他の金額へ転嫁したため、平均消費額が押し上げられ約400円増加した。

(3) 回答結果

1) 期待していること・良かったこと

- ・実証実験前の調査では、「商店街への来訪者の増加」が最も期待されていたが、実施後の調査では来訪者や滞在時間の増加もあったものの「特に変化はなかった」との回答が多くなっている。

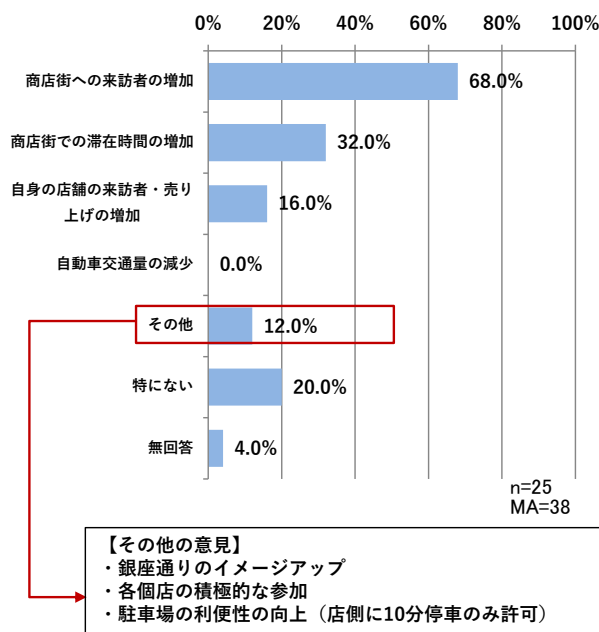


図 期待していること（実施前）

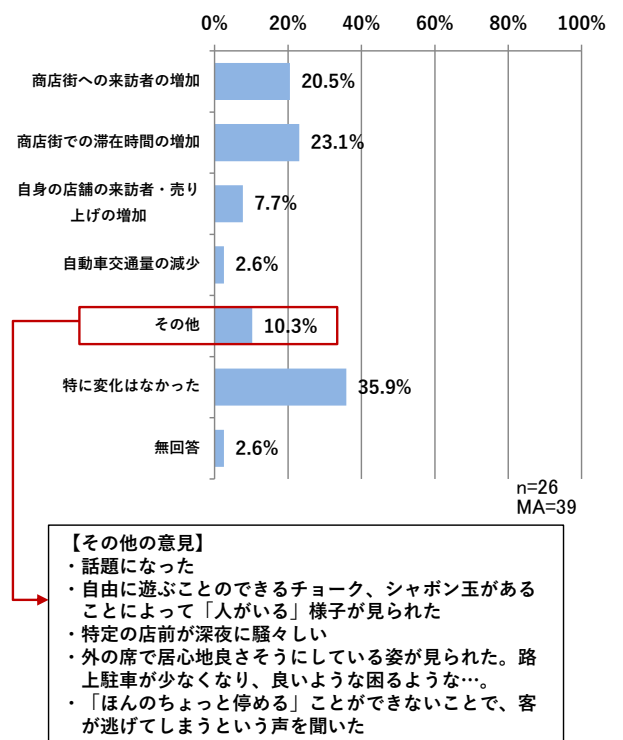


図 良かったこと（実施後）

2) 不安に感じる事・実際に困ったこと

- ・実証実験前に不安に感じていた事に対して、実際に困ったことへの回答が上回ることがなく「特になし」が最も多くなっている。

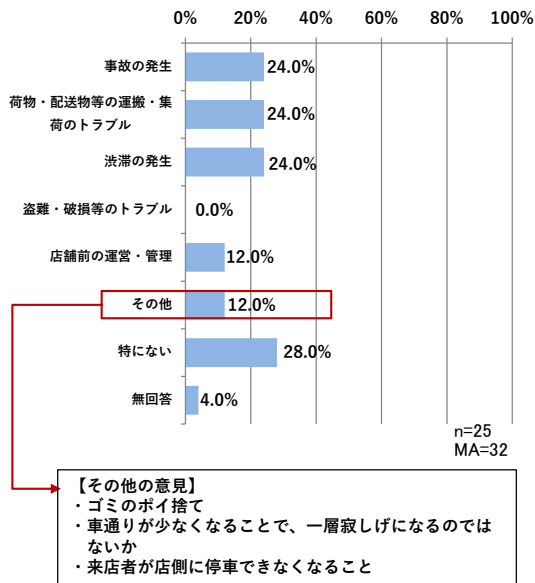


図 不安に感じる事 (実施前)

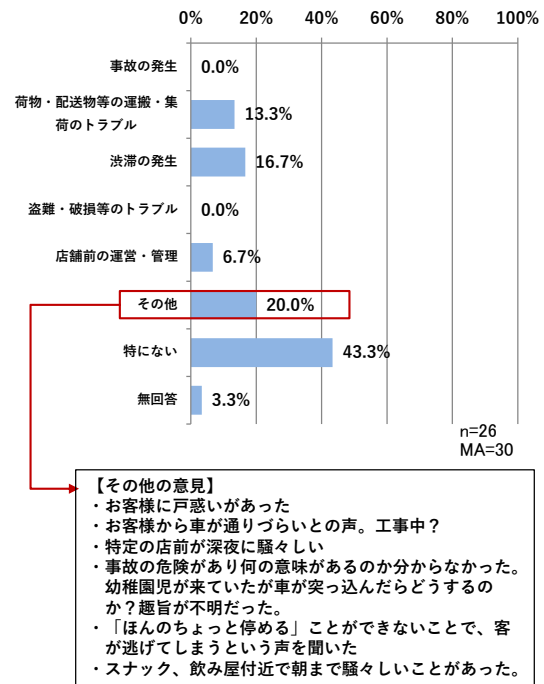


図 実際に困ったこと (実施後)

3) 留意して欲しいこと・実際に困ったこと

- ・環境整備においては、交通や来訪者への説明不足による困りごとが発生していた。
- ・一方、安全対策においては実際に困ったことへの意見は特に見られなかった。

表 留意してほしいこと／実際に困ったこと

区分	留意してほしいこと(実証実験前)	実際に困ったこと(実証実験後)
環境整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーム対応 (丁寧な)。 ・路駐買い物客に向けた駐車場の明記。 ・川端通り通行量調査の結果反映。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の混乱が見られた。 ・この期間中は来店を控えたという声が多かった。 ・道路の変化に気付かずに、店前に車をとめた方がいて渋滞になった。 ・お客様が駐車スペースを確保できなかった。 ・配送業者、代行業者 (夜) へのクレーム対応に苦慮した。 ・朝までワーワーと騒々しく、警察沙汰になっていた。
安全対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・三井家蔵座敷の両側から車が出る際の安全対策・事故防止。 ・ポールとか赤いコーン等の設置で安全対策。 ・信号手前の看板設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし

4) 改善点

- ・利用環境においては、雨天時の対応や植物の設置などの快適性、バリケードや歩行空間の狭さに対する導線についての意見があげられている。
- ・周知については実施前の情報発信不足と実施中の看板などでのサイン不足についての意見があげられている。

表 改善点

区分	概要
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・寒かった。早い時期の方がよい ・通過交通排除には反対である。通過した際に見て、というお客様が過去にも多くいらっしゃった。通過交通は大事という声（業界）も聞く ・次回実施するとしたら緑（植物）を置いたりしたい。 ・雨天時の対応。ベンチ・人工芝をずらすなどの対応や仮設バリケードなど、全体的な見回り・管理が必要と感じた。 ・バリケードが大きく、邪魔に感じられた。 ・歩行者通路・空間は、一車線ではなくもう少し狭い空間でも良かったのではないか。 ・移動販売「とくし丸」が来たのは良かった。主婦の店が閉店し、年配の一人暮らしが増えている中で、助かると感じた人も多いのではないか。やってみないと分からないこともある。 ・交通量は増えも減りもしなかった。夕方もそうでもないように感じた。3 ブロック→4 ブロックの信号は元々左車線の利用が多い（右車線は右折車のみ）右折車が使えなくても、さほど不便を感じないように思われた。 ・雨天時に車道に設けられた歩行者通路を歩く人はいない。アーケード下の広い歩道の中に、歩行空間と飲食等のパークレット空間を設けることはできないか ・歩道の活用だけで良かったのかも、と思った。 ・ゆっくり食事をするタイプの店付近では外の設置は無関係。変化はなかった。
周知	<ul style="list-style-type: none"> ・蛇行についてお客様に説明したことがあった。 ・期間が短く、一般人への周知不足。 ・工事現場と間違っている方がいた。 ・看板の設置による周知がとても大切だと感じた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・来街者の声等、結果がどうだったのか興味があるのでフィードバックして欲しい。 ・個店が自分事になっていないと感じる。

5) 来店者数の変化 (直近1週間の営業日の1日平均)

・来店者数は実証実験前に比べて約2.0人の増加となっている。

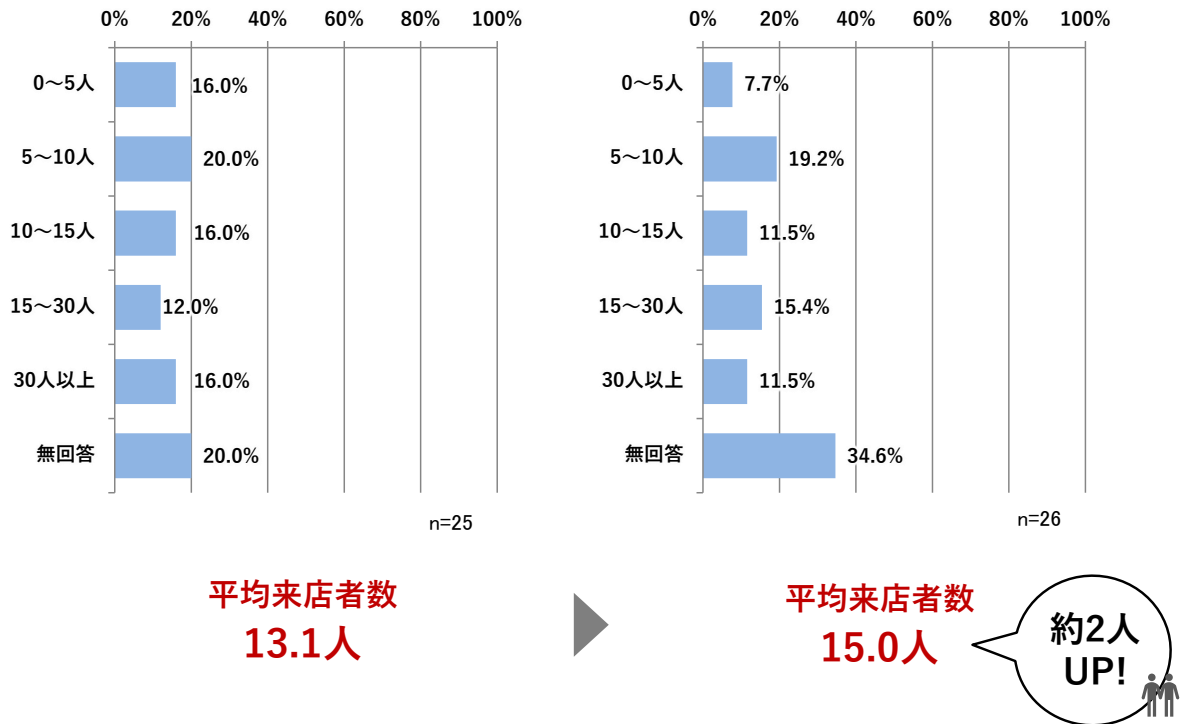


図 来店者数 (左: 実施前 / 右: 実施後)

6) 消費金額 (1人あたりの平均)

・消費金額 (1人あたりの平均) は、実証実験前に比べて約400円の増加となっている。

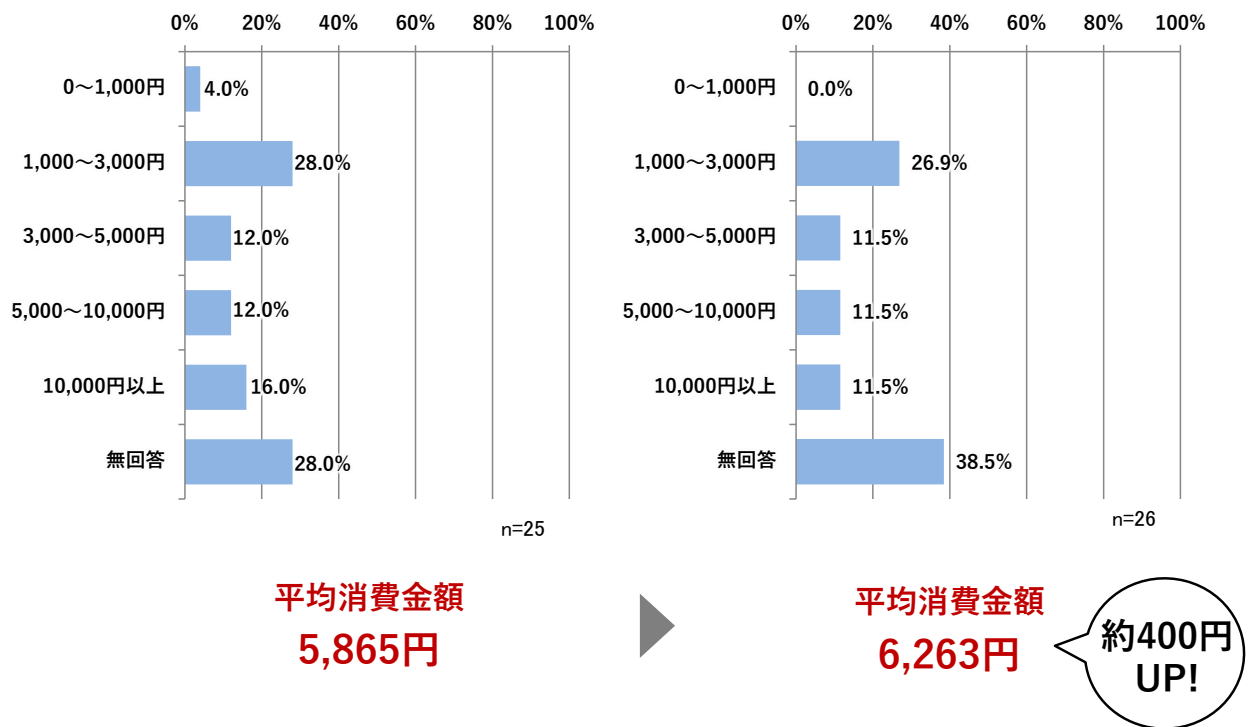


図 消費金額 (左: 実施前 / 右: 実施後)

(4) 調査票

1) 事前調査

問1:パークレット社会実験の実施に対して期待していることはありますか？(該当するもの全てに○)

①商店街への来訪者の増加	②商店街での滞在時間の増加
③自身の店舗の来訪者・売り上げの増加	④自動車交通量の減少
⑤その他(具体的に: _____)	
⑥特にない	

問2:パークレット社会実験の実施に対して不安に感じることはありますか？(該当するもの全てに○)

①事故の発生	②荷物・配送物等の運搬・集荷のトラブル
③渋滞の発生	④盗難・破損等のトラブル
⑤店舗前の運営・管理	⑥その他(具体的に: _____)
⑦特にない	

問3:問2に関連して特に留意してほしい、あるいは対策してほしいと考えることがあれば教えてください。
(自由回答)

問4:ご自身の店舗への来店者数と、1人あたりの消費金額を可能な範囲で教えてください。

※社会実験による経済的な効果の算出に活用します。実施前後の比較をいたしますので、「事後調査」でもお聞きします。なお、本項目は商店街全体で集計しますので、店舗ごとの営業情報を利用することはありません。

①来店者数(直近1週間の営業日の1日平均) () 人

②消費金額(1人あたりの平均) () 円

問5:最後に、回答者ご自身についてお聞きします。

店舗名	
氏名	

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

この調査票は、令和7年10月3日(金)までにDada事務室へお持ちください。

2) 事後調査

問1:パークレット社会実験に対して良かったことはありますか？(該当するもの全てに○)

①商店街への来訪者の増加	②商店街での滞在時間の増加
③自身の店舗の来訪者・売り上げの増加	④自動車交通量の減少
⑤その他(具体的に: _____)	
⑥特に変化はなかった	

問2:パークレット社会実験中に困ったことはありますか？(該当するもの全てに○)

①事故の発生	②荷物・配送物等の運搬・集荷のトラブル
③渋滞の発生	④盗難・破損等のトラブル
⑤店舗前の運営・管理	⑥その他(具体的に: _____)
⑦特にない	

問3:問2に関連して実際に困った場面の詳細を教えてください。(自由回答)

--

問4:お気づきの改善点等がありましたら、教えてください。(自由回答)

--

問5:ご自身の店舗への来店者数と、1人あたりの消費金額を可能な範囲で教えてください。

※社会実験による経済的な効果の算出に活用します。実施前後の比較をいたしますので、「事前調査」でもお聞きした内容です。なお、本項目は商店街全体で集計しますので、店舗ごとの営業情報を利用することはありません。

①来店者数(直近1週間の営業日の1日平均)

() 人

②消費金額(1人あたりの平均)

() 円

問6:最後に、回答者ご自身についてお聞きます。

店舗名	
氏名	

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

この調査票は、令和7年11月7日(金)までに Dada 事務室へお持ちください。

4-2 利用者に対する調査

4-2-1 調査目的

パークレット利用者に対して、訪問理由や感想等を把握するため、調査を実施した。

4-2-2 調査の実施方法

表 調査の実施方法

項目	概要
調査対象	実証中のパークレット利用者
調査方法	直接聞き取りまたはWEB アンケート調査
調査時期	令和7年10月9日～令和7年10月19日

4-2-3 実施結果

(1) 回収結果

- ・パークレット期間中に利用した方々へ調査を実施したところ、回収票数は聞き取り 28 票 WEB アンケート 63 票の計 91 票であった。

表 調査の実施結果

項目	概要
配布枚数	91 票
回収数	91 票(うち聞き取り:28 票/WEB アンケート:63 票、回収率:100%)

(2) 結果概要

- ・利用者の来訪目的を伺うと、「ここに来て知った」「知らなかった」等の回答が集まっており、情報の周知が広く浸透していない可能性が示唆された。
- ・一方で、社会実験への参加を主目的とした回答者は「楽しそうだったから」「社会実験がどんな風になっているのか気になった」等、興味関心を示す傾向が見られた。
- ・社会実験の空間に対しては、「ベンチがあり休憩できる場所と感じた」「屋根があるので多少の雨でも充分楽しめた」「普段通りすぎるところをゆっくり見られる」等快適性を感じる意見が多く寄せられた。
- ・その一方で改善点としては「出店が少ない」「テーブルがあるのに飲食物が少ない」等のサービス面に関する指摘や「駐車場が少なく探すのに苦労した」等の車利用者に対する改善点が寄せられた。

(3) 回答結果

1) 来訪目的

- ・全体の6割が商店街への買い物やその他の目的での来訪ついでに立ち寄ったものであり、その多くが実施されていることを「知らなかった」と回答している。
- ・パークレットを体験するために来ている方の目的として「イベント内容への興味」や「実際にどんな風に行われているか見てみたい」といった理由があり、主な開催情報の取得はSNSやHPといった広告媒体または口コミとなっている。

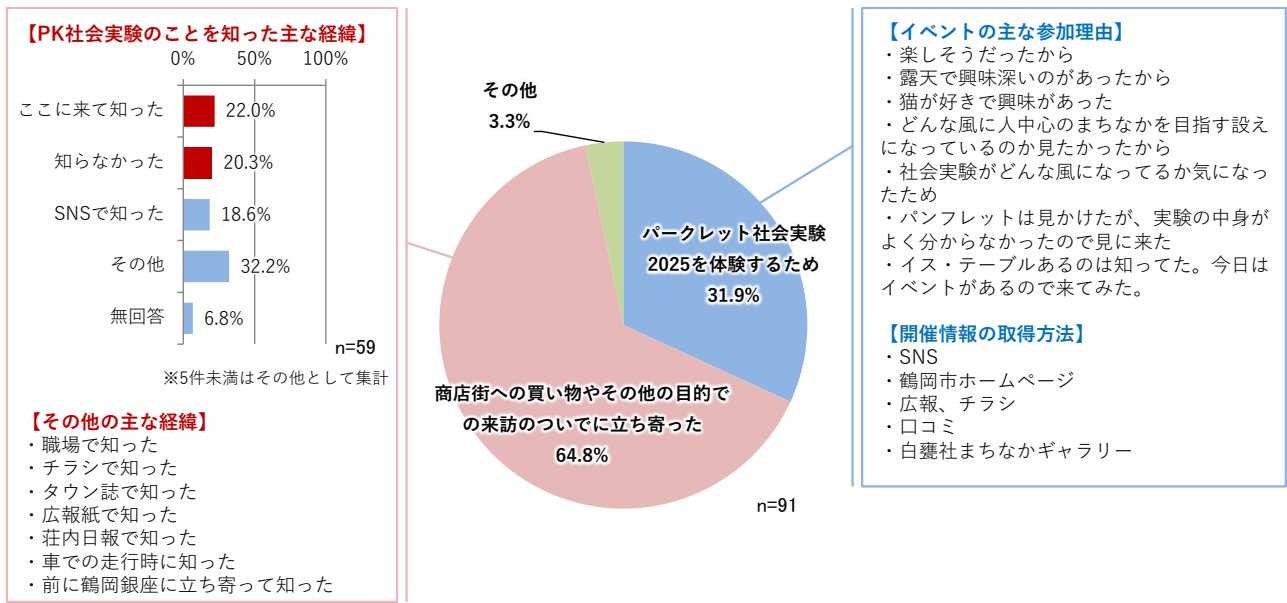


図 来訪目的

2) 滞在予定時間

- ・「60～120分」が約6割を占めている。

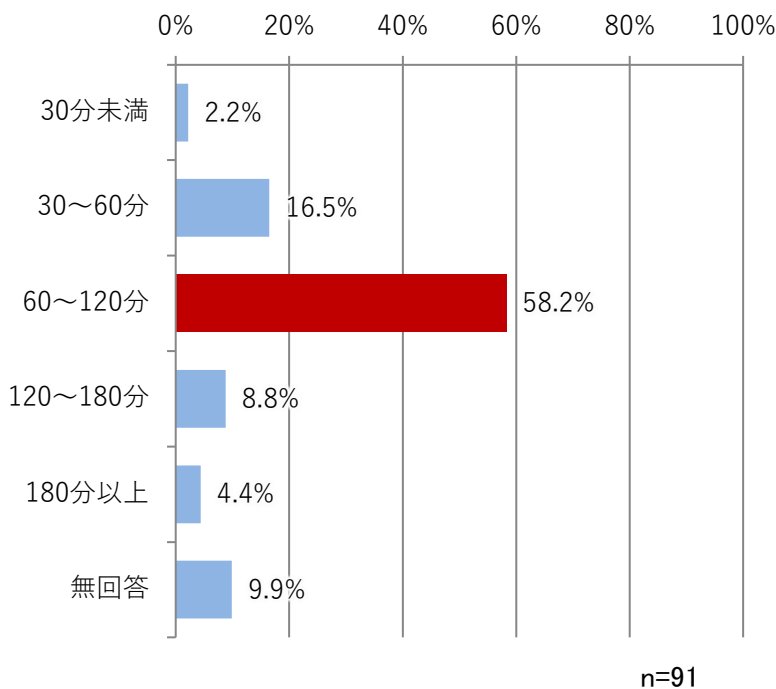


図 滞在予定時間

3) PK 社会実験体感後の良いと思った点

- ・パークレット社会実験空間の快適性が7割を占めたほか安全性に関する意見が見られた。
- ・快適を感じる主な理由として「休憩ができる」「知らなかったお店に入ったり色々な人と話さきっかけになる」「街の活性化になると思う」「雰囲気が良い」といった社交・滞在空間機能に関する意見が挙がっている。
- ・少数ではあるが「車の往来を気にせず歩けた」「車の走行速度が下がった気がする」といった通行する自動車からの安全性を起因とする意見が挙がっている。

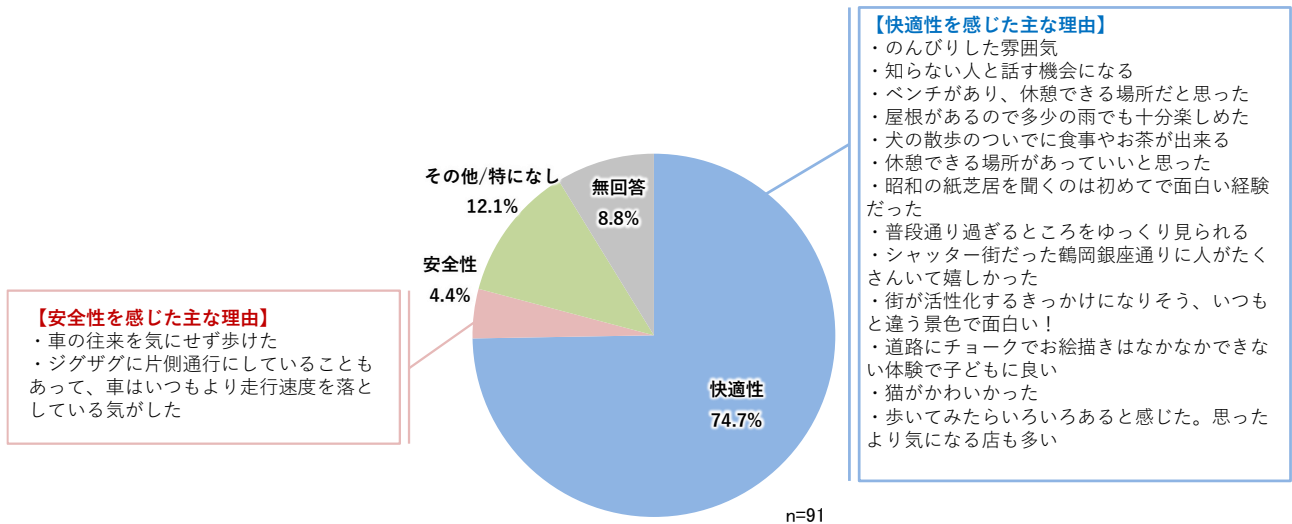


図 PK 社会実験体験後の良いと思った点

4) 歩行空間となった車道を歩いた際の危険性について

- ・歩行空間となった車道を歩いた際の危険性については「危険なし/問題なし」が4割と最も多くなっている。
- ・一方で空間の安全性について約3割は課題があると感じており、主な理由として「横断時にフェンスがあって移動しにくい」「交通量が多く横断時に危険」といった導線分離についての意見が見られる。
- ・空間の快適性として「目立つものを置いて欲しい」といった空間デザインへの意見等も挙げられている。

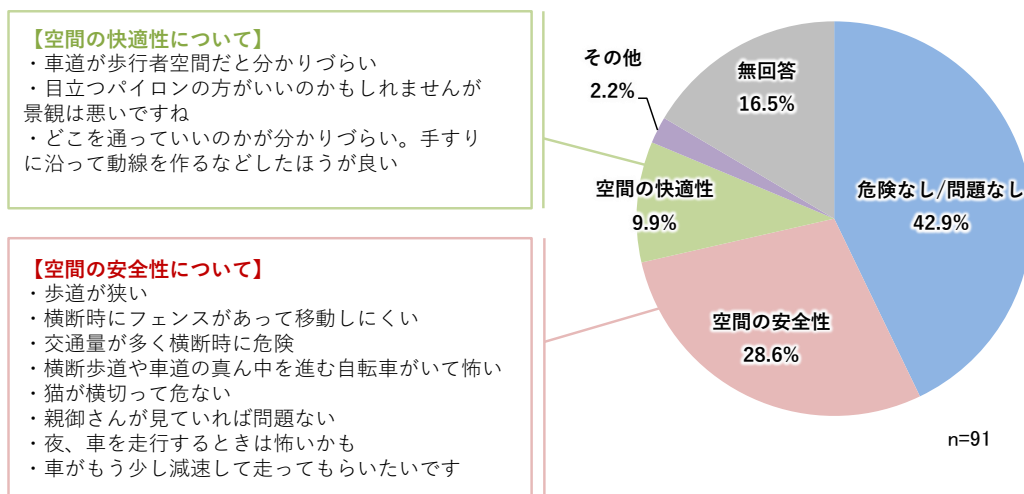


図 歩行空間となった車道を歩いた際の危険性について

5) 回答者の属性

- ・回答者の中心層である 40～50 歳代・20～30 歳代は全体の約 8 割を占め、配偶者や友人、子どもといった同伴を伴う訪問が多い傾向にある。
- ・回答者の 6 割が女性となっている。
- ・居住地は鶴岡地域内が最も多く 6 割を占めている。

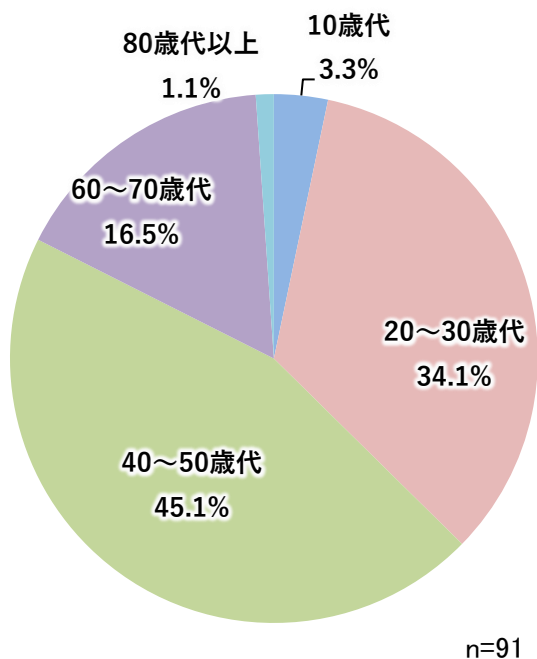


図 年齢

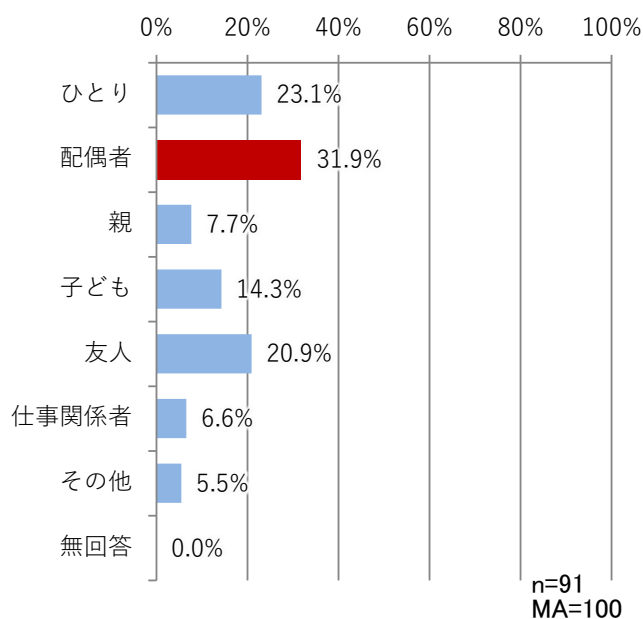


図 同伴者の状況

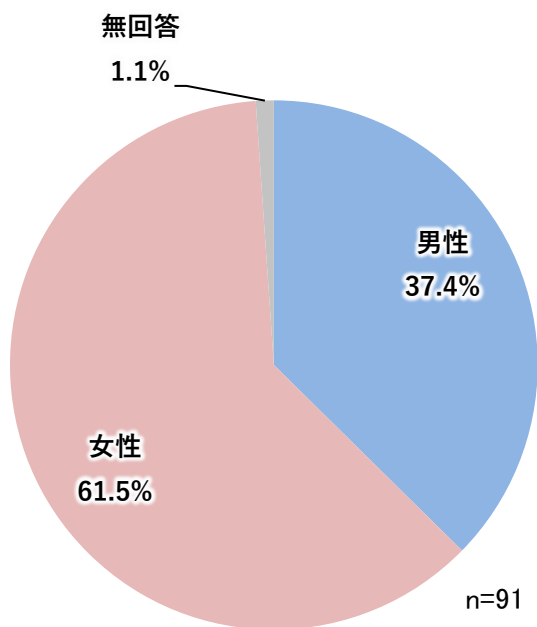


図 性別

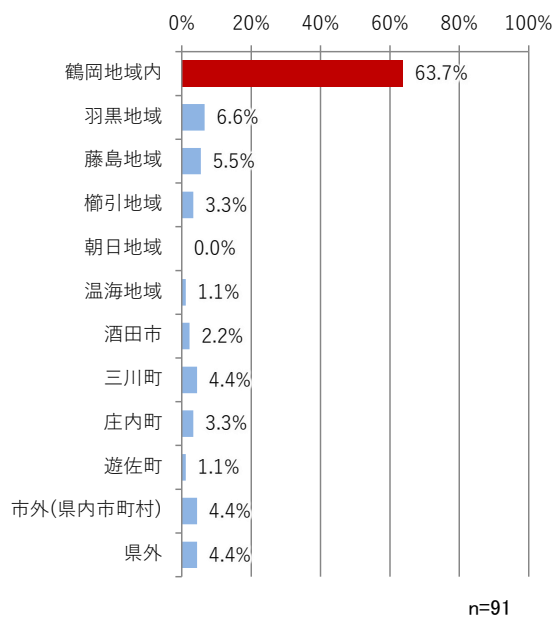


図 居住地

(4) 調査票

利用者へのヒアリングシート

問1. 本日はパークレット社会実験を目当てに来訪しましたか？

- ①はい
- ②いいえ(商店街への買い物やその他の目的での来訪のついでに立ち寄った、など)
- ③その他

回答記載欄 ※①～③に関するコメントがあれば記載

↓

※「①はい」と答えた方

問1-1. パークレット社会実験の開催情報をどこで取得しましたか？

※「②いいえ」と答えた方

問1-2. パークレット社会実験のことをご存じでしたか？

回答記載欄 ※問1-1・1-2の回答コメントを記載

問2. パークレット内で過ごす時間はどのくらいを予定していますか。

回答記載欄 ※〇分などと記載、「わからない」などの場合はそのことを記載

問3. パークレット社会実験を体感してみて良いと思った点を教えてください。

回答記載欄

問4. 悪いと思った点・改善したほうが良いと思った点を教えてください。

回答記載欄

4-3 自動車等に対する調査

4-3-1 調査目的

社会実験の実施による、周辺道路等での自動車の交通量の変化の把握と、実証エリアにおける歩行者・自転車通行量の変化を把握するため調査を実施した。

4-3-2 調査の実施方法

表 調査実施方法

項目	概要
調査対象	パークレット区域内外の8か所11台
調査方法	タイムラプスカメラの設置による計測
調査時期	・実証中:令和7年10月10日、11日における7時~19時の12時間 ・平常時:令和7年10月24日、25日における7時~19時の12時間

—調査地点—

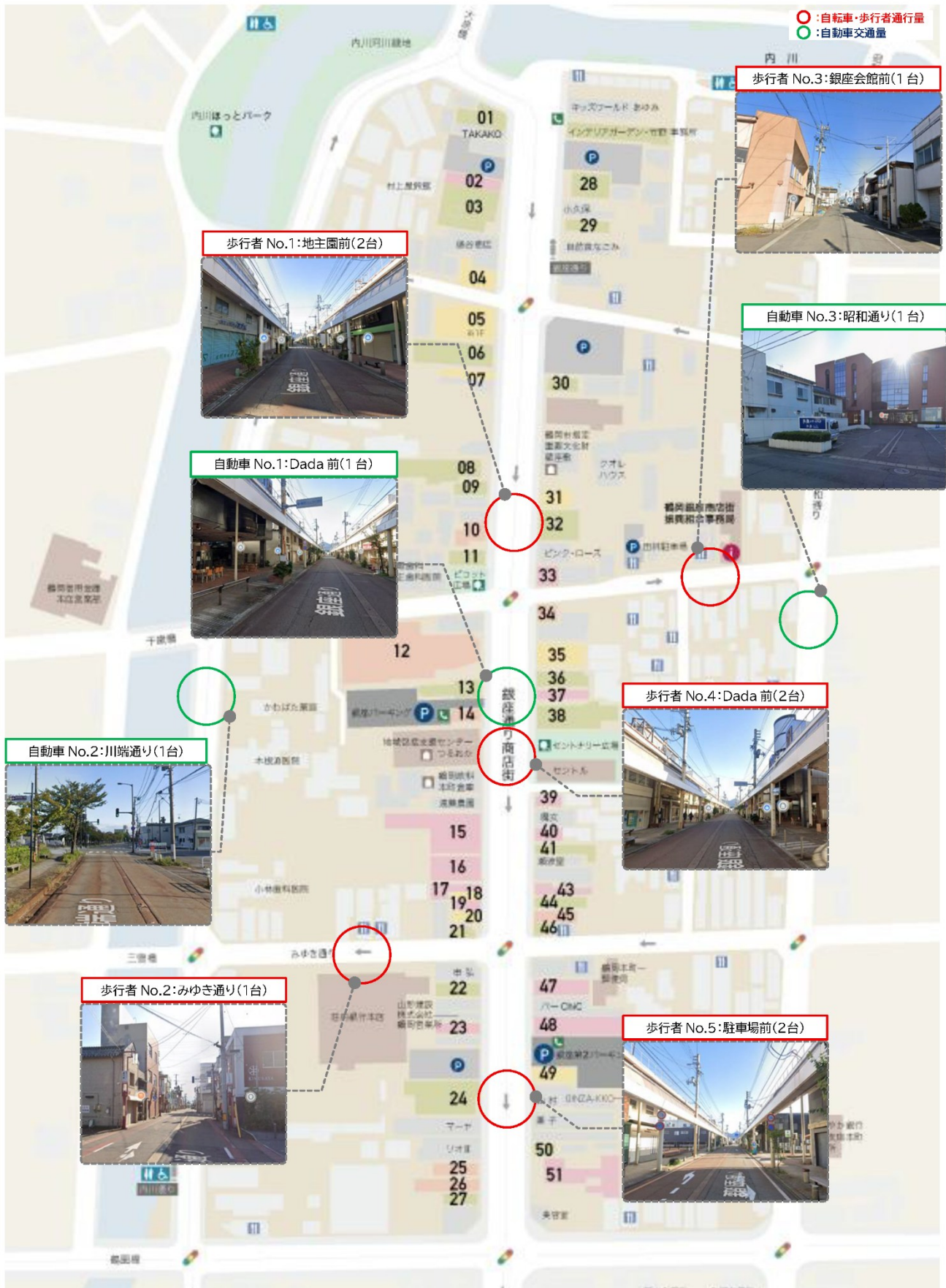


図 調査実施箇所

4-3-3 実施結果

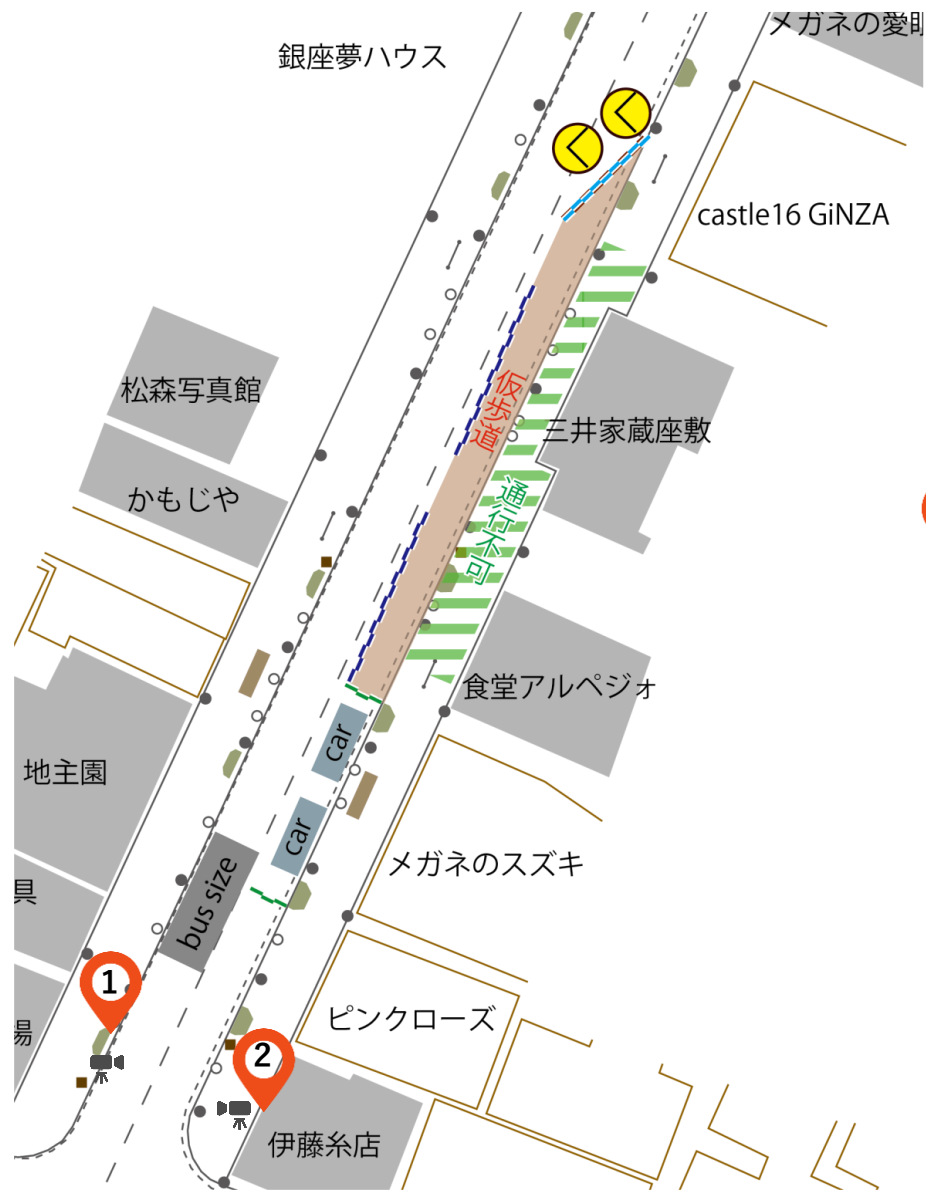
(1) 結果概要

1) 自転車・歩行者通行量

- ・ 5 拠点の平常時と実証中の通行量を比較したところ、地主園・Dada 前・駐車場の 3 拠点で、実証中の通行量が平常時を上回った。
- ・ 特に休日において Dada 付近でソフト事業を実施した 13 時から 17 時台に歩行者通行量が集中しており、局所的かつ限定的に人の滞留が見られた。
- ・ そのほか、実証区間の一部時間帯で歩行者通行量の増加が確認された。当該時間帯の活動状況を確認したところ、保育園児の散歩ルートの通過、荷物の搬入・搬出作業、通勤・通学に伴う移動といった日常的な活動が継続的に生じており、これらの状況から、当該区間が恒常的に人々の往来が多いエリアであることが明らかとなった。

2) 自動車交通量

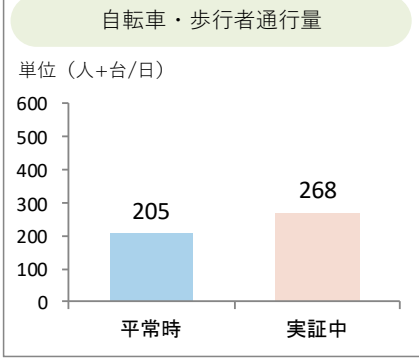
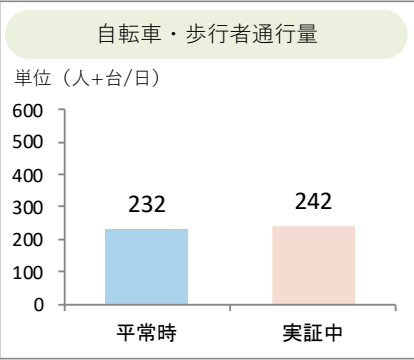
- ・ 3 拠点における平常時と実証中の交通量を比較すると、川端通り及び昭和通りにおける実施中の交通量が増加した一方で Dada 前における実施中の交通量は減少している。
- ・ 特に、休日に Dada 前が 7%減少した一方で、川端通りは約 2 倍、昭和通りは 1.3 倍となっていることから、迂回の効果が一部発現した可能性を示唆している。
- ・ そのほか、川端通りは 7 月 30 日から対面通行となり、社会実験は銀座通りの通過交通を他ルートに逃がせる環境が整ったタイミングでの実施だったが、平日に南方向へ進行する交通量を平常時と実証中で比較すると、実証中は 1.2 倍と微増であり、銀座通りの通過交通が川端通りに置き換わったと言えるほどではなかった。



平日（金曜）

休日（土曜）

1



2

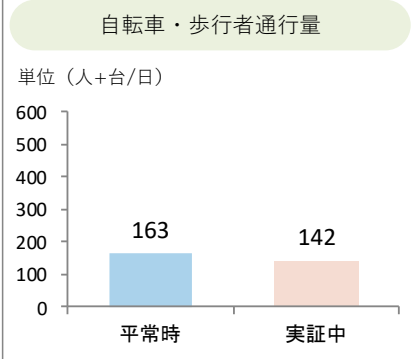
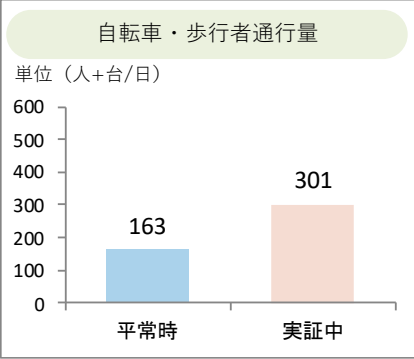


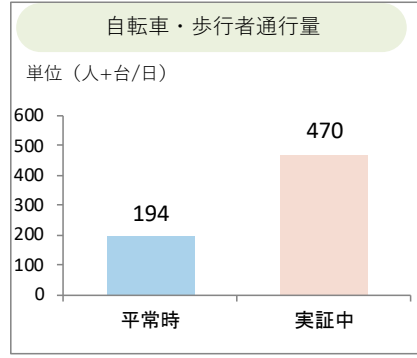
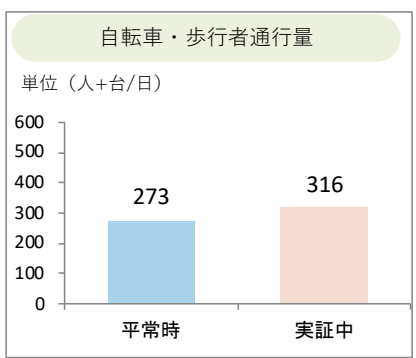
図 自転車・歩行者通行量（1/3）



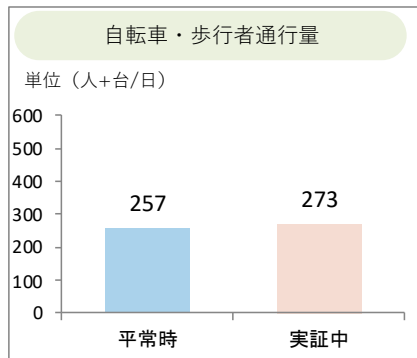
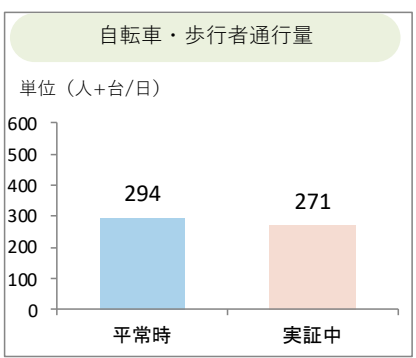
平日（金曜）

休日（土曜）

3



4



5

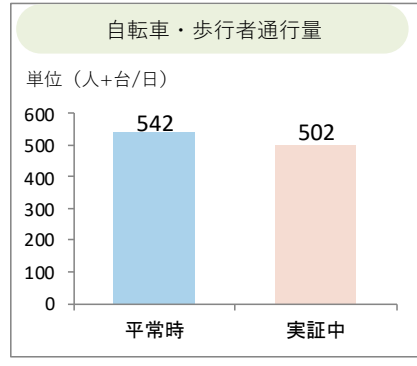
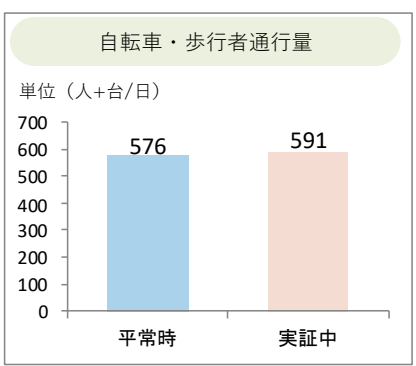


図 自転車・歩行者通行量（2/3）



平日（金曜）

休日（土曜）

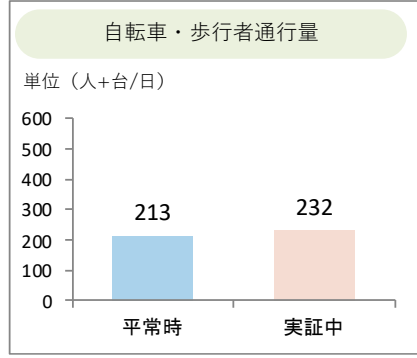
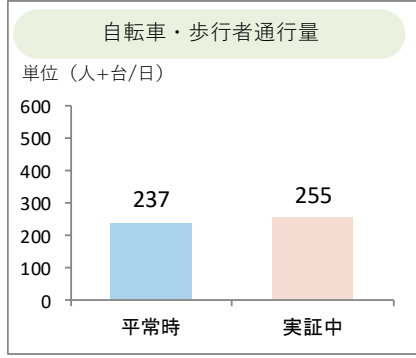
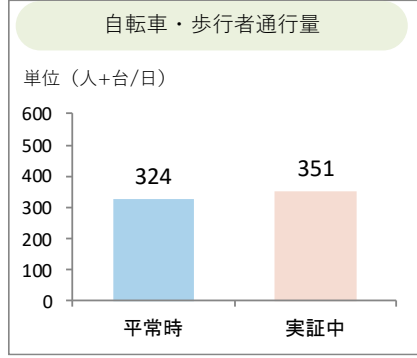
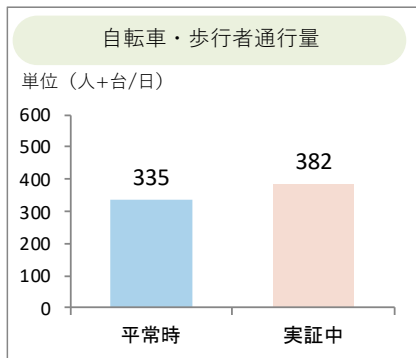
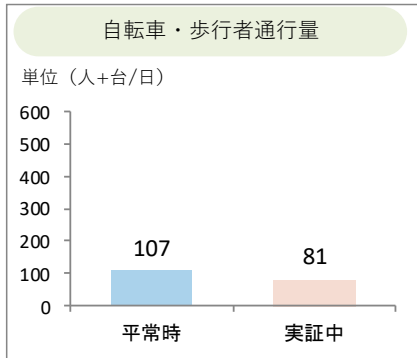
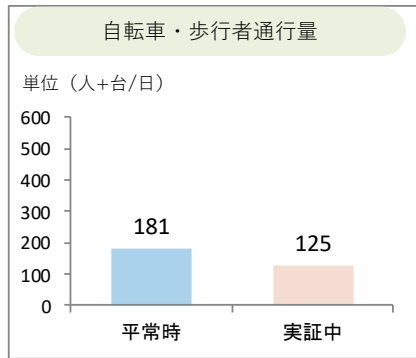


図 自転車・歩行者通行量 (3/3)

(2) 拠点別・時間帯別・分類別

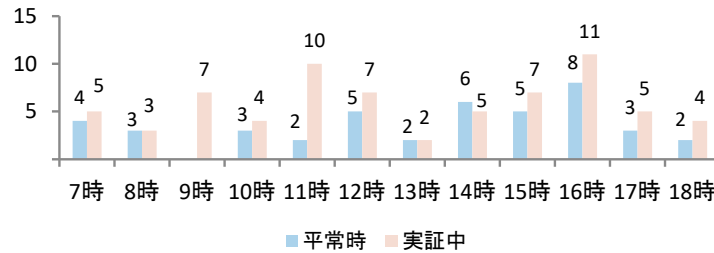
① 自転車・歩行者通行量：地主園側



自転車

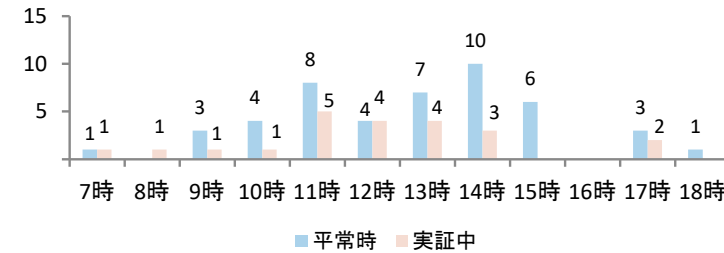
地主園前(地主園側)

単位(台)



地主園前(地主園側)

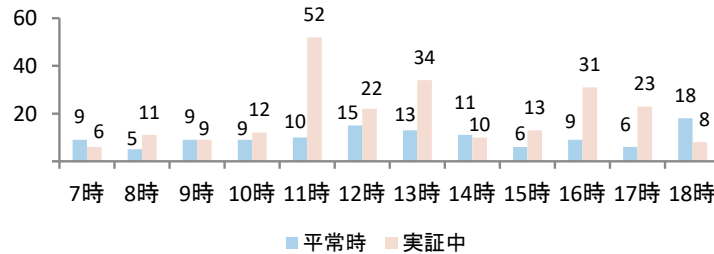
単位(台)



歩行者

地主園前(地主園側)

単位(人)



地主園前(地主園側)

単位(人)

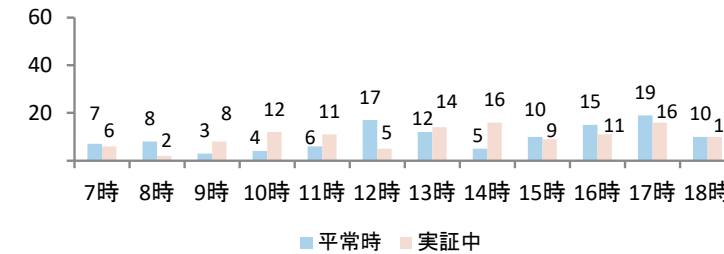


図 自停車・歩行者通行量 (地主園側)

② 自転車・歩行者通行量：ピンクローズ側



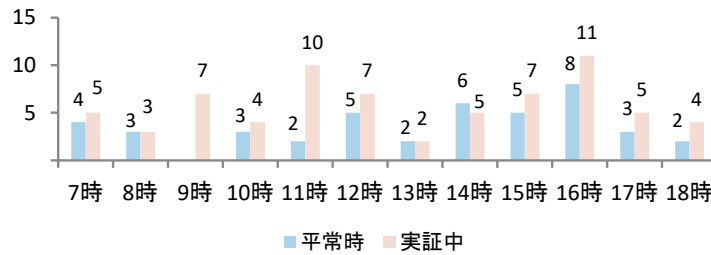
平日 (金曜)

休日 (土曜)

自転車

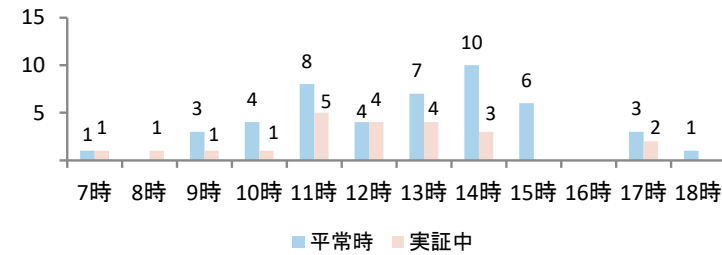
地主園前(地主園側)

単位(台)



地主園前(地主園側)

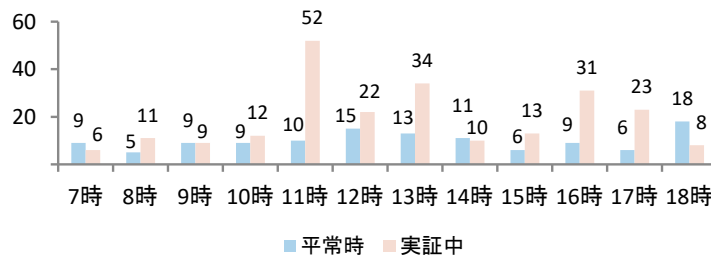
単位(台)



歩行者

地主園前(地主園側)

単位(人)



地主園前(地主園側)

単位(人)

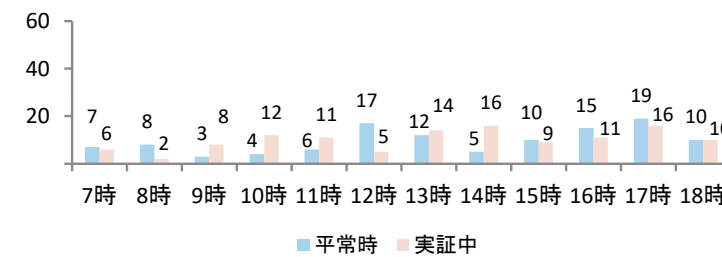


図 自停車・歩行者通行量 (ピンクローズ側)

③ 自転車・歩行者通行量：みゆき通り



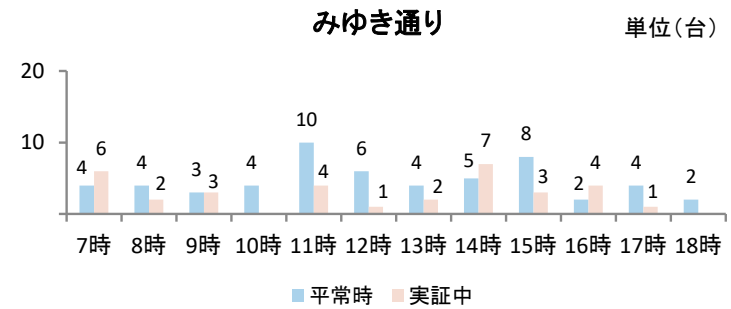
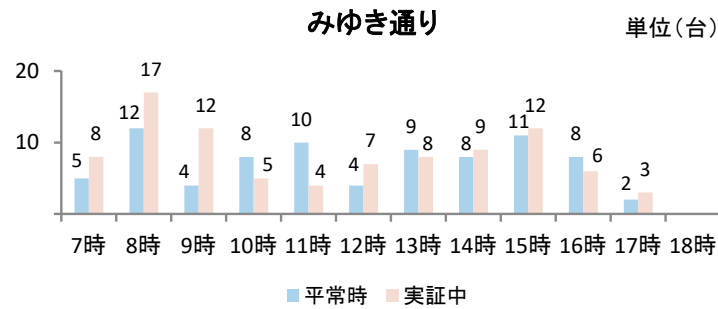
平日（金曜）



休日（土曜）

計測地点
計測断面
通行量

自転車



歩行者

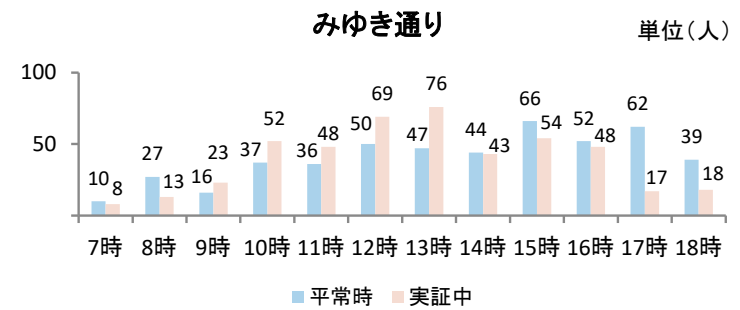
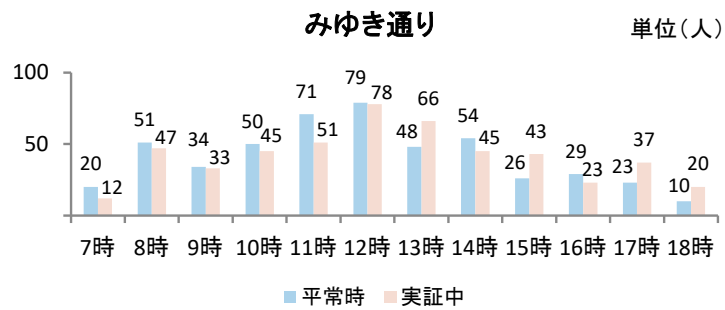


図 自停車・歩行者通行量（みゆき通り）

④ 自転車・歩行者通行量：銀座会館



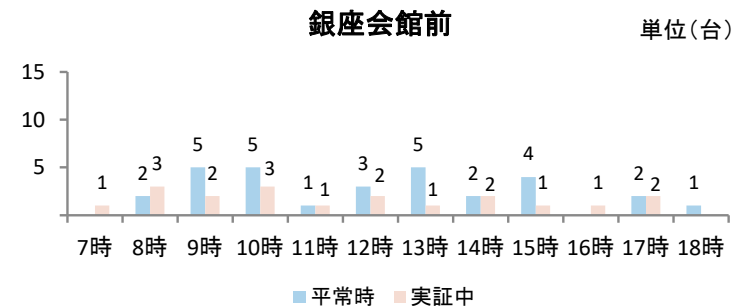
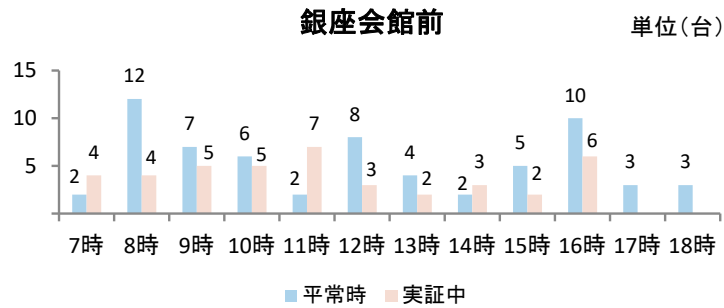
平日（金曜）

計測地点
計測断面
通行量



休日（土曜）

自転車



歩行者

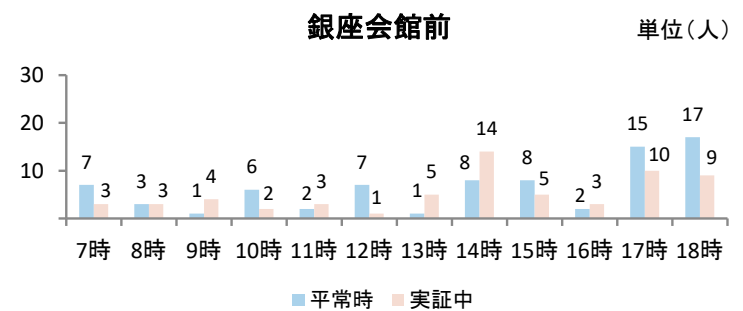
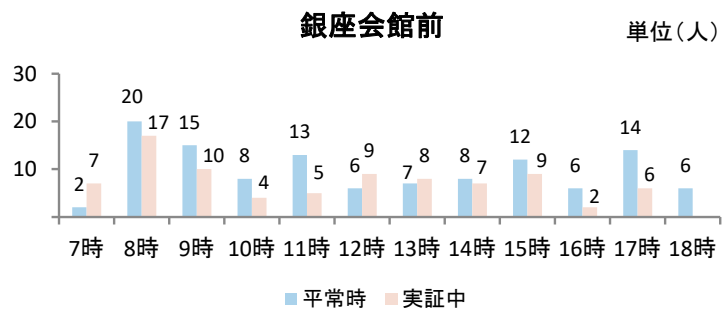


図 自停車・歩行者通行量（銀座会館）

⑤ 自転車・歩行者通行量：Dada 側



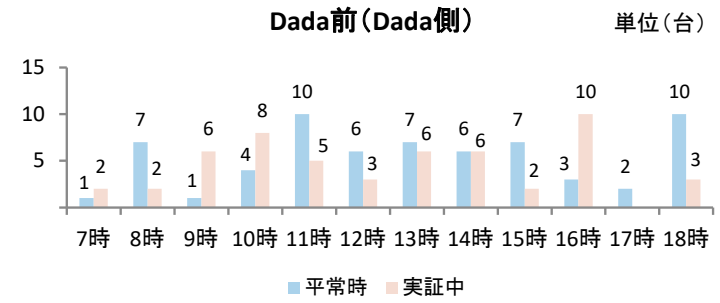
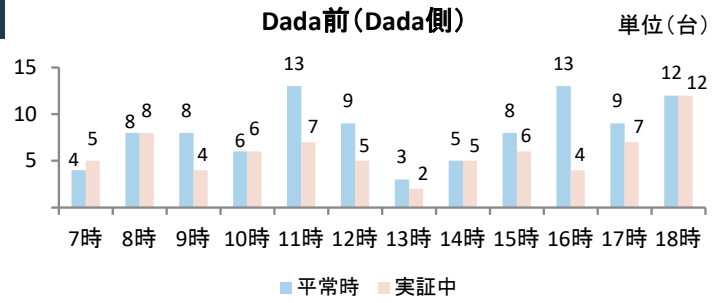
計測地点
計測断面
通行量



平日 (金曜)

休日 (土曜)

自転車



歩行者

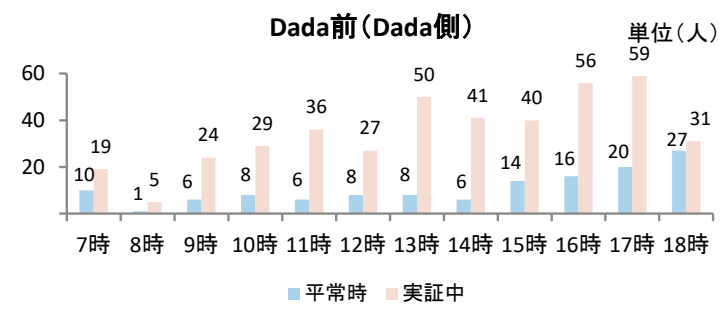
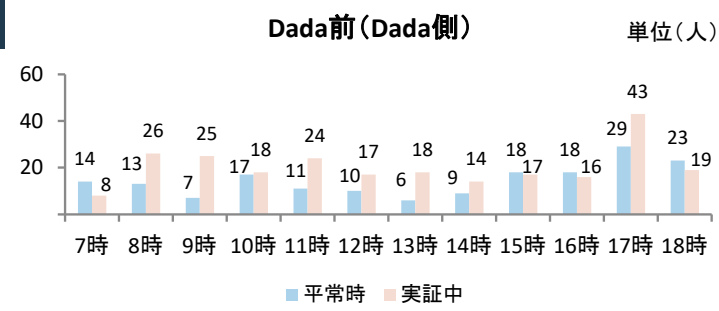


図 自停車・歩行者通行量 (Dada 側)

⑥ 自転車・歩行者通行量：エビスヤビル側



計測地点
計測断面
通行量

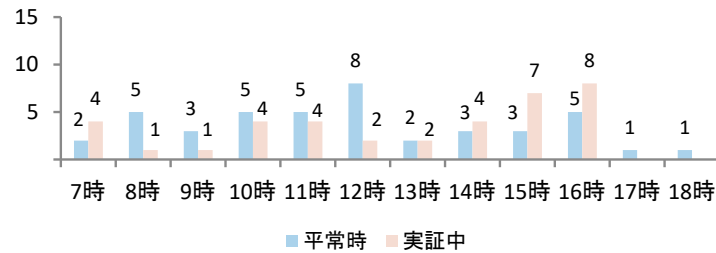


平日（金曜）

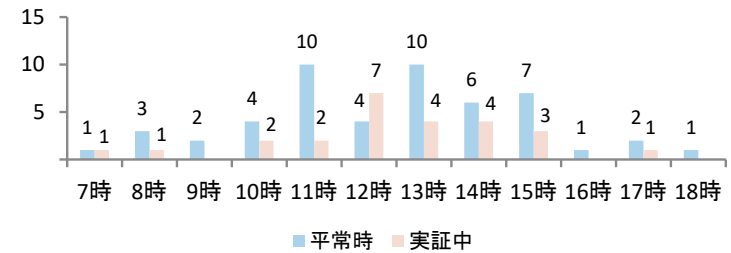
休日（土曜）

自転車

Dada前(エビスヤビル側) 単位(台)

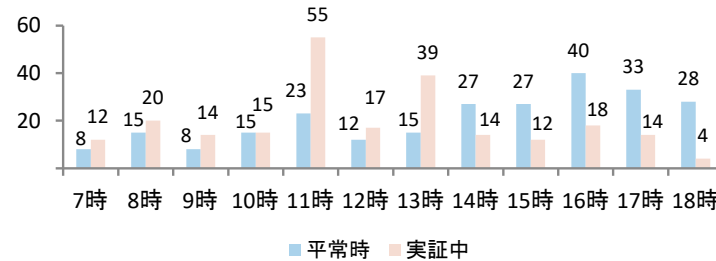


Dada前(エビスヤビル側) 単位(台)



歩行者

Dada前(エビスヤビル側) 単位(人)



Dada前(エビスヤビル側) 単位(人)

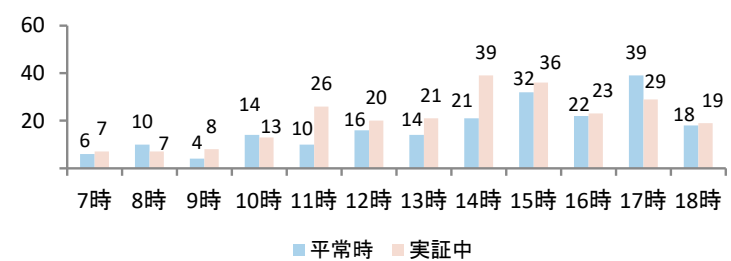


図 自停車・歩行者通行量（エビスヤビル側）

⑦ 自転車・歩行者通行量：駐車場側



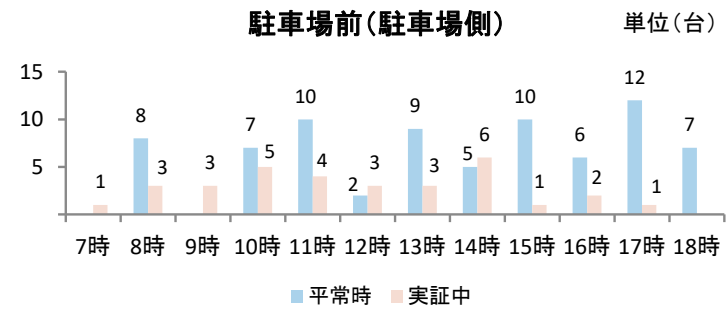
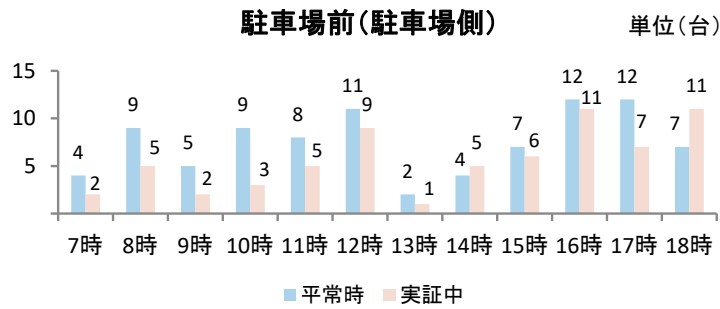
計測地点
 計測断面
 通行量



平日（金曜）

休日（土曜）

自転車



歩行者

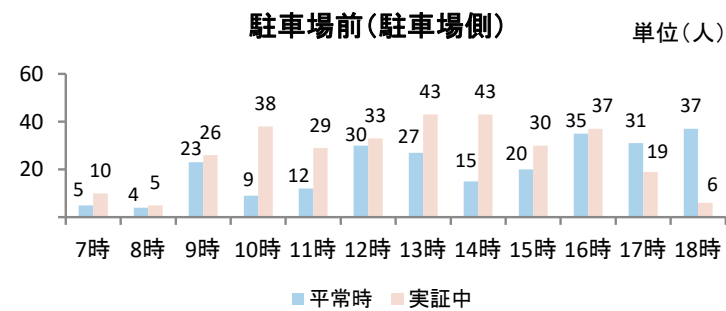
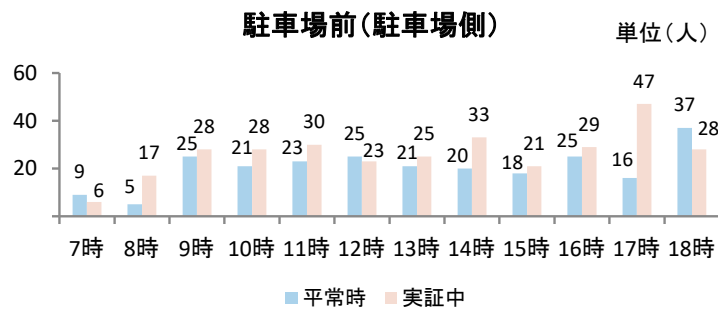


図 自停車・歩行者通行量（駐車場側）

⑧ 自転車・歩行者通行量：駐車場側（反対側）



平日（金曜）



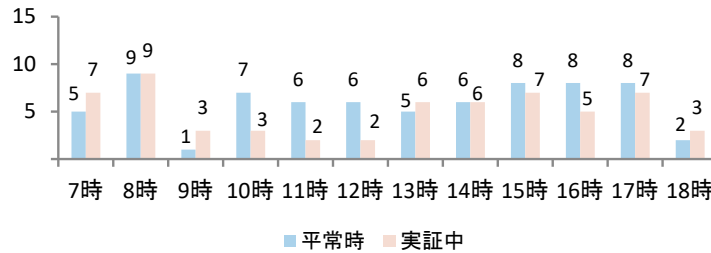
休日（土曜）

計測地点
計測断面
通行量

自転車

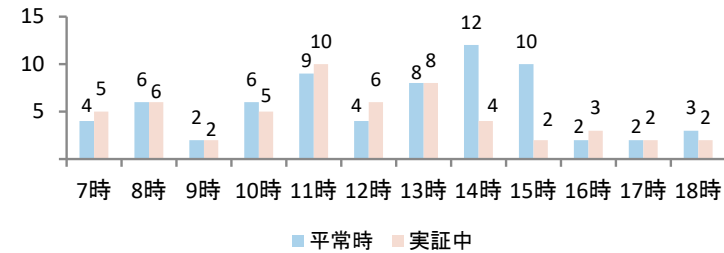
駐車場前(反対側)

単位(台)



駐車場前(反対側)

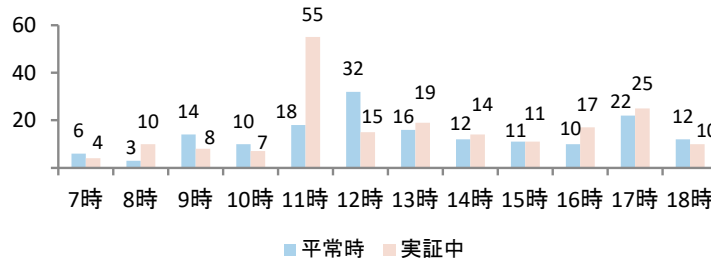
単位(台)



歩行者

駐車場前(反対側)

単位(人)



駐車場前(反対側)

単位(人)

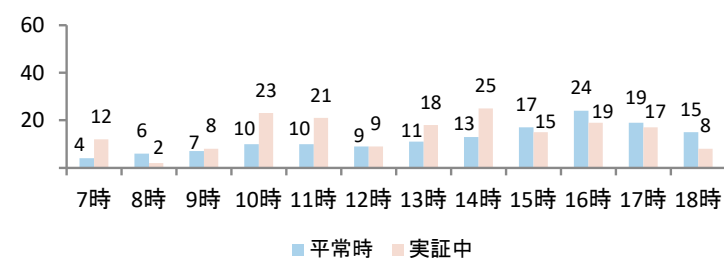


図 自停車・歩行者通行量（駐車場側（反対側））

⑨ 自動車交通量：エビスヤビル側①



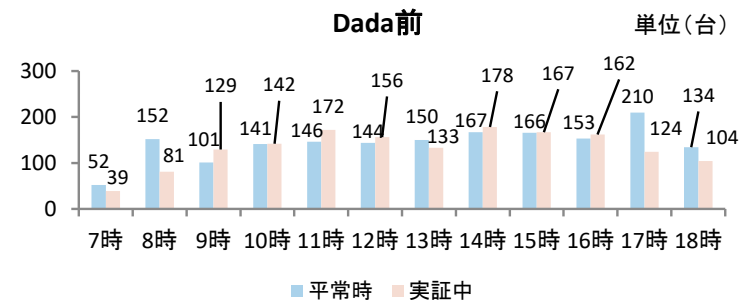
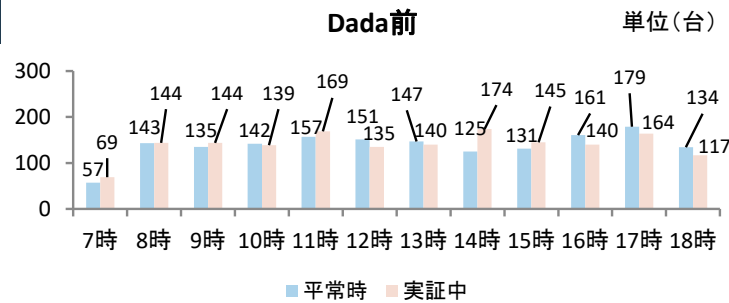
計測地点
計測断面
交通量



平日 (金曜)

休日 (土曜)

乗用車



バス

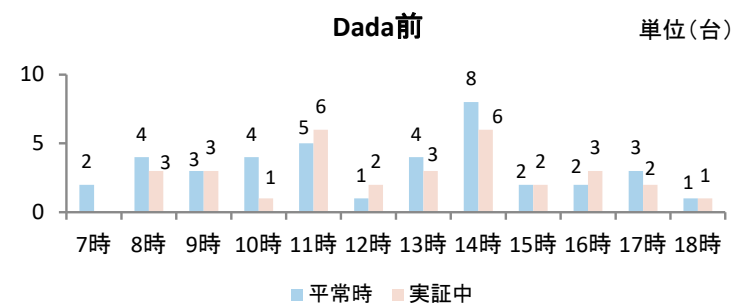
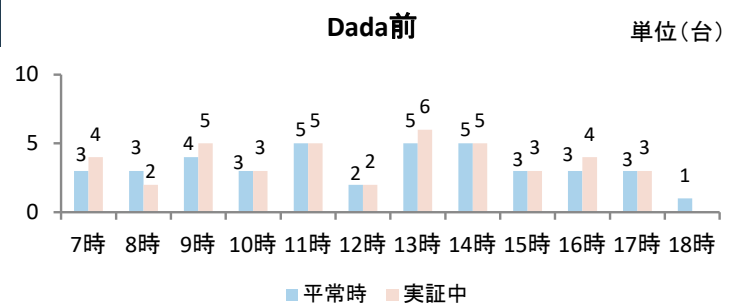


図 自動車交通量 (エビスヤビル側①)

⑩ 自動車交通量：エビスヤビル側②



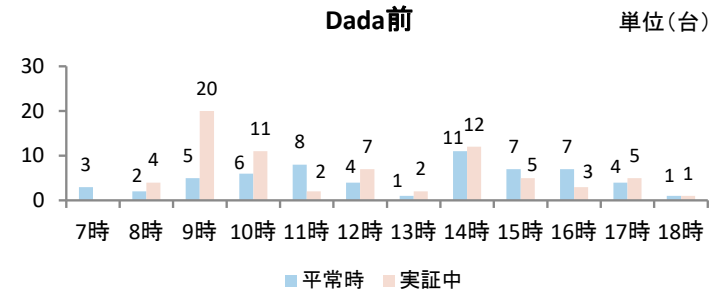
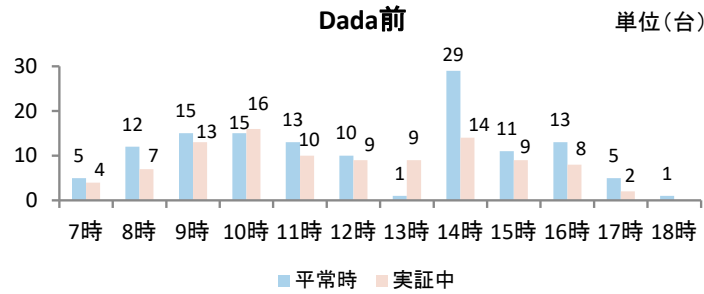
計測地点
計測断面
交通量



平日（金曜）

休日（土曜）

小型貨物



大型貨物

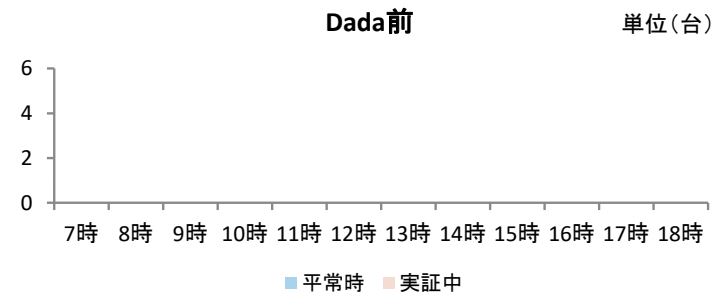
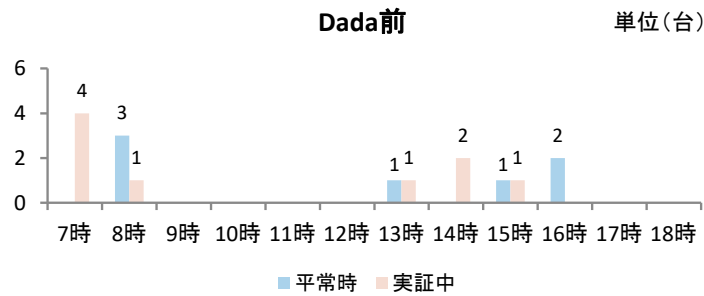


図 自動車交通量（エビスヤビル側②）

⑪ 自動車交通量：エビスヤビル側③



平日（金曜）



休日（土曜）

計測地点
計測断面
交通量

二輪車

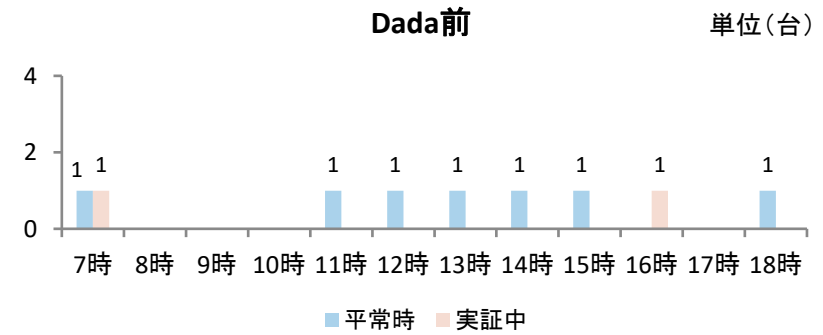
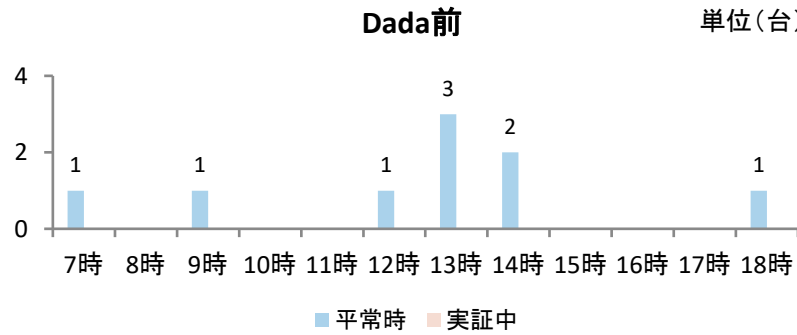
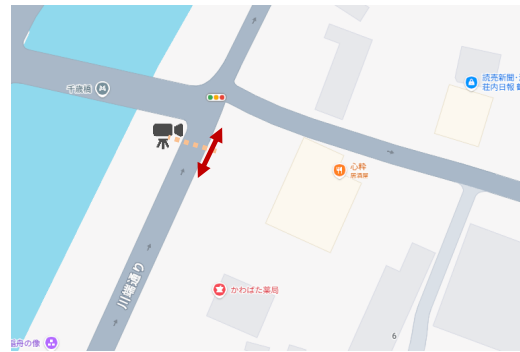


図 自動車交通量（エビスヤビル側③）

⑫ 自動車交通量：川端通り①



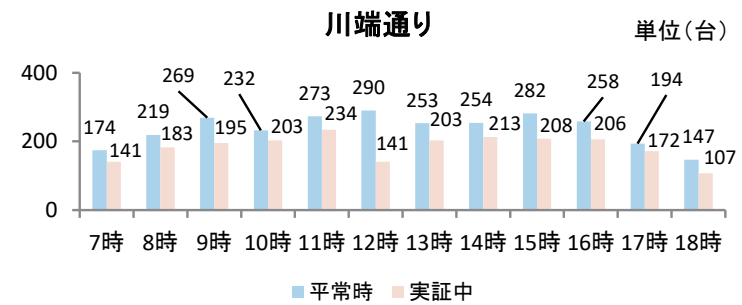
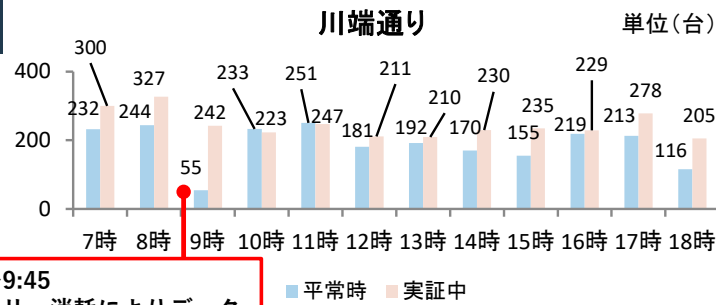
計測地点
計測断面
交通量



平日 (金曜)

休日 (土曜)

乗用車



8:44~9:45
バッテリー消耗によりデータ
取得不可の時間帯有

バス

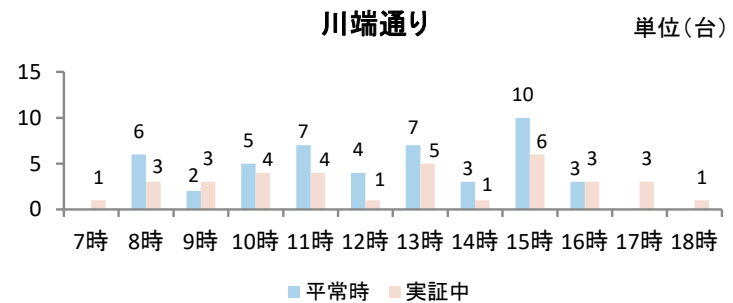
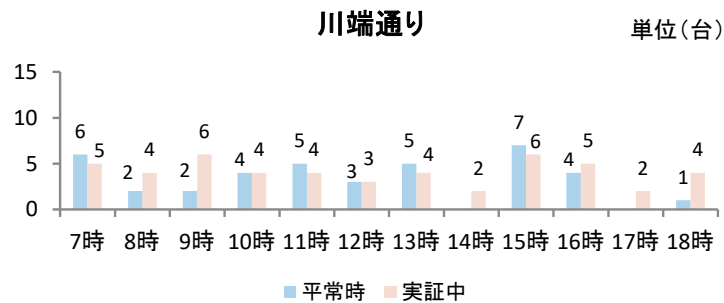
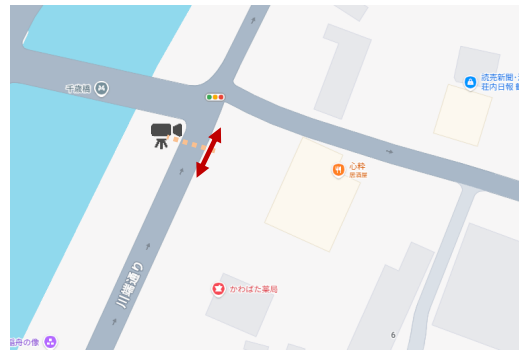


図 自動車交通量 (川端通り①)

⑬ 自動車交通量：川端通り②



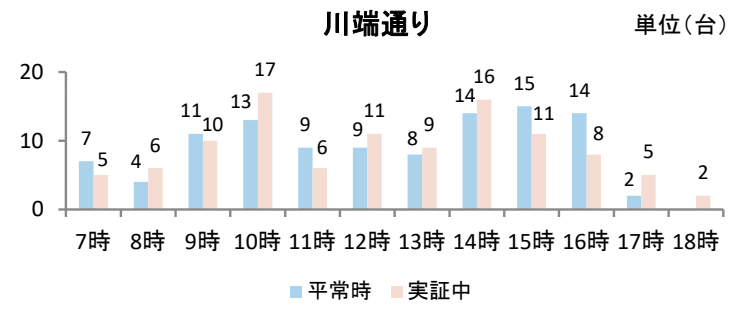
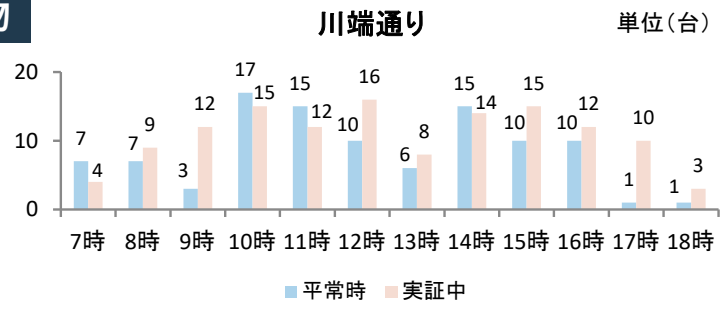
計測地点
計測断面
交通量



平日（金曜）

休日（土曜）

小型貨物



大型貨物

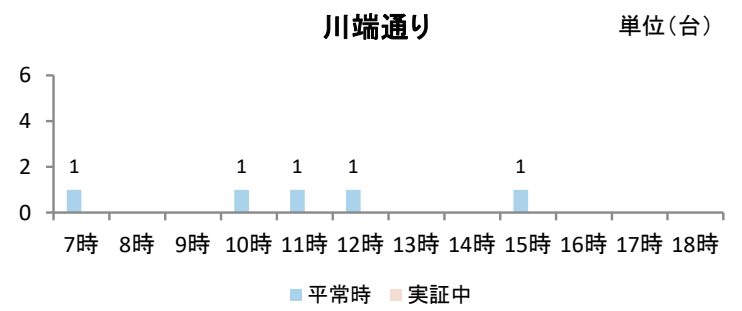
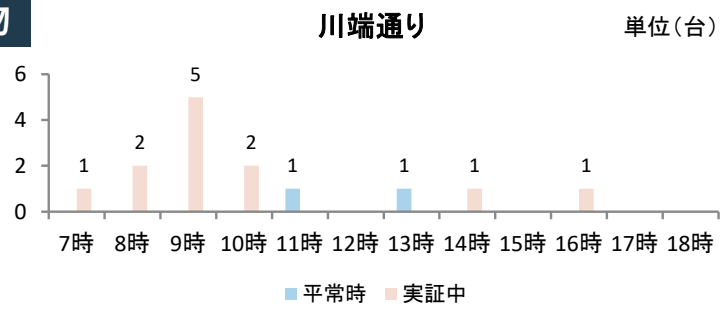
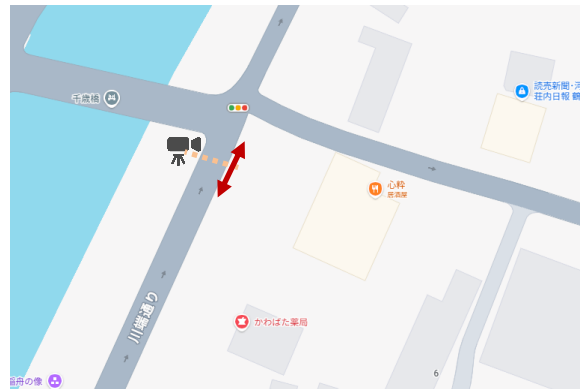


図 自動車交通量（川端通り②）

⑭ 自動車交通量：川端通り③



平日（金曜）



休日（土曜）

二輪車

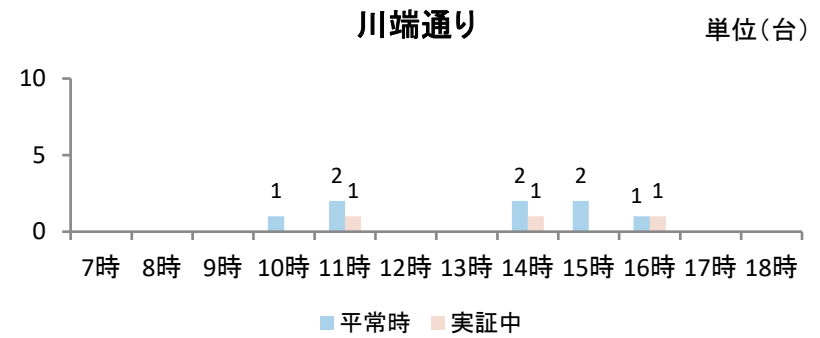
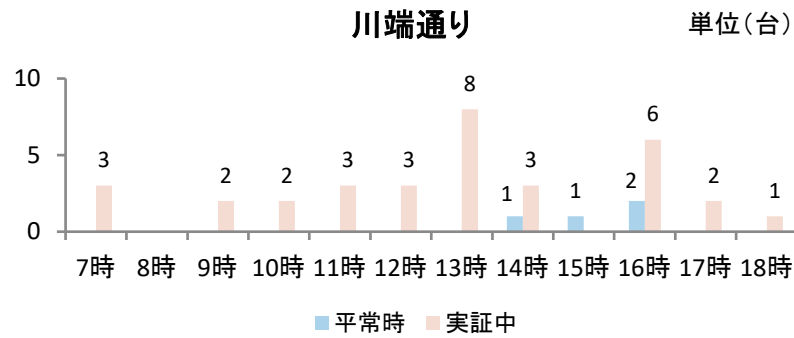
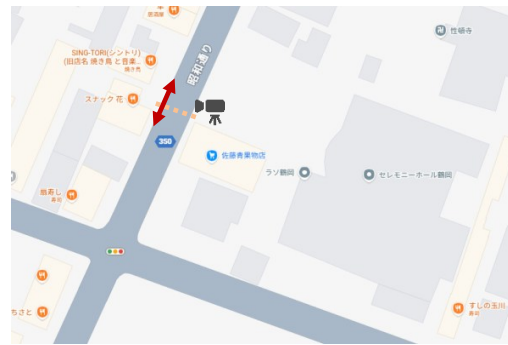


図 自動車交通量（川端通り③）

⑮ 自動車交通量：昭和通り①



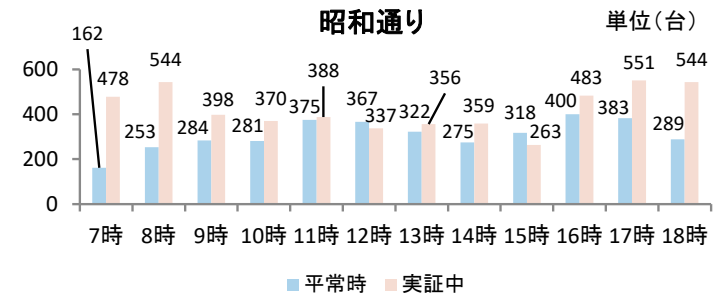
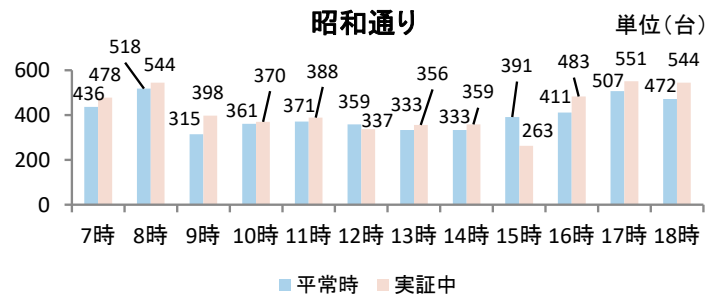
計測地点
 計測断面
 交通量



平日（金曜）

休日（土曜）

乗用車



バス

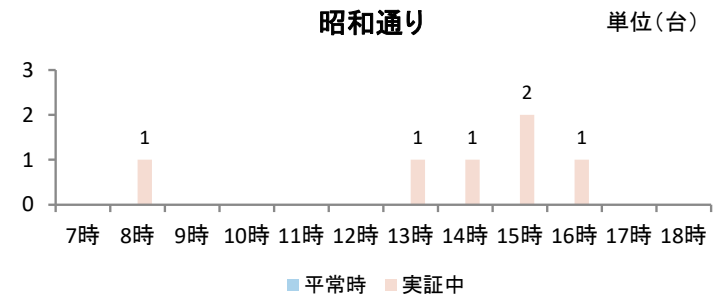
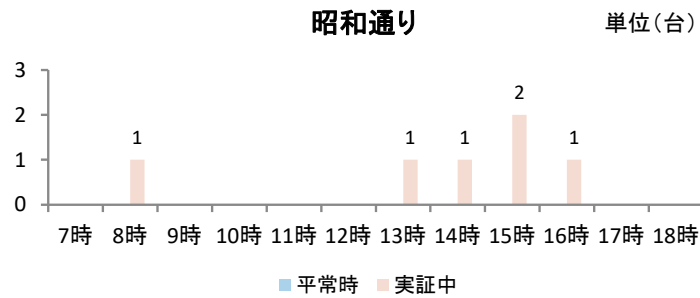


図 自動車交通量（昭和通り①）

⑩ 自動車交通量：昭和通り②

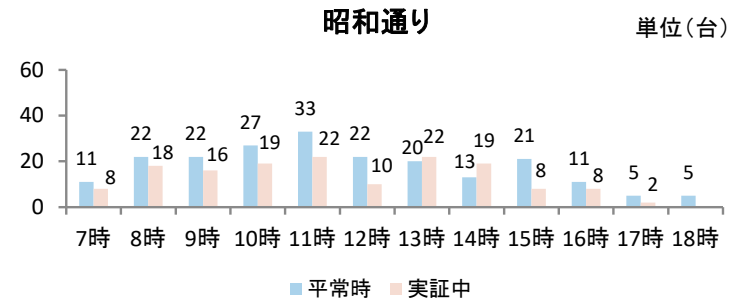
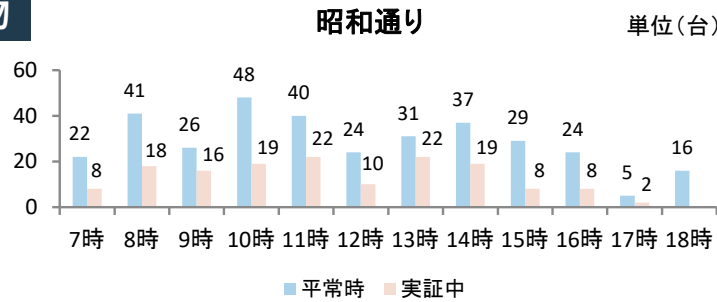


計測地点
 計測断面
 交通量

平日（金曜）

休日（土曜）

小型貨物



大型貨物

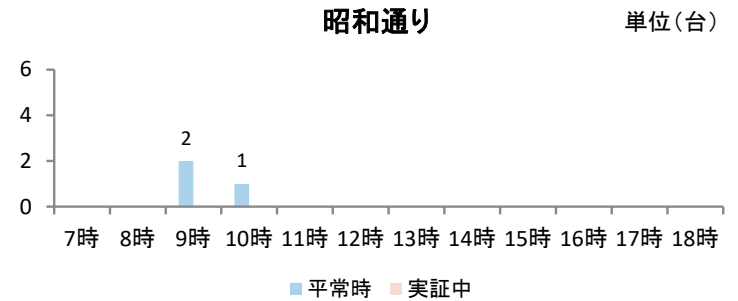
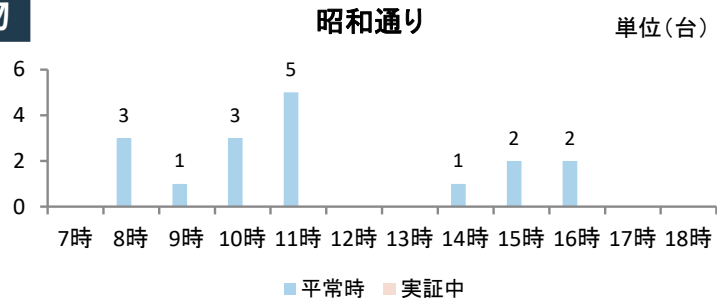


図 自動車交通量（昭和通り②）

⑰ 自動車交通量：昭和通り③



計測地点
 計測断面
 交通量

平日（金曜）

休日（土曜）

二輪車

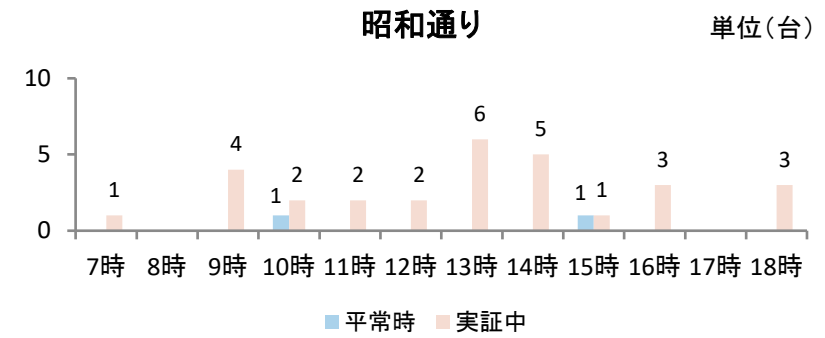
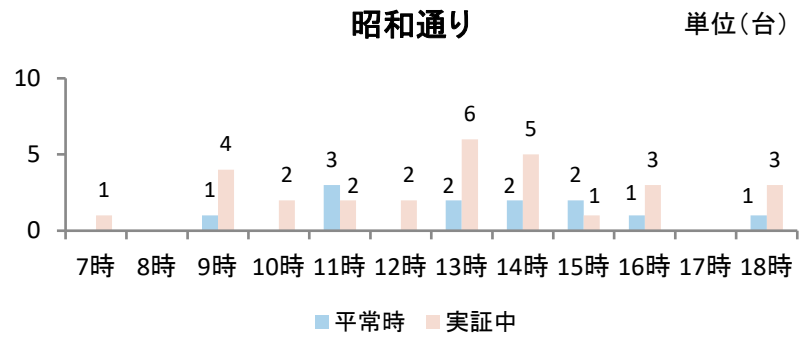


図 自動車交通量（昭和通り③）

4-4 まちなかの居心地の良さを測る指標

4-4-1 調査目的

パークレット社会実験の空間が居心地の良い空間として形成されているか把握した。

4-4-2 調査の実施方法

表 調査実施方法

項目	概要
調査対象	実証中のパークレット利用者
調査方法	直接聞き取りまたはWEB アンケート調査
調査時期	令和7年10月9日～令和7年10月19日 ※1日2回(10時・14時)実施

4-4-3 実施結果

(1) 結果概要

1) 居心地の良さ「安心感」からみた計測結果

・「安心感」を構成する指標をみると、『地域の人など「人の目による防犯」が行われている安全な場所と感じる』『人との距離が不快ではないと感じる』『滞在者・通行者同士がお互いに顔や名前を知っているように感じる』『周りを気にせず立ち止まって会話できる場所だと感じる』の項目が他の項目より相対的に高い数値を示している。これは、八百屋・飲食店・交流施設等で構成される銀座通り商店街は人々が交流する素地があり、そこに今回の歩行者空間拡張による安全性の確保が事故に対する心理的負担の軽減に寄与し安心感が高まった可能性を示唆している。

2) 居心地の良さ「寛容性」からみた計測結果

・「寛容性」を構成する指標をみると、『思い思いの時間を過ごすことができる場所だと感じる』『一人でも複数人でも過ごしやすい場所だと感じる』『自分のペースで歩ける場所だと感じる』の項目が他の項目より相対的に高い数値を示し、実際の活動において『会話している』『私服やスーツなど多様な服装で来ている』『遊んでいる』等の多様な属性が活動している様子が確認されている。これは、パークレットの整備による長期滞在を有する機能と駐車帯整備による短期滞在を有する機能を兼ね備えた空間整備が、多様な利用シーンを生み出した可能性を示唆している。

3) 居心地の良さ「やすらぎ感」からみた計測結果

- ・「やすらぎ感」を構成する指標をみると、『座って休憩したり、くつろいだりしたい場所だと感じる』『ぶらぶらと歩きたい場所だと感じる』『ゆったりお茶をしたい場所だと感じる』の項目が他の項目より相対的に高い数値を示している。これは、空間内に設置したイスやテーブル等の滞留スペース設置に加え喫茶店や飲食店等の休憩できる場所がやすらぎ感を生み出している可能性を示唆している。

4) 居心地の良さ「期待感」からみた計測結果

- ・「期待感」を構成する指標をみると、主観の項目ごとの差異はほとんど見られなかった。その一方で活動の項目をみると、『何かに人が群がっている』『子どもや大人が夢中になって遊んでいる』『写真や動画を撮っている人がいる』の項目が他の項目より相対的に低い数値を示している。これは、今回の社会実験における空間が平常時とさほど変化がない可能性を示唆しており、天候の影響も重なってソフト事業を十分展開できなかった点も効果を押し下げているものと考えられる。

【参考】居心地の良さの4要素	
居心地の良さの要素	分類したカテゴリの定義
安心感	<p>【不快感を感じず滞在・活動ができる状態や要因・結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓安心感にチェックがつくことで居心地の良さの最低レベルを満たせる ✓本要素に分類される項目にチェックがつかないと、人を遠ざける要因となる <p>⇒ここが満たされないとそこに行こうと思わなくなる</p>
寛容性	<p>【違和感や疎外感がなく滞在・活動ができる状態や要因・結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓寛容性にチェックがつくと、滞在・訪問の間口を広げ、多様な人々が集まりやすい（子ども～お年寄り、オフィスワーカー、外国人など様々な人を受け入れる） <p>⇒滞在・訪問の間口を拡張し、多様な属性の人々が滞在・活動しやすいと感じることができる</p>
安らぎ感	<p>【その場所に安らぎを感じ、その場所に留まろうとする状態や要因・結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓安らぎ感にチェックがつくと、ゆっくりとくつろげることで滞在時間が増加しやすい ✓リフレッシュしにわざわざ行く人もいれば、ちょっと休憩したいときにふらっと訪れるような人もいる（快適に過ごすためにこの場所を選び活動する／一人でも楽しめる） <p>⇒ちょっとした休憩やリフレッシュのために訪れ、落ち着いてゆっくり過ごしたいと思われる</p>
期待感	<p>【そこで行われる非日常的な活動への期待・喜びを創出する状態や要因・結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓期待感にチェックがつくと、その場やそこで行われる活動、他者との交流に対して期待感を持ち、積極的にいきたいと感じ、それを目的にわざわざ出向く可能性が高い ✓非日常が味わえる、人を誘って行きたい、他人にも教えたい <p>⇒少し離れたところからアクセスしてでも、そこで楽しめる時間を過ごしたいと思われる</p>

図 まちなかの居心地の良さを測る指標（改訂版 ver.1.1）参考

出典：まちなかの居心地の良さを測る指標（改訂版 ver.1.1）

(2) 詳細結果

1) 滞在者の状況

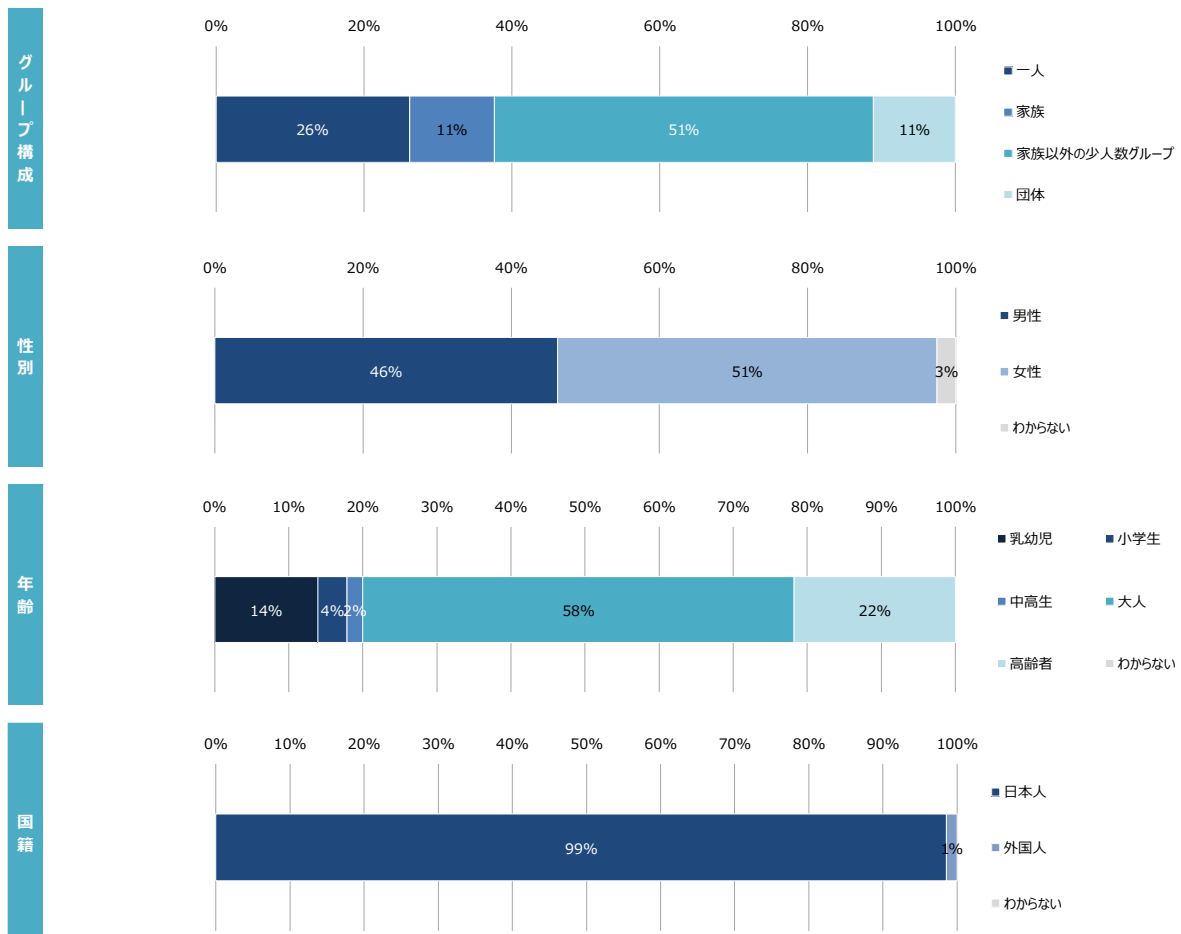
- ・滞在者の状況をみると、パークレット社会実験期間中における1時間あたりの滞在者数は25人であり、交流者数は19人であった。
- ・グループの内訳をみると、「家族以外の少人数グループ」が51%を半分以上の比率がある一方で「家族」「団体」は11%と相対的に低い比率であった。
- ・年齢でみると、「大人」が58%「高齢者」が22%と若年層の割合は少ない結果であった。

滞在者の確認

A. 滞在者の量・多様性

滞在者数： 人/時間

交流者数： 人/時間



留意事項

※滞在者：その場で立ち止まり、何かしらの活動をした人
 ※通行者：滞在者以外の人
 ※交流者：二人以上で滞在していた人
 ※割合値・平均値を用いている場合は、小数点以下を四捨五入により表示されます。

図 滞在者の状況

2) 通行者の状況

- ・通行者の状況を見ると、パークレット社会実験期間中における1時間あたりの通行者の量は25人であった。
- ・グループの内訳を見ると、「一人」が62%を半分以上の比率がある一方で「団体」グループは確認されなかった。
- ・年齢で見ると、「大人」が61%「高齢者」が31%と若年層の割合は少ない結果であった。

通行者の確認

B. 通行者の量・多様性

通行者数： 25 人/時間

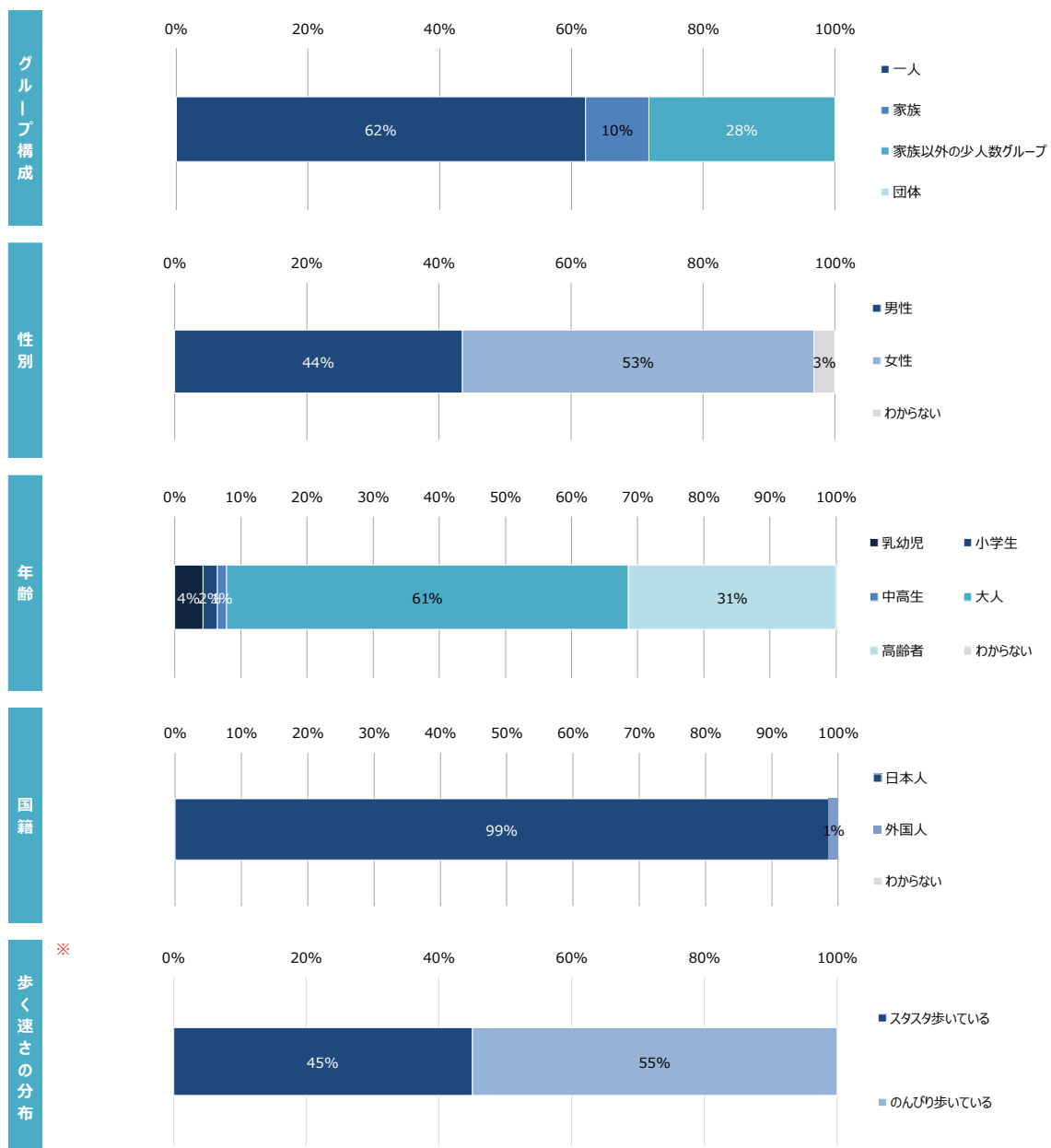


図 通行者の状況

3) 居心地の良さ「安心感」からみた計測結果

・「安心感」を構成する指標をみると、『地域の人など「人の目による防犯」が行われている安全な場所と感じる』『人との距離が不快ではないと感じる』『滞在者・通行者同士がお互いに顔や名前を知っているように感じる』『周りを気にせず立ち止まって会話できる場所だと感じる』の項目が他の項目より相対的に高い数値を示している。

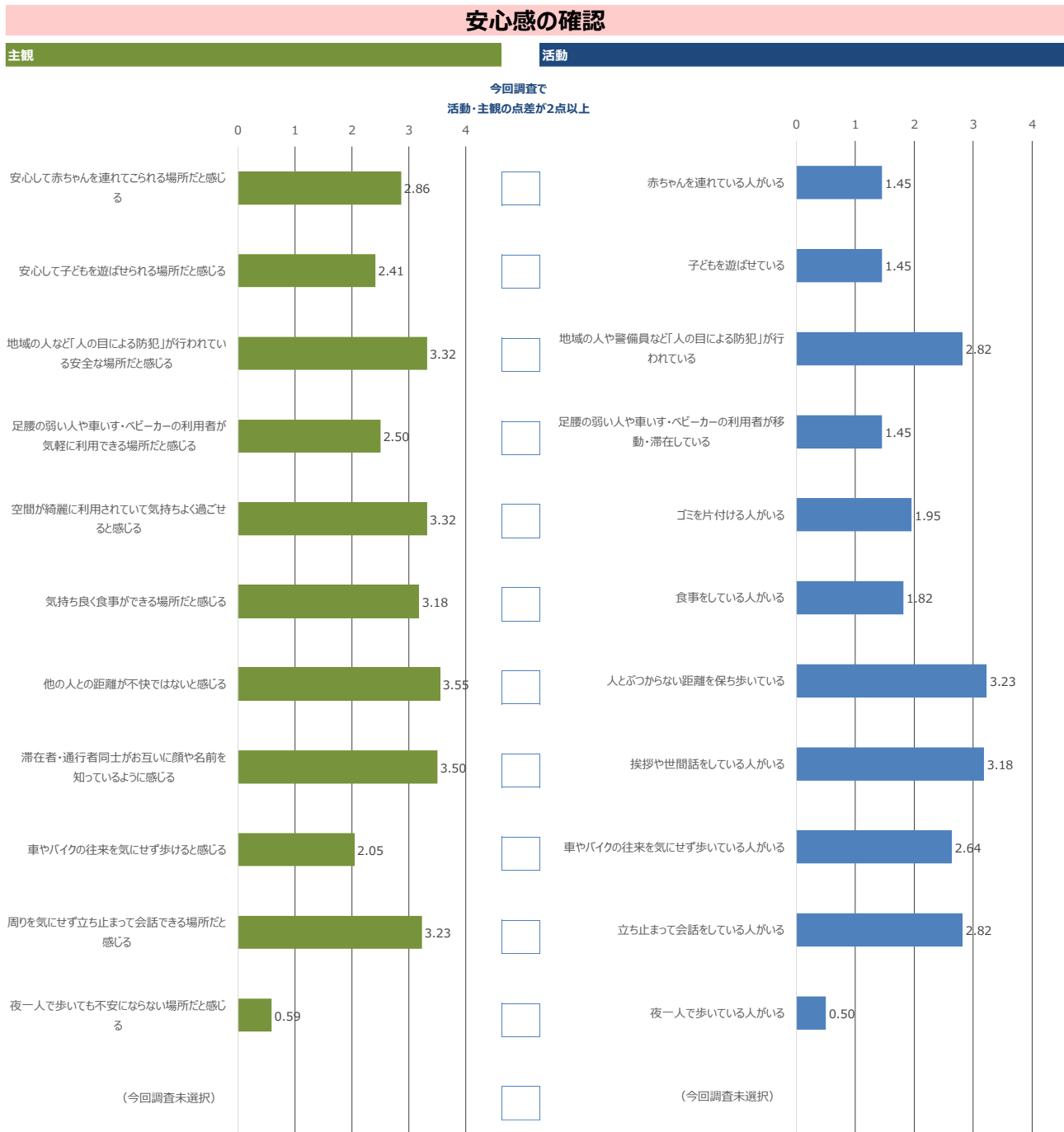


図 居心地の良さ「安心感」からみた計測結果

4) 居心地の良さ「寛容性」からみた計測結果

・「寛容性」を構成する指標をみると、『思い思いの時間を過ごすことができる場所だと感じる』『一人でも複数人でも過ごしやすい場所だと感じる』『自分のペースで歩ける場所だと感じる』の項目が他の項目より相対的に高い数値を示し、実際の活動において『会話している』『私服やスーツなど多様な服装で来ている』『遊んでいる』等の多様な属性が活動している様子が確認されている。

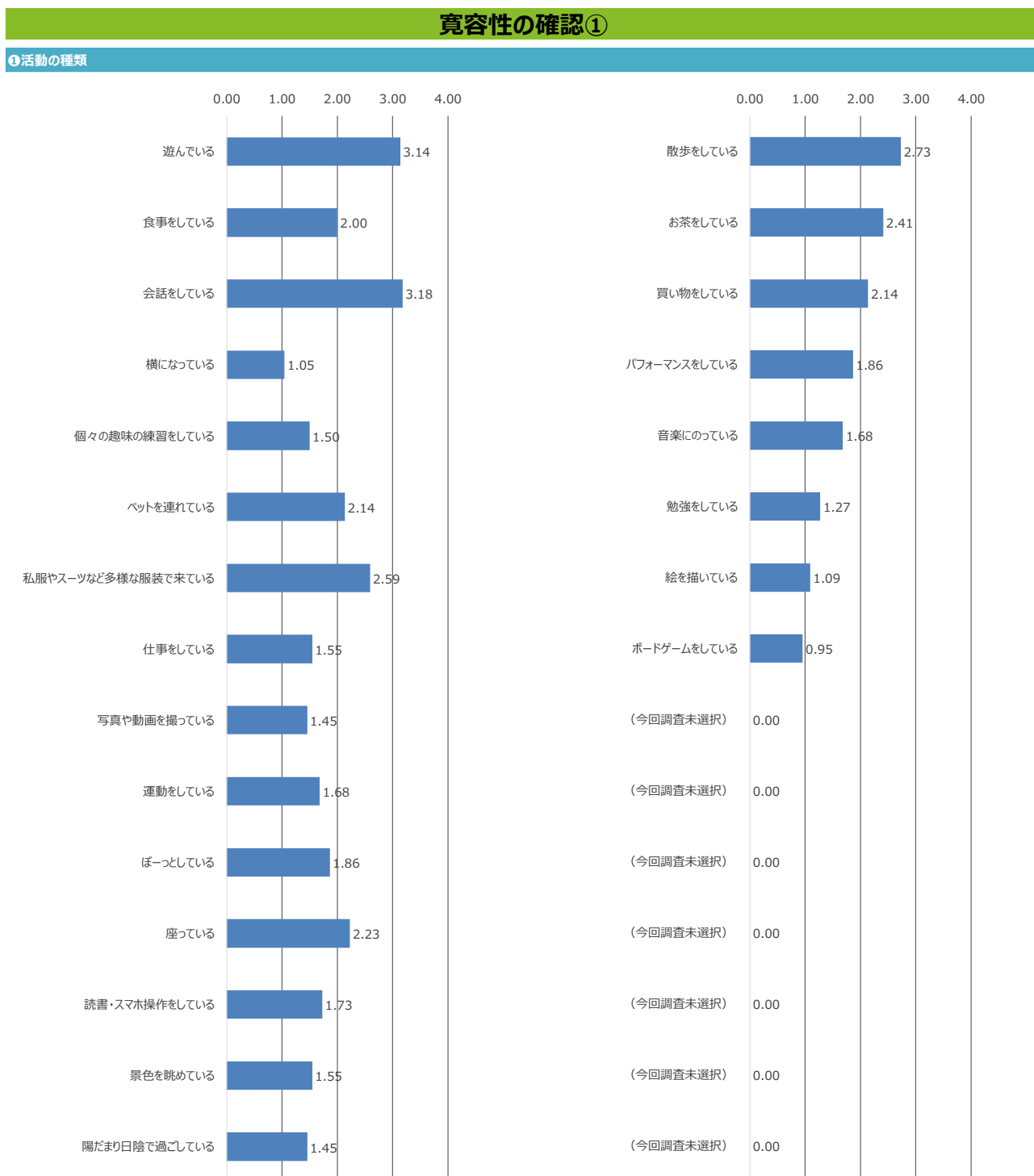


図 居心地の良さ「寛容性」からみた計測結果 (1/2)

寛容性の確認②

②主観

②活動

今回調査で
活動・主観の点差が2点以上

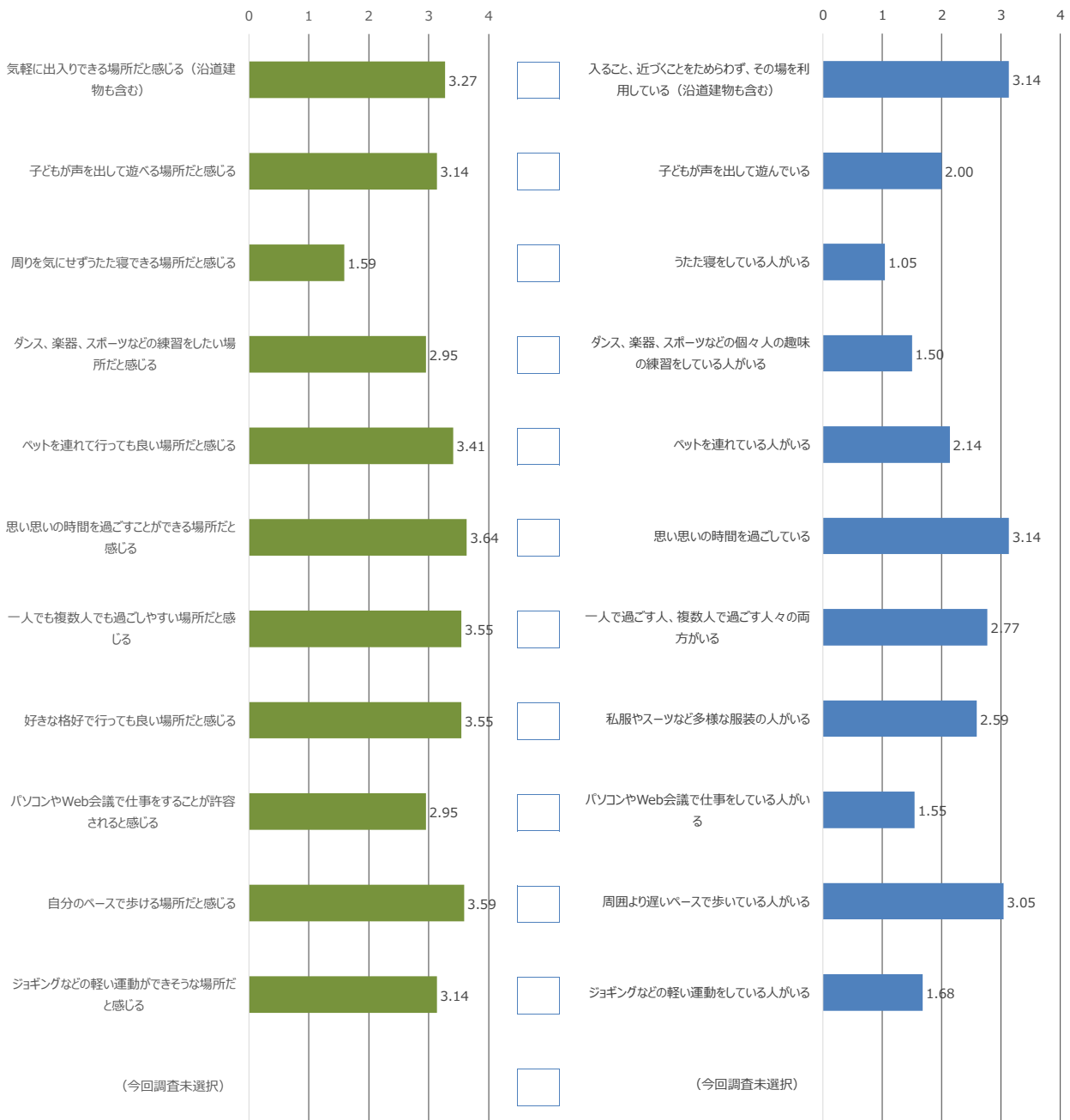


図 居心地の良さ「寛容性」からみた計測結果 (2/2)

5) 居心地の良さ「やすらぎ感」からみた計測結果

- ・「やすらぎ感」を構成する指標をみると、『座って休憩したり、くつろいだりしたい場所だと感じる』『ぶらぶらと歩きたい場所だと感じる』『ゆったりお茶をしたい場所だと感じる』の項目が他の項目より相対的に高い数値を示している。

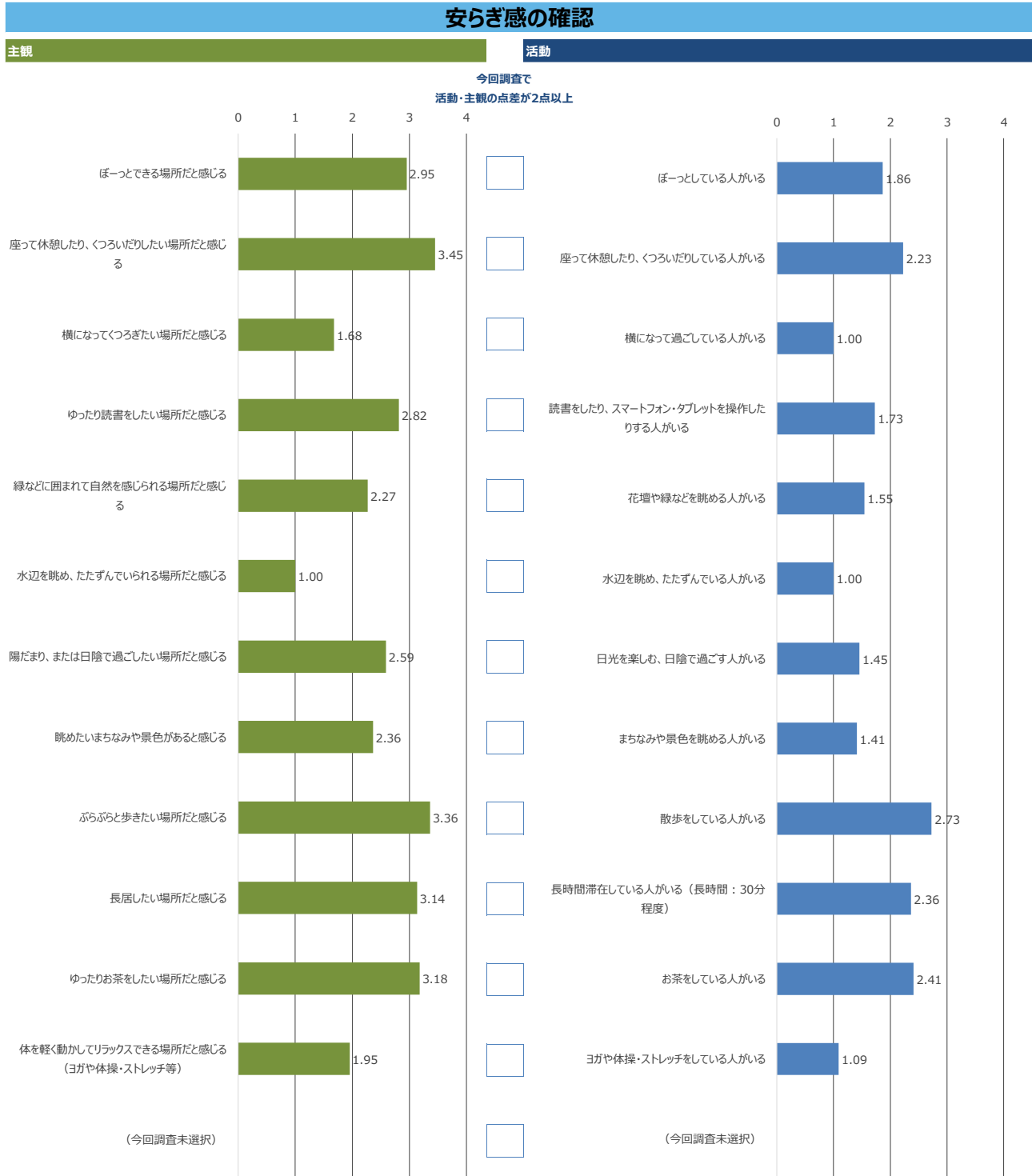


図 居心地の良さ「やすらぎ感」からみた計測結果

6) 居心地の良さ「期待感」からみた計測結果

- ・「期待感」を構成する指標をみると、主観の項目ごとの差異はほとんど見られなかった。その一方で活動の項目をみると、『何かに人が群がっている』『子どもや大人が夢中になって遊んでいる』『写真や動画を撮っている人がいる』の項目が他の項目より相対的に低い数値を示している。

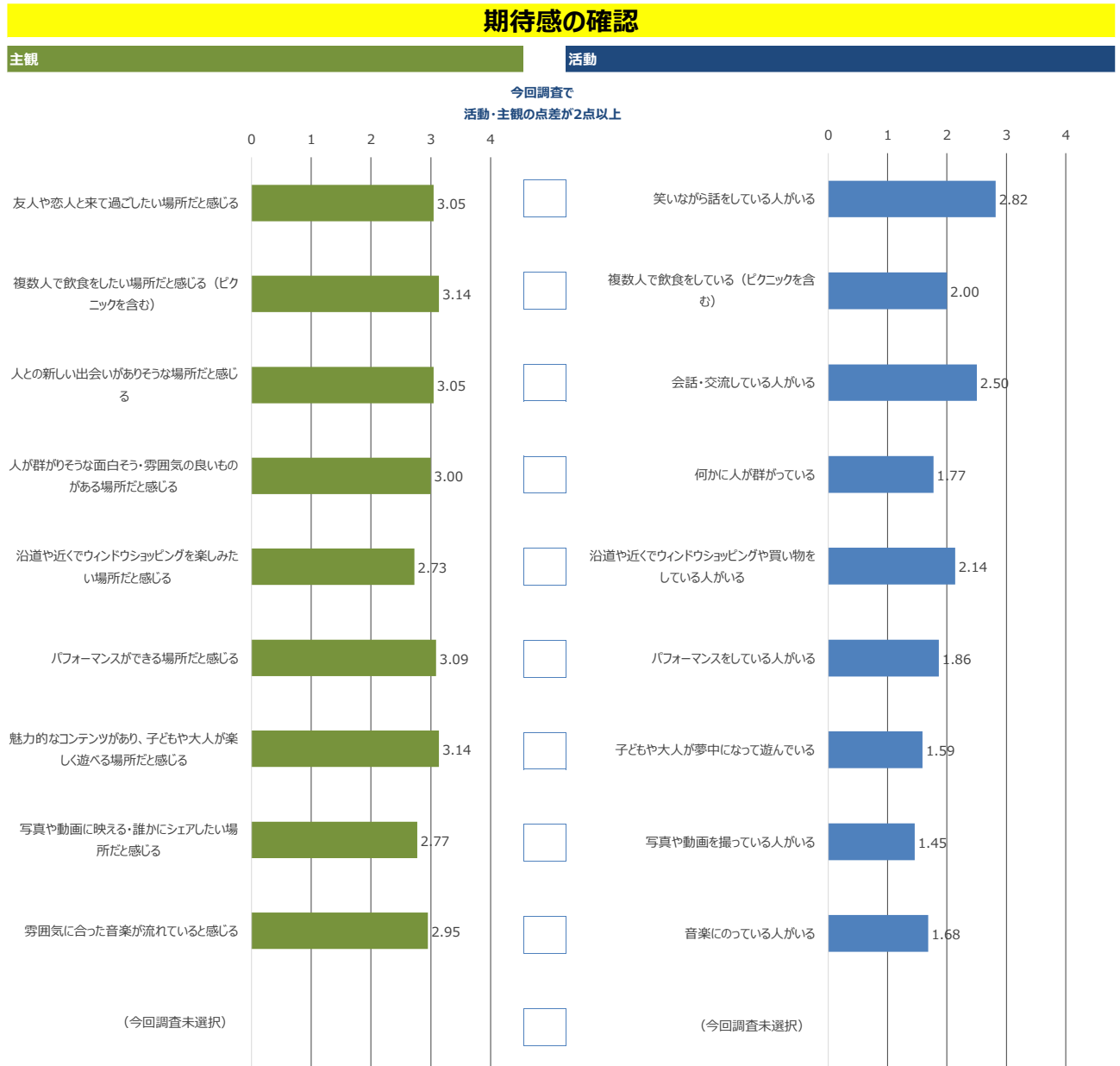


図 居心地の良さ「期待感」からみた計測結果

7) パークレット社会実験の整備状況

- ・パークレット社会実験の整備状況をみると、約8割の施設が営業されているものの、外からは店内の利用の様子が見えにくい状況であった。
- ・また、空間内に設置したイスやテーブル等の滞留スペースを設置し交流要素を兼ね備えていた。

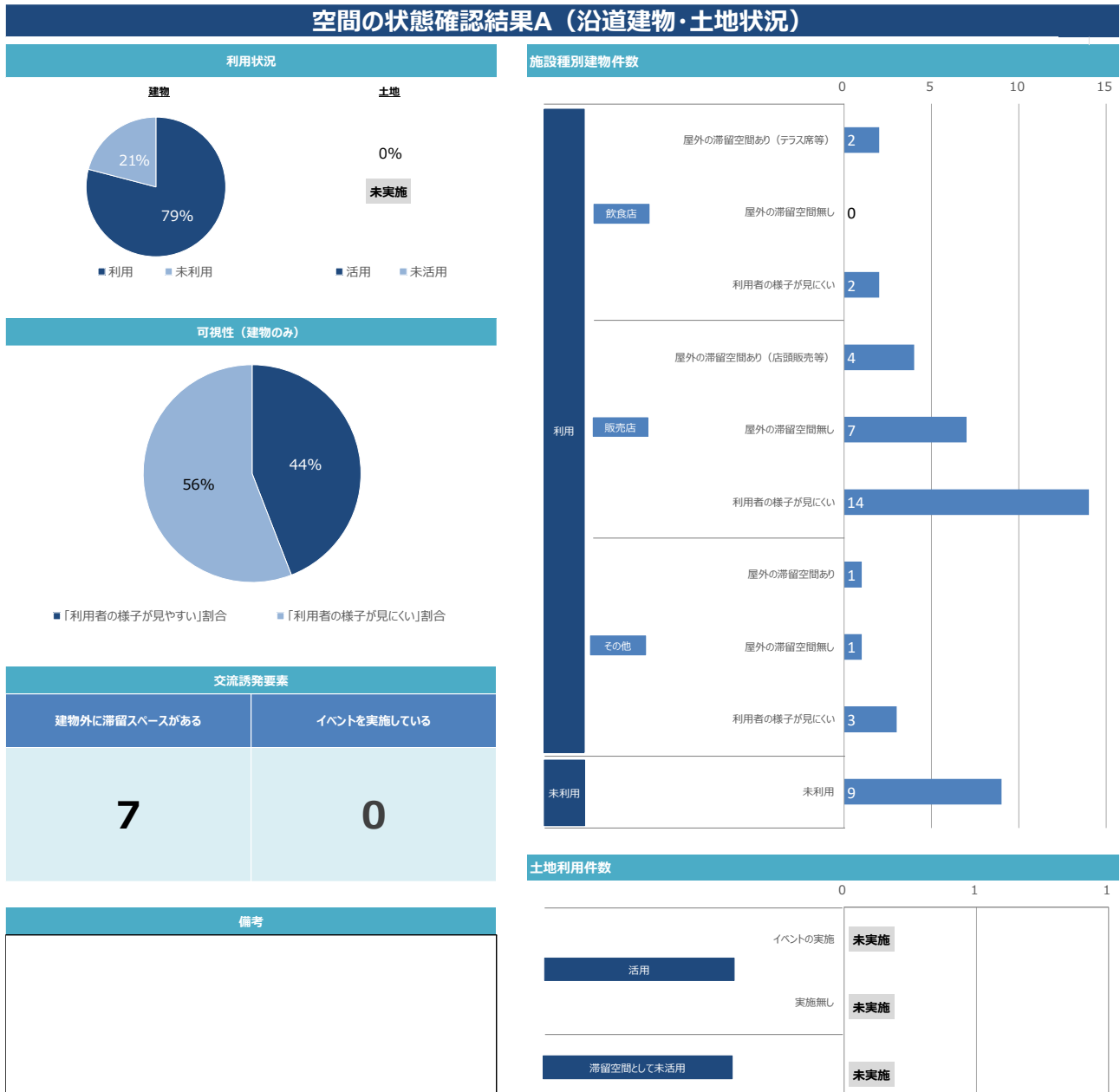


図 パークレット社会実験の整備状況（1/2）

空間の状態確認結果B（機能・設え状況）

分類	#	項目	結果
滞在のしやすさ	1	飲食物を買うことができる設備・場所がある	✓
	2	給水・手洗いができる場所がある	✓
	3	雨宿りできる場所がある	✓
	4	トイレがある	✓
	5	多目的トイレがある	—
	6	案内所・掲示板・デジタルサイネージ等がある	✓
	7	案内板等が外国語に対応している	
	8	近くに交番・警察署がある	—
	9	人の活動エリアから隔離された場所に喫煙スペースがある	✓
	10	荷物を預けられる場所がある	
	11	イスやテーブルなどの設備に可変性がある	
	12	座れる場がある	✓
	13	自由に使えるテーブルがある	✓
	14	ゴミ箱がある	
	15	子ども用の遊具がある	
	16	誰でも自由に入れる芝生がある	
	17	夜間照明設備がある	
	18	車いす利用者やベビーカー利用者が通行しやすい段差の無い動線がある	
	19	防犯カメラがある	✓
	20	様々な目的で活用できるスペースがある（場を可変的に活用できる）	✓
	21	体操や運動に利用可能な場がある	
	22	イベントを開催できるスペースがある	✓
	23	Wi-Fi、電源が整備されている	
回遊のしやすさ	24	点字ブロックや音の鳴る信号がある	✓
	25	車両進入防止設備がある	✓
	26	建物等への車両進入口が歩行空間を分離しないよう配慮されている	✓
	27	歩行者専用道路になっている（曜日や時間に応じた一時的な指定も含む）	✓
	28	車道と歩道が分かれている	✓
	29	自動車レーンと歩道が分かれている	
	30	車両の速度を抑制する対策が講じられている（ゾーン30の指定、ハンブ、狭さく、シケイン等）	
	31	近くにレンタサイクルや電動キックボードなどシェアモビリティのポートがある	

分類	#	項目	結果
景観・雰囲気	32	アート・展示空間がある	✓
	33	電灯／樹木に、目にとまるような魅力的な装飾が設けられている	✓
	34	管理の行き届いた植栽（植木・花壇等）がある	✓
	35	アスファルト以外の化粧材が整備されている	✓
	36	無電柱化されている	
	37	親水空間がある	
	38	歴史・伝統を感じる建物がある	✓
	39	伝統的なお店がある	✓
アクセス	40	近くに駐輪場がある	✓
	41	近くに駐車場がある	✓
	42	近くに公共交通（駅・バス停）がある	✓
自由記述	43		—
	44		—
	45		—
	46		—
	47		—

凡例	<input checked="" type="checkbox"/>	はい
	<input type="checkbox"/>	いいえ
	<input type="checkbox"/>	不明

図 パークレット社会実験の整備状況（2/2）

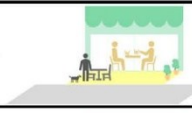


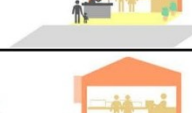






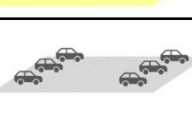
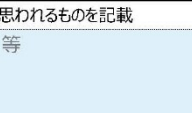

(3) 調査票

まちなかの居心地の良さを測る指標 調査票					
まちなかの居心地の良さには様々な要素があり、人・場所・時間等によって求められる要素は変わるものです。本指標は、全てのエリアに共通する指標として作成したものではありません。エリアの特性に応じて、まちづくりの実践者自らが指標となる項目を選択・追加しながらエリア独自の指標を設定し、まちなかの居心地の良さを体現する空間や人々の状態を調査・可視化することを目的としています。どのように空間を育てていくのか、どのように空間を使えたらいいかなど関係者間で意見交換をする際に、本指標の活用が気づきのきっかけになることを期待しています。活用にあたっては、事前に関係者間で、調査の目的、着眼点、調査範囲の捉え方、調査項目、用語の定義等を検討、設定のうえ、調査を行うことを推奨します。					
■ 調査者情報					
氏名		所属			
年齢		性別			
■ 調査対象エリアの調査時の状況					
計測範囲 地図 ※事前に地図などで周辺の距離感や対象地の施設状況、計測範囲をすり合わせてください					
年月日 (曜日)	年 月 日 ()		<input type="checkbox"/> 祝日		
対象地名					
イベント名					
※イベント等を行っている場合に記載					
時間	開始時刻	時 分	終了時刻	時 分	
天候	開始時	晴れ・曇り・雨(雪)		終了時	晴れ・曇り・雨(雪)
気温	開始時	℃	終了時	℃	
風※	開始時	無風・微風・強風		終了時	無風・微風・強風
メモ	(調査当日の居心地の良さ、滞在者数等に影響すると思われる特筆事項があれば記載してください) 例：工事中的場所がある等				

※強風：樹木や電線が揺れ、風に向かって歩きにくくなる程度の風（平均風速：10m/s以上）

空間の状態確認シート A (沿道建物・土地状況)

人々を惹きつけるまちなかづくりのためには、そこに訪れた人が「歩きたい、滞在したい」と感じることで居心地の良さがある空間づくりが重要です。まちの1階部分が人々の興味を引く、楽しい環境であることも居心地の良い空間には大切な要素であるため、沿道の1階部分の建物と土地の利用状況や、まちに開かれた設えになっているかを確認します。

カテゴリー	状況	施設種	可視性	交流誘発要素 (イメージ)	カウント欄 ("正"の字を記入してください)
建物	利用	飲食店 (例: カフェ、レストラン など)	利用者の様子が <u>見やすい</u>	屋外の滞留空間あり (テラス席等) 	
				屋外の滞留空間なし 	
			利用者の様子が <u>見にくい</u> 		
		販売店 (例: 服飾店、雑貨・文具店、花屋、家具屋 など)	利用者の様子が <u>見やすい</u>	屋外の滞留空間あり (店頭販売等) 	
				屋外の滞留空間なし 	
			利用者の様子が <u>見にくい</u> 		
		その他	利用者の様子が <u>見やすい</u>	屋外の滞留空間あり 	
				屋外の滞留空間なし 	
			利用者の様子が <u>見にくい</u> 		
		未利用 			
土地	滞留空間として活用 ※広場や公園 など	イベントの実施 (キッチンカーの設置等を含む) 			
		実施なし 			
	滞留空間として未活用 ※空き地、駐車場としての利用 など 				
メモ	※上記以外で「居心地が良く歩きたくなる」空間の創出に影響を与えらると思われるものを記載 例) 1階部分がピロティになっている、著しく劣化した民家がある 等				

空間の状態確認シート B (機能・設え状況)

居心地が良い空間づくりには、その空間のハード環境等を把握したうえで、どのような機能が求められているかを考えることも大切であるため、調査エリア（周辺も含む）の機能や設えの有無等を確認します。

事前に、地図等を用いて調査エリアに詳しい人と確認するなど、共通認識を図った上で調査してください。また、必要に応じて項目を追加してください。

※ 末尾に「※」マークのあるものは**周辺エリア（対象範囲から概ね300mを想定）も含めて**確認し、回答してください。

No	類型	項目	回答欄	メモ ※十分にあるか、不足しているかなど、 その場で感じたことを記載
1	滞在のしやすさ	飲食物を買うことができる設備・場所がある（※） （例：自動販売機、キッチンカー等）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
2		給水・手洗いができる場所がある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
3		雨宿りできる場所がある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
4		トイレがある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
5		多目的トイレがある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
6		案内所・案内板・デジタルサイネージ等がある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
7		No.6の案内板等が外国語に対応している（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
8		近くに交番・警察署がある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
9		人の活動エリアから隔離された場所に喫煙スペースがある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
10		荷物を預けられる場所がある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
11		イスやテーブルなどの設備に可変性がある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
12		座れる場がある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
13		自由に使えるテーブルがある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
14		ゴミ箱がある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
15		子ども用の遊具がある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
16		誰でも自由に入れる芝生がある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
17		夜間照明設備がある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
18		車いす利用者やベビーカー利用者が通行しやすい段差の無い動線がある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
19		防犯カメラがある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
20		様々な目的で活用できるスペースがある（場を可変的に活用できる）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
21		体操や運動ができるスペースがある（運動器具は無いが、体操・運動はできる開けたスペースを含む）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
22		イベントを開催できるスペースがある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
23		Wi-Fi、電源が整備されている	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
24	点字ブロックや音の鳴る信号がある	1. はい 2. いいえ 3. 不明		
25	※ストリート限定項目のため広場では計測 車両進入防止設備がある	1. はい 2. いいえ 3. 不明		
26	建物等への車両進入が歩行空間を分離しないよう配慮されている	1. はい 2. いいえ 3. 不明		
27	歩行者専用道路になっている（曜日や時間に応じた一時的な指定も含む）	1. はい 2. いいえ 3. 不明		
28	車道と歩道が分かれている	1. はい 2. いいえ 3. 不明		
29	自転車レーンと歩道が分かれている	1. はい 2. いいえ 3. 不明		
30	車両の速度を抑制する対策が講じられている（ゾーン30の指定、ハンブ、狭さく、シケイン等）	1. はい 2. いいえ 3. 不明		
31	近くにレンタサイクルや電動キックボードなどシェアモビリティのポートがある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明		

No	類型	項目	回答欄	メモ
32	景観・雰囲気	アート・展示空間がある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
33		電灯／樹木に、目にとまるような魅力的な装飾が設けられている	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
34		管理の行き届いた植栽（植木・花壇等）がある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
35		アスファルト以外の舗装材が整備されている	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
36		無電柱化されている	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
37		親水空間がある	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
38		歴史・伝統を感じる建物がある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
39		伝統的なお店がある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
40	しやすさ	近くに駐輪場がある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
41		近くに駐車場がある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
42		近くに公共交通（駅・バス停）がある（※）	1. はい 2. いいえ 3. 不明	
43	自由記述欄（必要な項目があれば適宜追加してください）		1. はい 2. いいえ 3. 不明	
44			1. はい 2. いいえ 3. 不明	
45			1. はい 2. いいえ 3. 不明	
46			1. はい 2. いいえ 3. 不明	
47			1. はい 2. いいえ 3. 不明	
48			1. はい 2. いいえ 3. 不明	
49			1. はい 2. いいえ 3. 不明	
50			1. はい 2. いいえ 3. 不明	

<p>メモ ※空間の状態を確認する中で、現地での具体的な状態や問題点など、気になった点などがあれば、下欄に記載ください</p>

滞在者・通行者確認シート																	
居心地が良い空間づくりに向けて、その空間にどのような属性の人がどれくらいいるのかを把握したうえで、空間の状態や居心地の良さの状況も踏まえながら、必要となる機能やアクションを考えることが大切であるため、調査エリアの滞在者や通行者を確認します。 滞在者は、「その場で立ち止まり、何かしらの活動をした人」、通行者は、「滞在者以外の人」と定義し、事前に関係者間で、滞在・通行者量を考慮し計測時間を検討・設定のうえ、計測してください。また、正確な滞在・通行者量を把握したい場合は、エリア全体の動画を撮影し、カウントすることを推奨します。 ※滞在者・通行者については、以下のシートに、グループごとにカウントし、また性別以降は該当する人数を正の字で記入しながら計測してください。											計測時間						
											通行者		分計測				
											滞在者		分計測				
No	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体 ※グループ：家族以外の少人数グループ	性別			年齢					行動 (通行者のみ)		国籍				
			男性	女性	わからない	乳幼児	小学生	中学生	大人	高齢者 (70歳以上)	わからない	スタスタ歩 いている	のんびり歩 いている	日本人	外国人	わからない	
1	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
2	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
3	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
4	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
5	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
6	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
7	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
8	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
9	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
10	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
11	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
12	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
13	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
14	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
15	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
16	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
17	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
18	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
19	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
20	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															

No	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体 ※グループ：家族以外の少人数グループ	性別			年齢					行動 (通行者のみ)		国籍				
			男性	女性	わからない	乳幼児	小学生	中学生	大人	高齢者 (70歳以上)	わからない	スタスタ歩 いている	のんびり歩 いている	日本人	外国人	わからない	
21	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
22	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
23	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
24	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
25	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
26	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
27	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
28	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
29	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
30	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
31	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
32	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
33	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
34	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
35	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
36	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
37	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
38	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
39	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
40	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
41	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
42	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
43	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															
44	滞在・通行	1人・家族・グループ・団体															

居心地の良さ確認シート							
安心感 安全性や清潔性、ゆとりが確保された空間であり、その場に滞在することができるかを確認します。 キーワード：清潔・安全・治安							
4段階で最も当てはまるものに○を付けてください。 項目数に決まりはありません。関係者間で議論し、エリア特性に応じて選択・追加してください。							
No	種類	項目	主観の確認ポイント	回答欄 1. いない (全くそう思わない) 2. 一人いる (あまりそう思わない) 3. 数人いる (少しそう思う) 4. たくさんいる (とてもそう思う)	メモ		
1	主観	安心して赤ちゃんを連れてこられる場所だと感じる	• 空間にゆとりがあり混雑していない、清潔感がある など	1	2	3	4
	活動	赤ちゃんを連れてきている人がいる		1	2	3	4
2	主観	安心して子どもを遊ばせられる場所だと感じる	• 安全性が担保されている など	1	2	3	4
	活動	子どもを遊ばせている		1	2	3	4
3	主観	地域の人など「人の目による防犯」が行われている安全な場所だと感じる		1	2	3	4
	活動	地域の人や警備員など「人の目による防犯」が行われている		1	2	3	4
4	主観	足腰の弱い人や車いす・ベビーカーの利用者が気軽に利用できる場所だと感じる	• 段差などがないゆとりがある空間、誰かが手を差し伸べている など	1	2	3	4
	活動	足腰の弱い人や車いす・ベビーカーの利用者が移動・滞在している		1	2	3	4
5	主観	空間が綺麗に利用されていて気持ちよく過ごせると感じる	• 自分や他人が出したゴミを片付けるなど、その場所が綺麗に利用されていて、清潔感がある など	1	2	3	4
	活動	ゴミを片付ける人がいる		1	2	3	4
6	主観	気持ち良く食事ができる場所だと感じる		1	2	3	4
	活動	食事をしている人がいる		1	2	3	4
7	主観	他の人との距離が不快ではないと感じる	• 人との距離を保つことができ、各自のパーソナルスペースが確保できる など	1	2	3	4
	活動	人とぶつからない距離を保ち歩いている		1	2	3	4
8	主観	滞在者・通行者同士がお互いに顔や名前を知っているように感じる	• 地域のコミュニティが形成されている など	1	2	3	4
	活動	挨拶や世間話をしている人がいる		1	2	3	4
9	主観	車やバイクの往來を気にせず歩けると感じる	• 歩行者優先の空間が形成されている など	1	2	3	4
	活動	車やバイクの往來を気にせず歩いている人がいる		1	2	3	4
10	主観	周りを気にせず立ち止まって会話できる場所だと感じる	• 立ち止まって会話ができる、安全でゆとりのある空間である など	1	2	3	4
	活動	立ち止まって会話をしている人がいる		1	2	3	4
11	主観	夜一人で歩いても不安にならない場所だと感じる	※本項目は夜間に計測した場合に回答 • 明るく、人通りが多い空間である など	1	2	3	4
	活動	夜一人で歩いている人がいる		1	2	3	4
12	主観	※エリア特性に応じて追加（例：心地よく感じる川のせせらぎの音が聞こえてくる等）		1	2	3	4
	活動	※エリア特性に応じて追加（※活動に置き換えることが難しい場合は、主観のみの計測とするなど、柔軟にアレンジしてください）		1	2	3	4

「3. 数人いる」の人数の目安は、見込まれる滞在者・通行者量に応じて、関係者間で事前に相談し設定してください。

寛容性 多様な人々の多様な活動が受け入れられる空間であり、違和感や疎外感なく滞在できるかを確認します。 キーワード：自由・多様性・解放感						
①活動の種類：その空間で行われている活動（アクティビティ）の種類を確認します。 1～20は、安心感・寛容性・安らぎ感・期待感の計測結果から自動的に計算するので、記入不要です。 エリアの状況を踏まえて、それ以外の活動を計測する必要がある場合は、21以降に項目を記載し、計測時、回答欄に4段階で最も当てはまるものに○を付けてください。						
No	項目	回答欄 1. いない (全くそう思わない) 2. 一人いる (あまりそう思わない) 3. 数人いる (少しそう思う) 4. たくさんいる (とてもそう思う)	No	項目	回答欄 1. いない (全くそう思わない) 2. 一人いる (あまりそう思わない) 3. 数人いる (少しそう思う) 4. たくさんいる (とてもそう思う)	
1	遊んでいる	1 2 3 4	16	散歩をしている	1 2 3 4	
2	食事をしている	1 2 3 4	17	お茶をしている	1 2 3 4	
3	会話をしている	1 2 3 4	18	買い物をしている	1 2 3 4	
4	横になっている	1 2 3 4	19	パフォーマンスをしている	1 2 3 4	
5	個々の趣味の練習をしている	1 2 3 4	20	音楽にのっている	1 2 3 4	
6	ペットを連れてきている	1 2 3 4	21	勉強をしている	1 2 3 4	
7	私服やスーツなど多様な服装で来ている	1 2 3 4	22	絵を描いている	1 2 3 4	
8	仕事をしている	1 2 3 4	23	ボードゲームをしている	1 2 3 4	
9	写真や動画を撮っている	1 2 3 4	24	※エリア特性に応じて追加	1 2 3 4	
10	運動をしている	1 2 3 4	25	※エリア特性に応じて追加	1 2 3 4	
11	ぼーっとしている	1 2 3 4	26	※エリア特性に応じて追加	1 2 3 4	
12	座っている	1 2 3 4	27	※エリア特性に応じて追加	1 2 3 4	
13	読書・スマホ操作をしている	1 2 3 4	28	※エリア特性に応じて追加	1 2 3 4	
14	景色を眺めている	1 2 3 4	29	※エリア特性に応じて追加	1 2 3 4	
15	陽だまり、日陰で過ごしている	1 2 3 4	30	※エリア特性に応じて追加	1 2 3 4	

寛容性 多様な人々の多様な活動が受け入れられる空間であり、違和感や疎外感なく滞在できるかを確認します。 キーワード：自由・多様性・解放感					
②主観・活動：多様な人々が自由に活動できるか確認します。 4段階で最も当てはまるものに○をつけてください。 項目数に決まりはありません。関係者間で議論し、エリア特性に応じて選択・追加してください。					
No	種類	項目	主観の確認ポイント	回答欄 1. いらない (全くおもしろくない) 2. 一人いる (あまりおもしろくない) 3. 数人いる (少しおもしろい) 4. たまたまいる (とてもおもしろい)	メモ
1	主観	気軽に出入りできる場所だと感じる (沿道建物も含む)	* 外からでもその場所の様子が確認しやすく、また、その場所を利用しにくいと感じない 対象エリアを利用するが迷わない など	1 2 3 4	
	活動	入ること、近づくことをためらわず、その場を利用している (沿道建物も含む)		1 2 3 4	
2	主観	子どもが声を出して遊べる場所だと感じる	* 子どものぎやかな声にならない、大人だけでなく子どもも楽しめる空間である など	1 2 3 4	
	活動	子どもが声を出して遊んでいる		1 2 3 4	
3	主観	周りを気にせずたのびできる場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	うたた寝をしている人がいる		1 2 3 4	
4	主観	ダンス、楽器、スポーツなどの練習をしたい場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	ダンス、楽器、スポーツなどの個々人の趣味の練習をしている人がいる		1 2 3 4	
5	主観	ペットを連れて行って良い場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	ペットを連れてきている人がいる		1 2 3 4	
6	主観	思い思いの時間を過ごすことができる場所だと感じる	* 使い方が限定されていないなど、気兼ねなく個人の時間を楽しみながら過ごせる場所である など	1 2 3 4	
	活動	思い思いの時間を過ごしている		1 2 3 4	
7	主観	一人でも複数人でも過ごしやすい場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	一人で過ごす人、複数人で過ごす人々の両方がいる		1 2 3 4	
8	主観	好きな格好で行っても良い場所だと感じる	* 仕事の休憩、遊びに来る、近所なので立ち寄るなど、様々なシーンで利用されている など	1 2 3 4	
	活動	私服やスーツなど多様な服装の人がいる		1 2 3 4	
9	主観	パソコンや Web 会議で仕事をするのが許容されると感じる		1 2 3 4	
	活動	パソコンや Web 会議で仕事をしている人がいる		1 2 3 4	
10	主観	自分のペースで歩ける場所だと感じる	* 他人の行動を気にせずゆっくり歩ける など	1 2 3 4	
	活動	周囲より遅いペースで歩いている人がいる		1 2 3 4	
11	主観	ジョギングなどの軽い運動ができそうな場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	ジョギングなどの軽い運動をしている人がいる		1 2 3 4	
12	主観	※エリア特性に応じて追加	※エリア特性に応じて追加 (※活動に置き換えることが難しい場合は、主観のみの計測とするなど、柔軟にアレンジしてください)	1 2 3 4	
	活動	※エリア特性に応じて追加 (※活動に置き換えることが難しい場合は、主観のみの計測とするなど、柔軟にアレンジしてください)		1 2 3 4	

安らぎ感 落ち着いた空間であり、くつろぎを求めて滞在できるかを確認します。 キーワード：リラックス感・静か・くつろぎ					
4段階で最も当てはまるものに○をつけてください。 項目数に決まりはありません。関係者間で議論し、エリア特性に応じて選択・追加してください。					
No	種類	項目	主観の確認ポイント	回答欄 1. いらない (全くおもしろくない) 2. 一人いる (あまりおもしろくない) 3. 数人いる (少しおもしろい) 4. たまたまいる (とてもおもしろい)	メモ
1	主観	ぼーっとできる場所だと感じる	* ぼんやり考え事ができるような場所である など	1 2 3 4	
	活動	ぼーっとしている人がいる		1 2 3 4	
2	主観	座って休憩したり、くつろぎたい場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	座って休憩したり、くつろぎたい場所にいる人がいる		1 2 3 4	
3	主観	横になってくつろぎたい場所だと感じる	* 開放感があり、横になるなど、のんびりと過ごすことができる場所である など	1 2 3 4	
	活動	横になって過ごしている人がいる		1 2 3 4	
4	主観	ゆったり読書をした場所だと感じる	* ゆったりとくつろげるような、静かな場所である など	1 2 3 4	
	活動	読書をしたり、スマートフォン・タブレットを操作したりする人がいる		1 2 3 4	
5	主観	緑などに囲まれて自然を感じられる場所だと感じる	* 自然を感じ、リラックスできる場所である など	1 2 3 4	
	活動	花壇や緑などを眺める人がいる		1 2 3 4	
6	主観	水辺を眺め、たたずんでいる場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	水辺を眺め、たたずんでいる人がいる		1 2 3 4	
7	主観	陽だまり、または日陰で過ごしたい場所だと感じる	* 冬には日が当たる場所、夏には日陰になる場所があり、心地よく過ごせる場所である など	1 2 3 4	
	活動	日光を楽しみ、日陰で過ごす人がいる		1 2 3 4	
8	主観	眺めたいまちなみや景色があると感じる	* 自然やまちなみを楽しめる など	1 2 3 4	
	活動	まちなみや景色を眺める人がいる		1 2 3 4	
9	主観	ぶらぶらと歩きたい場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	散歩をしている人がいる		1 2 3 4	
10	主観	長居したい場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	長時間滞在している人がいる (長時間：30分程度)		1 2 3 4	
11	主観	ゆったりお茶をした場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	お茶をしている人がいる		1 2 3 4	
12	主観	体を軽く動かしてリラックスできる場所だと感じる (ヨガや体操・ストレッチ等)		1 2 3 4	
	活動	ヨガや体操・ストレッチをしている人がいる		1 2 3 4	
13	主観	※エリア特性に応じて追加 (例：花の良い匂いがする等)	※エリア特性に応じて追加 (※活動に置き換えることが難しい場合は、主観のみの計測とするなど、柔軟にアレンジしてください)	1 2 3 4	
	活動	※エリア特性に応じて追加 (※活動に置き換えることが難しい場合は、主観のみの計測とするなど、柔軟にアレンジしてください)		1 2 3 4	

期待感 空間や活動に対してわくわくする空間であり、その場に滞在したいかを確認します。 キーワード：ワクワク感・非日常感・個性的					
4段階で最も当てはまるものに○を付けてください。 項目数に決まりはありません。関係者間で議論し、エリア特性に応じて選択・追加してください。 ※末尾に「※」マークのあるものは個人の数ではなく、グループの数をカウントして回答してください。					
No	種類	項目	主観の確認ポイント	回答欄 1. いない (全くそう思わない) 2. 一人いる (あまりそう思わない) 3. 数人いる (少しそう思う) 4. たくさんいる (とてもそう思う)	メモ
1	主観	友人や恋人と来て過ごしたい場所だと感じる	• その場所が誰かを誘って行きたい場所であり、友人等と楽しむことができる場所である など	1 2 3 4	
	活動	笑いながら話している人がいる		1 2 3 4	
2	主観	複数人で飲食をしたい場所だと感じる (ピクニックを含む)	•	1 2 3 4	
	活動	複数人で飲食をしている (ピクニックを含む) (※)		1 2 3 4	
3	主観	人との新しい出会いがありそうな場所だと感じる	• ペットを連れてくる人とその場にいる人の会話や、店主から地域の情報を教えてもらう など	1 2 3 4	
	活動	会話・交流している人がいる		1 2 3 4	
4	主観	人が群がりそうな面白そう・雰囲気の良いものがある場所だと感じる	• お店に並んでいる、パフォーマンスをしている人の周囲に人が集まっている など	1 2 3 4	
	活動	何かに人が群がっている		1 2 3 4	
5	主観	沿道や近くでウィンドショッピングを楽しみたい場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	沿道や近くでウィンドショッピングや買い物をしている人がいる		1 2 3 4	
6	主観	パフォーマンスができる場所だと感じる	• 誰でも自由に弾けるピアノを設置している など	1 2 3 4	
	活動	パフォーマンスをしている人がいる		1 2 3 4	
7	主観	魅力的なコンテンツがあり、子どもや大人が楽しく遊べる場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	子どもや大人が夢中になって遊んでいる		1 2 3 4	
8	主観	写真や動画に映える・誰かにシェアしたい場所だと感じる		1 2 3 4	
	活動	写真や動画を撮っている人がいる		1 2 3 4	
9	主観	雰囲気に合った音楽が流れていると感じる		1 2 3 4	
	活動	音楽にのっている人がいる		1 2 3 4	
10	主観	※エリア特性に応じて追加 (例：食べ物の美味しそうないがある等)		1 2 3 4	
	活動	※エリア特性に応じて追加 (※活動に置き換えることが難しい場合は、主観のみの計測とするなど、柔軟にアレンジしてください)		1 2 3 4	

4-5 各種調査結果のまとめ

4-5-1 実験の成果

(1) 社会実験で分かった成果

1) 「人が留まる行動」が確認できた

まちなかの居心地の良さを測る指標に基づく調査からは、滞留者：25人/時間、交流者：19人/時間が確認された。社会実験中の様子からも子どもから高齢者まで幅広い年齢層に利用され、「座る」「会話する」「読書をする」「散歩をする」「写真撮影をする」等の多様な滞在行動が観測された。

また、利用者アンケート調査結果によると社会実験を目的とした割合は31.9%を占めたほか、良かった点として「快適性（休憩・会話・雰囲気等）」が挙げられ、滞在時間も60～120分が約6割を占めた。

これらの結果から、銀座通りには、人が留まって過ごすことのできる空間的な可能性があることが確認された。

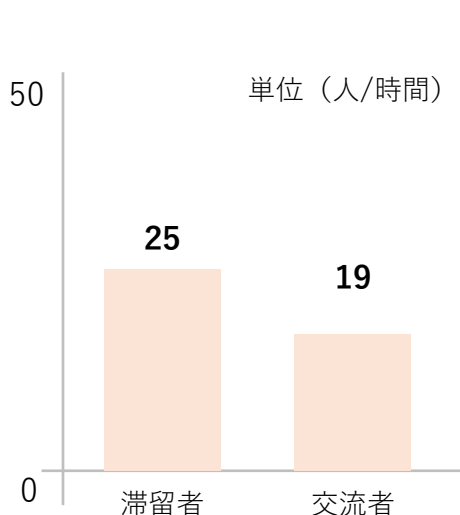


図 人々の活動量

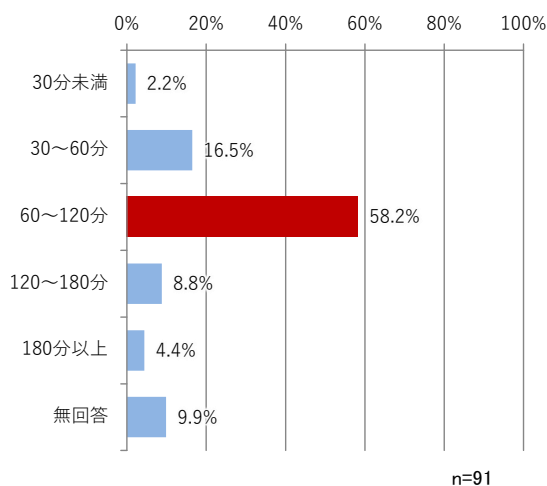


図 滞在予定時間

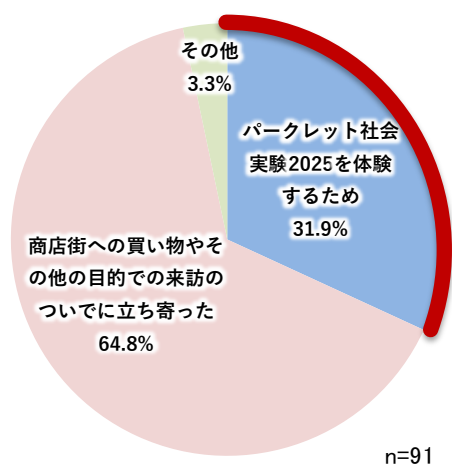


図 銀座通りへの来訪目的

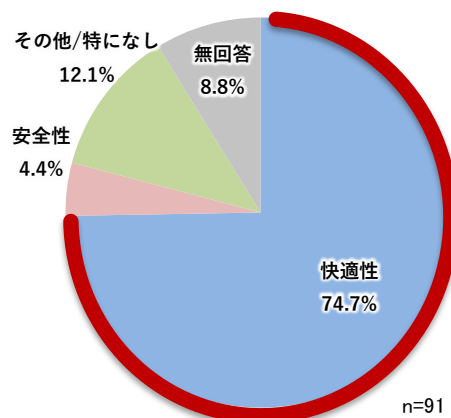


図 良いと思った点

2) 店舗利用行動に「小さな変化の兆し」が見られた

商店街に対する事後アンケート調査結果によると、実証中は平常時と比べ来店者数が平均+約2人、消費額が平均+約400円という結果が得られ、全体として大きな数値変化ではないものの、一部の店舗では「立ち寄ってみよう」という行動が見られた。

このことから、パークレットは条件が整えば回遊や立ち寄りを生む“きっかけ”になり得ると言える。

表 来店者数や消費額の変化

項目	実験前	実験後
来店者数	平均 13.1 人	平均 15.0 人(+約 2 人)
消費額	平均 5,865 円	平均 6,263 円(+約 400 円)

3) 公民共創の関係が「実践段階」に入りつつある

社会実験の企画立案・準備・実施の過程において、「行政」「商店街」「各店舗」が役割分担を形成し進めることができた。その結果、商店街からは「他団体との新しい関係ができた」「店舗間のつながりが生まれた」等の声があった。

このように、社会実験を通し、単なる「協力」ではなく各主体が役割を理解し行動する関係性が生まれつつあると考えられ、将来的なエリアマネジメントや民間主体の運営へ進むための実践的な土台が形成された。

(2) 課題として見えてきた点

1) 店舗の期待と体験効果のギャップ

商店街に対する事前調査結果によると、店舗の事前期待は「来訪者増」「売上増」「滞在時間増」であった。社会実験期間中の利用者アンケート調査結果を見ると、滞在予定時間が60～120分と一定時間留まる行動が確認でき、一部店舗では周年祭等の独自企画により、パークレットと相まった賑わいが発生していた。

しかしながら、事後調査では「特に変化なし」と回答した割合が約36.0%を占めていることから、滞在の増加が、必ずしも店舗への立ち寄りや売上に直結しておらず、パークレットによる「滞在価値」が、店舗利用行動へ転換される設計・仕掛けが不足していたと考えられる。

今後は、滞在を売上につなげる導線設計（店舗紹介サイン、回遊マップ、クーポン等）が必要である。また、各店舗が主体的に取り組めるよう、事前説明・共有の充実が不可欠と考えられる。

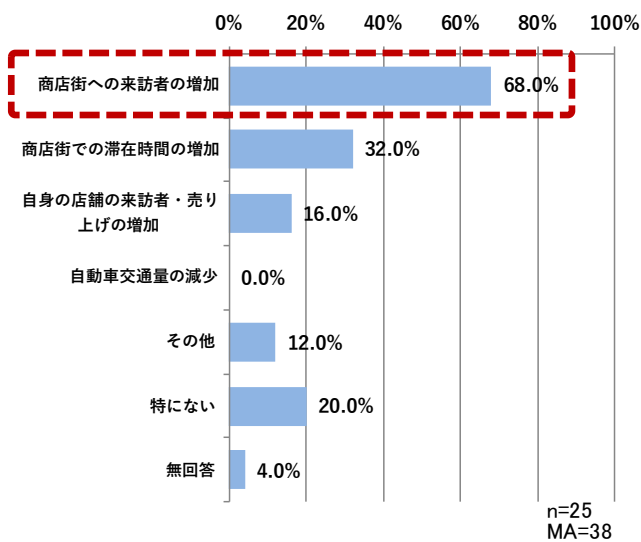


図 期待していること（実証前）

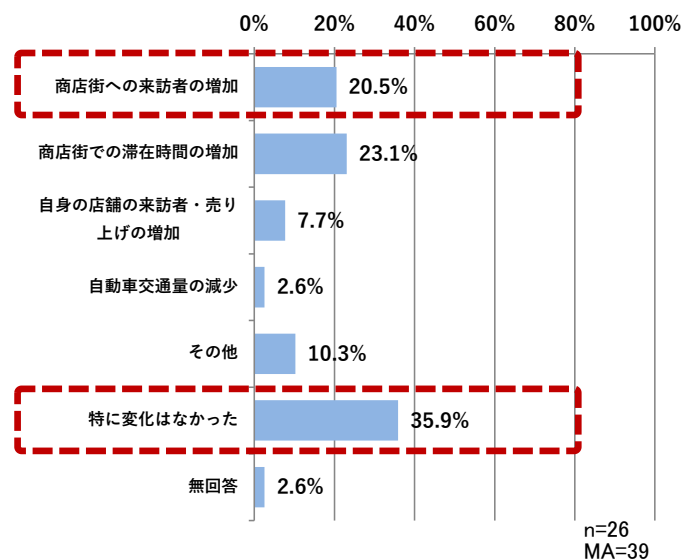


図 良かったこと（実施後）

商店街へのアンケート調査結果

2) 過ごし方の選択肢が少なく、滞在が広がりにくかった

社会実験期間中の利用者アンケート調査結果を見ると、今後の改善点として「快適性」が54.9%を占めており、主な意見として「出店が少ない」「イベント内容が分かりにくい」「PRが弱い」といった声が多く寄せられた。また、商店街からは「実施時期を早め、気候の良い季節に、してほしい」との要望があった。

今回の社会実験は公共空間活用の事例提示を目的とした行政主導の企画が多くなったこと、また、利用者ターゲット像について事前に具体的な議論が十分になされていなかったことから、集客力は限定的なものとなった。

滞在空間としての快適性は一定程度確保されたものの、「なぜ来るのか」「何を体験できるのか」といった来訪動機に関わる要素が弱いため、将来の銀座通りに来てほしい利用者層（ターゲット）を明確化した上で、コンテンツ企画は民間主導へ段階的に移行し、民間プレイヤーの参加機会を創出する取り組みが重要である。

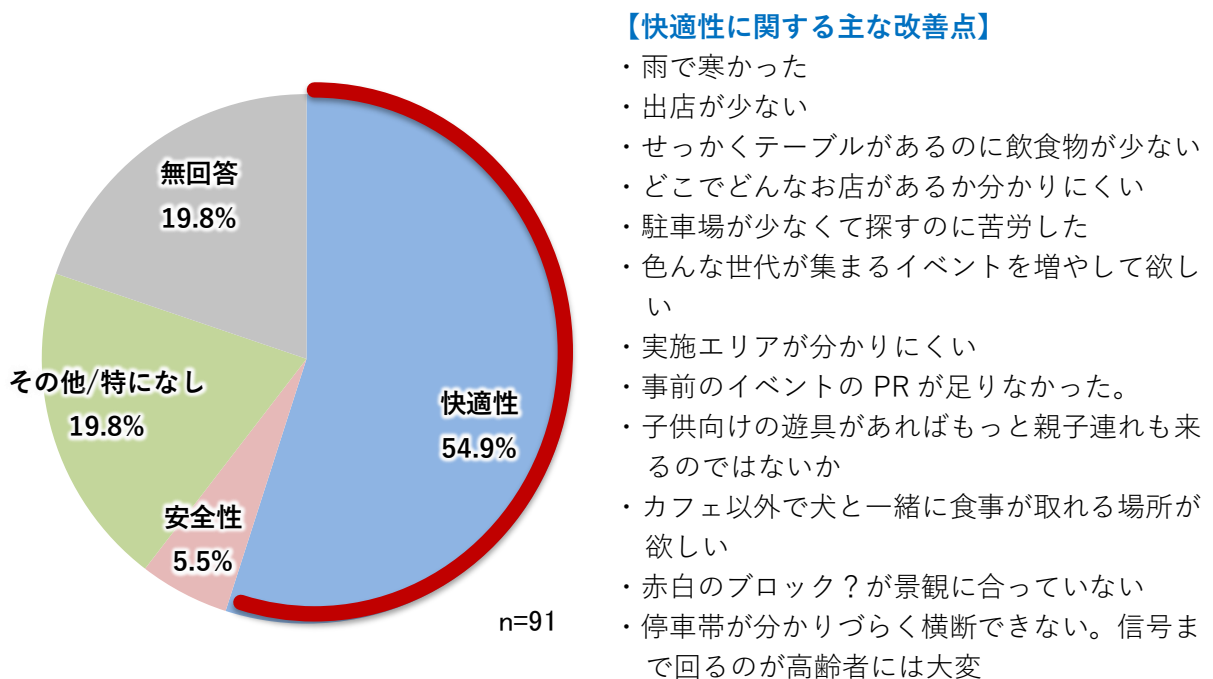


図 体験後の改善点

利用者への聞き取り調査結果

3) 周知不足・実験の分かりにくさ

予告看板の設置時期が実施直前となったことや、SNS での周知が十分とは言えなかった状況を背景に、利用者に対する調査では 20~30%が「社会実験を知らなかった」と回答した。また、商店街からは、赤白バリケードが設置されていたことにより「工事」と誤認している利用者がいたとの指摘もあった。

こうした結果を踏まえると、社会実験の趣旨や内容が来訪者および商店街双方に十分伝わっていなかったこと、また「何が行われているのか」が一目で理解できる情報設計が不足していた可能性が示唆される。

今後は、ターゲットを明確にしたうえで、事前周知・現地サイン・SNS 発信を一体的に設計し、効果的な情報提供を行う必要がある。

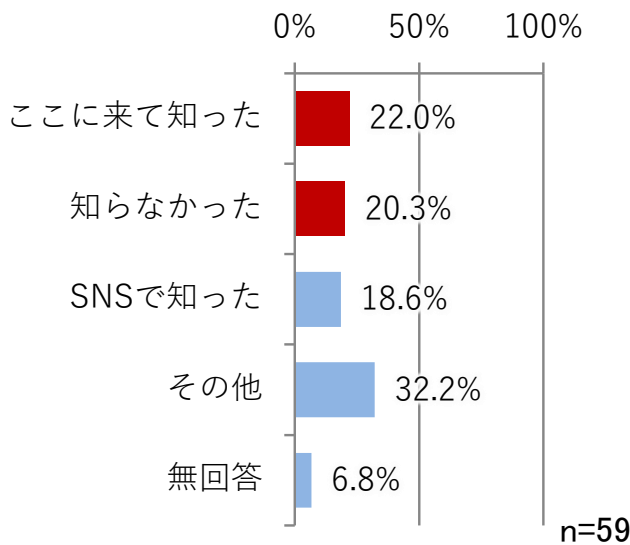


図 社会実験のことを知った経緯



図 利用者の声

4) 自転車・歩行者の導線・横断の設計改善

利用者に対する調査結果によると、約 4 割が「危険を感じなかった」と回答している。その一方で「横断しづらい」「信号まで回るのが大変」といった意見も散見された。

計画時は点字ブロックを隠す什器配置になっており、実施段階で修正したものの、その修正の結果、アーケード下の空間活用が限定的となった。また、車道を制限して歩道の有効幅員を確保した意味合いが薄れるとともに、導線が分かりにくいものとなった。

今後は、歩行者利便増進道路（ほこみち）の構造基準の適合を見据えた道路標示・横断位置・ゾーン分けの再設計と共に、分かりやすい導線設計が必要である。

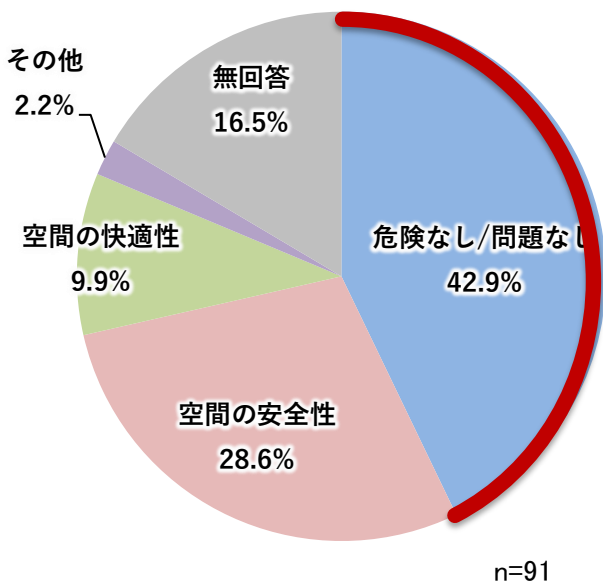


図 歩行空間となった車道を歩いた際の危険性について

利用者に対する調査

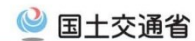
【空間の快適性について】

- ・車道が歩行者空間だと分かりづらい
- ・目立つパイロンの方がいいのかもしれませんが 景観は悪いですね
- ・どこを歩いていいのかが分かりづらい。手すりに沿って動線を作るなどしたほうが良い

【空間の安全性について】

- ・歩道が狭い
- ・横断時にフェンスがあって移動しにくい
- ・交通量が多く横断時に危険
- ・横断歩道や車道の真ん中を進む自転車がいて怖い
- ・猫が横切って危ない
- ・親御さんが見ていけば問題ない
- ・夜、車を走行するときは怖いかも
- ・車がもう少し減速して走ってほしいです

② 歩行者利便増進道路の道路構造基準について



道路構造基準<横断面> (道路構造令第41条関係)

■ 高齢者や障害者にとっても安全で使いやすい道路構造となるよう歩行者利便増進道路の道路構造基準を策定
 ⇒ バリアフリー法に基づく歩道のバリアフリー基準 (道路移動等円滑化基準) を参考に基準を策定
 歩行者の利便増進を図る施設 (街灯やベンチ等) と利便増進を図る空間に必要な幅員の考え方についても策定

<道路構造基準の内容>
 ・歩道の有効幅員、歩道の勾配、歩道と車道の分離、歩道の舗装 等

【新たな構造基準のイメージ】

歩行者の利便増進を図る空間

バリアフリー基準	バリアフリー基準	バリアフリー基準	バリアフリー基準
・車いす同士がすれ違える歩道の有効幅員 (2.0 m以上) を確保	・歩道の縦断勾配 5%以下 (特例値8%) ・歩道の横断勾配 1%以下 (特例値2%)	・植樹帯や並木や柵の設置 ・縁石の設置 高さ15cm以上	・透水性舗装を活用し、平坦で滑りにくく水はけが良い仕上げとする

19

図 歩行者利便増進道路 (ほこみち) の構造基準

出典：国土交通省道路局



図 パークレットの整備状況

5) 自動車通過交通の流入抑制の検討

実証中の自動車交通量からは、休日において平常時と比べ、銀座通りでは128台（7%）の減少が見られた。一方、利用者アンケートでは「車が減速しない」「車通りが多くて危ない」といった声が寄せられており、現地では停車帯が分かりにくい状況にあったことも確認されている。

これらの状況を踏まえると、若干の交通量減少は確認されたものの、自動車の走行や騒音、排ガスが滞在空間の居心地を損なう要因となっていた可能性が示唆される。

今後は、より居心地の良い歩行者空間を形成するため、さらなる自動車通過交通の流入抑制を図る取り組みが必要である。

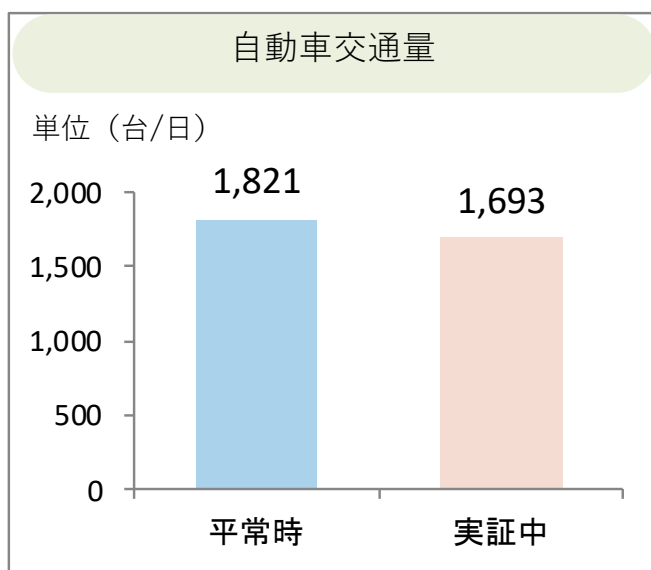


図 自動車交通量（銀座通り商店街）※休日
歩行者・自転車通行量及び自動車交通量調査



図 利用者からの声

利用者聞き取り調査

6) アーケード老朽化への対応

アーケードは、築約40年が経過し、錆・雨漏り・部材落下リスクが顕在化しているものの、躯体の詳細調査が未実施で、対応への判断材料が不足している。一方、雨天時には散歩利用者など一定の利用が確認されており、安全面のリスクを抱えたまま、価値評価が十分に行われていない可能性が示唆された。

今後は、早急に躯体調査を実施し、安全性・更新費・活用可能性を整理する必要がある。

(3) まとめ

今回のパークレット社会実験は、にぎわい創出を目的としたイベントではなく、銀座通りにおける街路再編、アーケード下公共空間の活用、将来的な公民連携運営を見据えた検証プロセスとして実施したものである。

その結果、実験を通して大きく3つの成果が得られた。

<成果>

- ①銀座通りにおいて、これまで顕在化していなかった「滞在」「交流」「多様な過ごし方」といった行動が実際に発生すること
- ②パークレットという仕掛けが、条件次第では回遊や店舗への立ち寄りを促す“きっかけ”になり得ること
- ③商店街・店舗・行政の間で、役割分担を伴う協働（公民共創）が実践段階に入りつつあること

一方で、6つの課題も明らかとなった。

<課題>

- ①滞在の発生が、必ずしも店舗の売上や体感効果に結び付いていないこと
- ②来訪者ターゲットや体験価値が十分に整理されないまま実施したため、コンテンツや情報発信が弱く、滞在の深化・広がりに限界があったこと
- ③実験の趣旨や内容が、来訪者・商店街双方に十分伝わらず、「何をしているのか分からない」という戸惑いが生じたこと
- ④導線・横断等について、安全性そのものよりも「分かりにくさ」が不安を生んでいたこと
- ⑤居心地の良さを追求するうえでは、更なる自動車通過交通の流入抑制が必要なこと
- ⑥アーケードについて、老朽化というリスクと、雨天時利用などの価値が併存しているにもかかわらず、客観的な調査・整理が不足していること

成果は、今後の街路整備や公共空間の活用を検討するうえで、感覚や印象ではなく、行動データと実体験に基づいて議論できる土台が整ったことを意味している。

課題は、本社会実験を否定するものではなく、次の段階へ進むために不可欠な「論点が整理された状態」になったことを示している。

本社会実験は、その第一歩として、「やってみなければ分からなかったこと」を可視化し、次に進むための共通認識を関係者間で共有できた点に意義があったと整理できる。

(4) 次年度以降の検討事項

来年度以降は、本実験で得られた知見を踏まえ、以下の項目を段階的に進めていく。

<次年度以降の検討項目>

- ①歩行導線・横断位置・ゾーン分けの具体的設計検討
- ②アーケード下公共空間の暫定利用ルール化
- ③各店舗の個性を活かした民間主体の企画誘発
- ④将来的な民間主導運営（エリアマネジメント）を見据えた体制づくり
- ⑤東西軸となる三日町口通り・みゆき通りとの連携

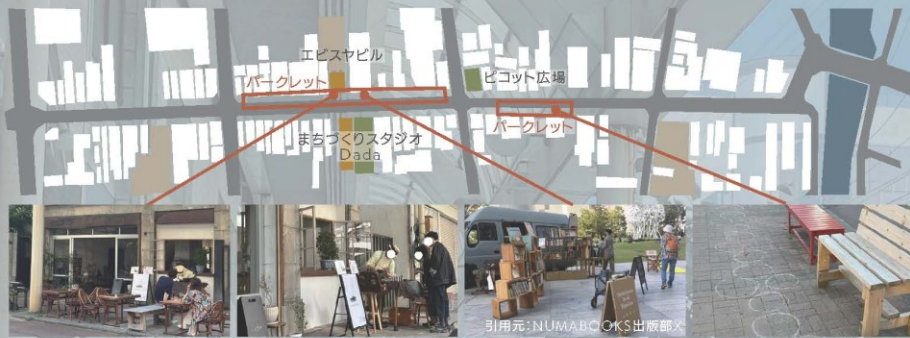
あたらしい銀座通り、提案します

パークレット社会実験 2025 10.9(Thu)-10.19(Sun) OPEN!!

川端通りの一方通行解除により、通過交通の減少が見込まれる銀座通り。

食べる、あそぶ、買う、であう
銀座通りをそんな魅力溢れるストリートに。

あたらしい「お出かけの選択肢」 一度歩いてみませんか？



銀座通りアーケード下と車道の一部を、人が滞在できる空間(=パークレット)に。
この空間の様々な使い方を試す社会実験を行うことで、これからの銀座通りの可能性を見つけます！



▼社会実験期間中は賑わいイベントも開催!

まちなかライブラリー
@旧庄内文化センター前
10/9~10/19

DIYお手伝いしませんか?
@Dada広場 10/11 13:00~

紙しばい
@Dada広場 10/12
1回目11:00~ 2回目13:00~

まちバル
@銀座通り協力店舗 10/17,18

白鷺社まちなかギャラリー
@銀座通り協力店舗
10/11~10/19

芋煮会&焚き火
@Dada広場 10/11 15:00~

移動図書館やまびこ号
@Dada広場 10/16 10:30~

着物・浴衣レンタル
@着物の小いけ、トキワ屋
10/17 最終受付17:00



このほかにもイベント企画中! 日時等の詳細は銀座通り公式InstagramでCHECK!!▶

主催/鶴岡銀座商店街振興組合・都市計画課・商工課
お問い合わせ/TEL:0235-35-1315 MAIL:tokei@city.tsuruoka.yamagata.jp



◀メールはこちらからも



図 パークレット社会実験チラシ

5. 社会実験期間中の運営・維持管理の支援

5-1 運営体制の構築

パークレット社会実験中における整備備品の管理及び居心地調査を実施した。

5-1-1 運営スタッフの配置状況

運営スタッフは複数人が当たることとしつつ、管理責任者、現場責任者・現場担当者・バックアップメンバーで構成した。なお、パークレット社会実験期間が1週間以上あることからスタッフの負担軽減を図るため複数人で交代しつつ円滑に運営した。

表 スタッフの役割分担

項目	概要	主体
設営準備	・パークレット社会実験における機材及び備品の準備	現場責任者 現場担当者
備品管理	・パークレット内に設置した機材及び備品の状態を確認し必要に応じて補強をする。 ・交通量調査において、タイムラプスの起動を確認する。	現場担当者
調査運営	・交通量調査及び居心地調査を実施する。	現場担当者
後方支援	・パークレット社会実験に関する問い合わせ対応及び現場対応職員への連絡	バックアップ メンバー
全体フォロー	・パークレット社会実験における緊急事案が生じた時に対応する。	管理責任者 現場責任者

5-1-2 当日の様子

当日の様子は以下のとおりである。

1) 空間設置時















2) 撤去時



6. 社会実験報告書の作成

6-1 フィードバックペーパーの作成

各種調査結果に基づき分析した結果を市民全体に向けたフィードバックペーパーとしてとりまとめた。

令和7年度 銀座通りパークレット社会実験 報告書【概要版】

～人が集い、憩える“まちなか”をめざして～

令和7年10月、銀座通りに11日間わたり「パークレット社会実験」を実施しました。パークレットとは、道路の一部を歩行者が滞留・休憩できる空間・使い方にする試みです。この実験は、人中心の居心地の良いまちづくりに向けた第一歩となります。多くの市民の皆さまにご参加・ご協力いただき、貴重なデータと気づきを得ることができました。

1. なぜこの実験を行ったのか？

麹町市では「賑わい × 居場所 × 観光」を軸に、人中心のまちづくりを進めています。銀座通りはその中心となる街路であり、今年7月30日からの川沿りの一方通行解除により、道路の受け皿ができたことで、道路を人に取り戻す実験が可能になりました。

【実験の3つのねらい】
①歩車分離などの街路整備方針にデータで根拠を与えること
②アーケード下公共空間の活用ルールをつくること
③将来像を“体験”として市民・商店街と共有すること

2. 実験の概要

【実施期間】
令和7年10/9（木）～10/19（日）※終日

【対象区間】
銀座通り2街区～3街区 L=約270m

【実験内容】
■歩道を1車線減らして歩道や停車帯を確保
■アーケード下の公共空間を商店街と連携して多様に活用
■アンケートや通行量調査で効果を測定

3. 実験で分かった3つの成果

01 人が留まる行動が確認できました

銀座通りには人が留まる空間的な可能性が確認できました。

- 歩行者が留まる目的: 社会実験を体験するため 31.9%
- 歩行者が留まる理由: 高層ビルやビル群の景観が心地よいから 64.8%
- 歩行者が留まる場所: 歩道 74.7%

滞在時間: 60-120分
滞在人数: 25人/時
交流人数: 19人/時

02 店舗利用行動に「小さな変化の兆し」が見られました

パークレットは、条件が整えば同窓や立ち寄りを生むきっかけになり得ることが分かりました。

- 来店客数: +2人 (実証前・実証後比較) 平均収入増加
- 消費額: +400円 (実証前・実証後比較) 平均約400円増額

03 公民共創の関係が「実践段階」に入りつつあります

将来的なエリアマネジメントや民間主体の運営へ進むための実践的な1歩が作られました。

商店街、各店舗、行政、企業立案・実施、空間設計・道路管理

4. 見えてきた課題

01 店舗の期待と体験効果のギャップ

滞在を店舗への立ち寄り・売上につながる生組みづくりに取り組みます。

実証前: 来店客が増えることを望む (85%)、売上が増えることを望む (75%)、滞在時間が増えることを望む (65%)

実証後: 来店客が増えることを望む (95%)、売上が増えることを望む (85%)、滞在時間が増えることを望む (75%)

02 過ごし方の選択肢が少なく、滞在が広がりにくかった

ターゲットを明確化し、長く楽しめる“中身”を充実させつつ、その担い手の拡大に取り組みます。

体験後の改善点: 滞在時間 12.6分 (改善点: 14.9分)

快適性に関する主な意見: イベントが少ない (42.9%)、イベントがあれば退きにくい (31.4%)、イベントに飽きやすい (24.7%)

03 周知不足・実験の分かりにくさ

周囲の周知・現地のサイン・SNS発信を一時的に設計します。

イベントが分かりにくい (PRが欲しい) (75%)

04 自転車・歩行者の導線・横断の設計改善

横断位置・自転車を含めた安全なゾーン分けを再設計し、分かりやすい導線設計にします。

歩行者の危険性: 歩行者の危険性 (42.9%)、自転車の危険性 (33.2%)、歩行者と自転車の危険性 (22.2%)

05 自動車通過交通の流入抑制の検討

より快適な滞留空間とするため、通過交通を川沿りに誘導するとともに、停車帯についても検討します。

平日時: 1,821 (乗客数/日)
実証中: 1,693 (乗客数/日)

128台 (7%) の減少が見られ、滞在人数が増えたと評価

06 アーケード老朽化への対応

商店街が所有するアーケードは平均40年が経過しているため、今後どのように更新・活用していくか、街路整備と合わせた検討を集めます。

5. まとめ

今回の社会実験では、銀座通りに「人が留まる」「交流生まれる」という新しい風景が生まれました。一方で、その変化を店舗の売上などの経済効果につなげるためには、導線設計、情報発信、過ごし方の充実、店舗側の主体的な関与といった工夫が必要であることも分かりました。

この実験は、「やってみなければ分からないこと」を可視化し、次に進むための共通認識を関係者間で共有できた点に意義があります。

今後も市民の皆さま、商店街、行政が一体となって、人中心の居心地の良いまちづくりを進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

6-2 社会実験報告書の作成

これまでの内容を報告書としてとりまとめた。

7. 打合せ協議

7-1 打合せ概要

(1) 本業務にかかる発注者との打ち合わせ

業務を円滑にかつ効率的に遂行するために、打合せ協議を行った。※詳細は記録簿参照

表 打合せ概要

実施回数	実施日	内容
第1回	令和7年 8月8日(金)	<ul style="list-style-type: none">・業務計画書(案)について・工程表(案)について・その他
第2回	令和7年 12月16日(火)	<ul style="list-style-type: none">・各種調査結果について・フィードバックペーパー作成とフィードバックミーティングの開催について・成果品の内容及び完了検査実施可否の確認
第3回	令和8年 1月8日(木)	<ul style="list-style-type: none">・各種調査結果について・成果品について

(2) 社会実験の実施に向けた発注者との打ち合わせ※週次ミーティング

限られた時間で社会実験の実施に向けた各種調整・準備を進めるにあたり、発注者と週次ミーティングを実施した。

表 週次ミーティング概要

実施回数	実施日	内容
第1回	令和7年 8月22日(金)	<ul style="list-style-type: none">・関係期間との調整・準備状況について・停車帯の表示方法について・社会実験期間中のソフト事業について・パークレット無い交差点付近のガードレール設置可否について
第2回	令和7年 9月1日(月)	<ul style="list-style-type: none">・関係期間との調整・準備状況について
第3回	令和7年 9月5日(金)	<ul style="list-style-type: none">・関係期間との調整・準備状況について・その他の協議・意見交換
第4回	令和7年 9月12日(金)	<ul style="list-style-type: none">・関係期間との調整・準備状況について・その他の協議・意見交換
第5回	令和7年 9月19日(金)	<ul style="list-style-type: none">・関係期間との調整・準備状況について・その他の協議・意見交換
第6回	令和7年 9月26日(金)	<ul style="list-style-type: none">・パークレット社会実験 実施計画について・その他の協議・意見交換
第7回	令和7年 10月3日(金)	<ul style="list-style-type: none">・パークレット社会実験 実施計画について